第10表　土器観察表(9)

法量（　）は推定値

挿図 図版	出土地点	層位	分類	法量 (cm) 器高	最大径	底径	胎土	焼成	色調 外面 内面	文様・調整 外面 内面	備考
47-298 39－1	MA56	Ⅳ	ⅡA2a				砂粒1mm ～4mm	良好	10YR8/3 浅黄橙 10YR8/3 浅黄橙	地文RL→沈線文(太) 横位ミガキ	291と 同一
47-299 39－1	MA50	Ⅳ	ⅡA2a				砂粒1mm ～2mm	良好	7.5YR5/2 灰褐 7.5YR4/2 灰褐	地文RL→沈線文(太) 横位ミガキ	外面炭化 物付着
47-300 39－2	MA56	Ⅳ	ⅡA2a				砂粒1mm ～3mm	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 10YR8/2 灰白	地文RL→沈線文(太) 横位ナデ	291と 同一
47-301 39－2	MA42	Ⅳ	ⅡA2a				砂粒1mm 多量	良好	10YR4/2 灰黄褐 10YR7/3 にぶい黄橙	沈線文(太)→LR充填 横位ミガキ	
47-302 39－2	MA45 LT45	Ⅰ Ⅳ	ⅡA2a				砂粒1mm ～3mm	良好	7.5YR6/6 橙 7.5YR6/6 橙	沈線文(太)→LR充填→磨消　横位ミガキ	
47-303 39－2	MA51 LT50	Ⅰ Ⅳ	ⅡA2a				砂粒1mm 多量	良好	10YR7/4 にぶい黄橙 5YR6/6 橙	地文LR→沈線文(太) 横位ミガキ	
48-304 39－2	LT49	Ⅰ	ⅡA2b				砂粒1mm ～2mm	良好	7.5YR6/6 橙 7.5YR6/6 橙	地文無文→沈線文(太) 横位ナデ、ミガキ	
48-305 39－2	MA39	Ⅰ	ⅡA2b				砂粒1mm 多量	良好	7.5YR5/4 にぶい橙 7.5YR3/2 灰褐	地文無文→曲線文(太) 横位ミガキ	
48-306 39－2	MA39	Ⅰ	ⅡA2b				砂粒1mm 多量	良好	7.5YR5/6 明褐 7.5YR5/4 にぶい褐	地文無文→曲線文(太) 縦位ミガキ	306と 同一
48-307 39－2	LS56	Ⅳ	ⅡA2b				砂粒1mm ～3mm	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 7.5YR5/3 にぶい褐	地文無文→沈線文(太) 横位ミガキ	305と 同一
48-308 39－2	LT50	Ⅳ	ⅡA2b				砂粒1mm 少量	良好	5YR6/6 橙 5YR6/6 橙	地文LR→沈線文(太) 横位ミガキ	外面炭化 物付着
48-309 39－2	MB61	Ⅳ	ⅡA2b				砂粒1mm ～2mm	良好	7.5YR7/6 橙 5YR6/6 橙	地文無文→沈線文(太) 縦位ミガキ	
48-310 39－2	MA48	Ⅰ	ⅡA2c				砂粒1mm 多量	良好	10YR8/3 浅黄橙 7.5YR7/6 橙	曲線文(太)→LR充填 横位ミガキ	311と 同一
48-311 39－2	LT48	Ⅰ	ⅡA2c				砂粒1mm 多量	良好	10YR8/3 浅黄橙 7.5YR7/6 橙	曲線文(太)→LR充填 横位ミガキ	310と 同一
48-312 39－2	LS51	Ⅰ	ⅡA2c				砂粒2mm ～3mm	良好	5YR6/6 橙 5YR5/6 明赤褐	沈線文(太)→LR充填 横位ミガキ	
48-313 40－1	表採		ⅡA2c				砂粒1mm ～3mm	良好	2.5Y8/3 淡黄 2.5Y8/3 淡黄	長円文、円形刺突、地文 無文　横位ナデ	
48-314 40－1	LT48	Ⅳ	ⅡA2c				砂粒1mm ～2mm	良好	10YR8/4 浅黄橙 7.5YR7/4 にぶい橙	地文無文、沈線文(太) 竹管文、　横位ナデ	
48-315 40－1	LS48	Ⅳ	ⅡA2c				砂粒1mm ～3mm	良好	2.5Y8/3 淡黄 2.5Y8/3 淡黄	隆帯貼付→棒状刺突、沈線文(太)、LR　横位ミガキ	
48-316 40－1	MA60	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1mm ～3mm	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	地文LR→区画→竹管文 横位ナデ	
48-317 40－1	MA56	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1mm ～2mm	良好	7.5YR7/6 橙 10YR7/4 にぶい黄橙	地文LR→沈線文 横位ナデ	
48-318 40－1	LS62	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1mm ～2mm	良好	10YR6/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	地文LR→沈線文(太) 縦位ミガキ	外面炭化 物付着
48-319 40－1	MA61	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1mm 少量	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR7/3 にぶい黄橙	曲線文(太)→RL充填 縦位ミガキ	
48-320 40－1	LT44	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1mm ～4mm	良好	7.5YR6/6 橙 7.5YR6/4 にぶい橙	地文LR→区画線、曲線文 縦位ミガキ	外面炭化 物付着
48-321 40－1	LT44	Ⅰ	ⅡA3a				砂粒1mm ～4mm	良好	7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR6/4 にぶい橙	地文LR→曲線文(太) 縦位ミガキ	外面炭化 物付着
48-322 40－1	MA50	Ⅰ	ⅡA3a				砂粒1mm ～2mm	良好	10YR5/4 にぶい黄褐 10YR5/4 にぶい黄褐	地文無文、渦文(太) 横位ミガキ	
48-323 40－1	LS48	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1mm 少量	良好	10YR6/3 にぶい黄橙 10YR7/3 にぶい黄橙	地文LR→沈線文(太) 横位・斜位ミガキ	外面炭化 物付着
48-324 40－1	LT50	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1mm 多量	良好	10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/3 にぶい黄橙	地文LR→曲線文(太)→ナデ　縦位ミガキ	
48-325 40－1	LS40	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1mm ～2mm	良好	10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	地文LR→曲線文(太) 縦位ミガキ	外面炭化 物付着
48-326 40－1	MA42	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1mm ～3mm	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR4/1 褐灰	曲線文(太)→RL充填 縦位ミガキ	
48-327 40－1	LT53	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1mm 多量	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR4/1 褐灰	地文LR→曲線文(太) 縦位ミガキ	
48-328 40－1	LS62	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1mm ～4mm	良好	10YR8/3 浅黄橙 10YR8/3 浅黄橙	区画→LR充填→曲線文 横位ナデ	
48-329 40－2	LS51	Ⅰ	ⅡA3a				砂粒1mm ～3mm	良好	7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR4/3 褐	地文LR→沈線文(太) 縦位ミガキ	
48-330 40－2	LT43	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1mm 多量	普通	2.5Y8/3 淡黄 2.5Y8/3 淡黄	地文LR→沈線文・渦文 横位ナデ	
48-331 40－2	LS62	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1mm ～2mm	良好	10YR6/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	地文LR→区画線→曲線文 縦位ミガキ	
48-332 40－2	LT52	Ⅰ	ⅡA3a				砂粒1mm 多量	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR8/4 浅黄橙	地文LR→曲線文(太) 横位ナデ	
48-333 40－2	LT62	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒2mm 多量	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	地文LR→満文(太) 縦位ナデ	
48-334 40－2	MA56	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1mm 多量	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 10YR7/3 にぶい黄橙	地文RL→円文・曲線文(太)　横位ミガキ	

第11表　土器観察表(10)

法量（　）は推定値

挿図 図版	出土地点	層位	分類	法量 (cm) 器高	最大径	底径	胎土	焼成	色調	外面 内面	文様・調整	外面 内面	備考
48-335 40－2	LS60	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR7/3　にぶい黄橙 10YR7/4　にぶい黄橙		地文LR→曲線文(太) 斜位・縦位ミガキ		外面炭化物付着
48-336 40－2	LS52	Ⅰ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR7/4　にぶい黄橙 2.5Y8/4　淡黄		地文LR→区画線・曲線文 縦位ナデ		外面炭化物付着
48-337 40－2	MA47	Ⅰ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR7/4　にぶい黄橙 10YR6/2　灰黄褐		地文LR→沈線文(太) 縦位ミガキ		外面炭化物付着
49-338 40－2	LT51 LS51	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR7/4　にぶい黄橙 10YR7/4　にぶい黄橙		地文LR→区画線→曲線文 →ナデ　縦位ミガキ		
49-339 40－2	MA47	Ⅰ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR7/4　にぶい黄橙 10YR7/4　にぶい黄橙		地文LR→区画線→曲線文 縦位ミガキ		外面炭化物付着
49-340 40－2	LT50	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	7.5YR7/4　にぶい橙 10YR7/3　にぶい黄橙		地文LR→曲線文(太) 縦位ミガキ		外面炭化物付着
49-341 40－2	LT50	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR7/3　にぶい黄橙 7.5YR6/4　にぶい橙		地文LR→曲線文(太) 斜位ミガキ		
49-342 40－2	MA49	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒2㎜ 多量	良好	7.5YR7/4　にぶい橙 7.5YR7/4　にぶい橙		地文LR→区画線→曲線文 斜位ナデ		
49-343 40－2	LS58	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 多量	良好	2.5Y8/4　淡黄 10YR7/3　にぶい黄橙		地文LR→区画線→曲線文 縦位ナデ		
49-344 41－1	LT62	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～3㎜	普通	10YR8/4　浅黄橙 7.5YR7/6　橙		地文LR→曲線文(太) 縦位ナデ		351と同一
49-345 41－1	LT52	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒2㎜ 多量	良好	10YR7/3　にぶい黄橙 10YR8/3　浅黄橙		地文LR→曲線文(太) 斜位ミガキ		外面炭化物付着
49-346 41－1	LS47	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR7/3　にぶい黄橙 10YR7/3　にぶい黄橙		地文LR→区画線→沈線文 縦位ミガキ		
49-347 41－1	MB50	Ⅰ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 少量	普通	10YR8/4　浅黄橙 10YR8/4　浅黄橙		口唇下平行沈線3条、沈線文2条→LR充填		内面横位ナデ
49-348 41－1	MA40	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR7/3　にぶい黄橙 10YR7/4　にぶい黄橙		地文LR→曲線文(太)→ナデ　縦位ミガキ		外面炭化物付着
49-349 41－1	LT50	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR7/3　にぶい黄橙 2.5YR8/3　淡黄		地文LR→沈線文(太) 縦位ナデ		外面炭化物付着
49-350 41－1	LT50	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR6/4　にぶい橙 7.5YR6/6　橙		地文LR→区画線→曲線文 縦位・斜位ミガキ		外面炭化物付着
49-351 41－1	LT62	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～3㎜	普通	2.5Y8/3　淡黄 10YR7/6　明黄褐		地文LR→曲線文(太) 縦位ナデ		344と同一
49-352 41－1	MT50	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR5/3　にぶい褐 7.5YR5/3　にぶい褐		地文LR→曲線文(太) 横位ミガキ		
49-353 41－1	MA35	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 多量	良好	2.5Y8/3　淡黄 10YR7/3　にぶい黄橙		地文LR→沈線文(太) 横位ナデ		
49-354 41－1	LS62	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	10YR7/4　にぶい黄橙 10YR7/4　にぶい黄橙		地文LR→区画線→沈線文 横位・斜位ミガキ		外面炭化物付着
49-355 41－1	MB50	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR7/4　にぶい黄橙 7.5YR6/4　にぶい橙		地文LR→沈線文(太) 縦位ミガキ		外面摩滅著しい
49-356 41－1	LT62	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR8/4　浅黄橙 10YR8/4　浅黄橙		地文LR→沈線文(太) 横位ミガキ		
49-357 41－1	LT40	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	2.5Y8/4　淡黄 2.5Y8/3　淡黄		地文RL→区画線→沈線文 横位ナデ		
49-358 41－2	LT37	Ⅰ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR7/4　にぶい黄橙 10YR7/3　にぶい黄橙		区画線→沈線文(太)→LR充填　横位ミガキ		
49-359 41－2	LT47	Ⅰ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR7/4　にぶい黄橙 10YR7/4　にぶい黄橙		地文LR→区画線、沈線文 縦位ミガキ		
49-360 41－2	MA49	Ⅰ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR7/4　にぶい黄橙 2.5Y8/4　淡黄		区画線→RL→沈線文(太) 横位ナデ		区画帯無文
49-361 41－2	LT50	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR7/3　にぶい黄橙 10YR7/3　にぶい黄橙		地文LR→区画線、沈線文 →ナデ　縦位ミガキ		
49-362 41－2	LT61	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～3㎜	普通	2.5Y8/3　淡黄 2.5YR7/6　橙		地文LR→沈線文(太) 縦位ミガキ		344と同一
49-363 41－2	LT62	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR7/3　にぶい黄橙 10YR7/3　にぶい黄橙		地文LR→区画線→沈線文 縦位ミガキ		
49-364 41－2	LS46	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR6/4　にぶい黄橙 7.5YR7/4　にぶい黄橙		地文LR→沈線文(太) 縦位ミガキ		外面炭化物付着
49-365 41－2	LS38	Ⅰ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～2㎜	普通	10YR8/4　浅黄橙 10YR7/3　にぶい黄橙		地文RL→沈線文(太) 横位ナデ		
50-366 41－2	MB47	Ⅰ	ⅡA3a				砂粒2㎜ ～4㎜	普通	10YR8/4　浅黄橙 10YR8/3　浅黄橙		地文LR→沈線文(太・深) 縦位ナデ		内面炭化物付着
50-367 41－2	LT44	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR7/4　にぶい橙 7.5YR6/4　にぶい橙		地文LR→区画線 斜位ミガキ		320と同一
50-368 41－2	LT50	Ⅰ	ⅡA3a				砂粒2㎜ 少量	良好	7.5YR4/1　褐灰 10YR6/2　灰黄褐		地文LR→区画線(太) 縦位ミガキ		外面炭化物付着
50-369 41－2	表採		ⅡA3a				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR7/3　にぶい黄橙 10YR6/2　灰黄褐		地文LR→沈線文(太) 斜位ミガキ		外面炭化物付着
50-370 42－1	LT50	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR8/4　浅黄橙 7.5YR7/6　橙		地文LR→区画線(太) 横位ミガキ		
50-371 42－1	LS58	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR7/6　橙 10YR8/4　浅黄橙		地文LR→区画線、沈線文 横位ナデ		二次焼成痕(内面)

第12表　土器観察表(11)

法量（　）は推定値

挿図 図版	出土地点	層位	分類	法量 (cm) 器高	最大径	底径	胎土	焼成	色調 外面 内面	文様・調整 外面 内面	備考
50-372 42-1	MA56	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR6/3 にぶい黄橙 10YR7/3 にぶい黄橙	地文RL→区画線(太) 横位ミガキ	
50-373 42-1	LS62	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	地文LR→区画線→曲線文 斜位ナデ	外面炭化物付着
50-374 42-1	LS62	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	地文LR→区画線(太) 縦位ミガキ	
50-375 42-1	LT50	Ⅰ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR6/4 にぶい褐 10YR8/4 浅黄橙	地文LR→区画線→沈線文 縦位ミガキ	外面炭化物付着
50-376 42-1	MA60	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	7.5YR5/4 にぶい橙 10YR6/4 にぶい黄橙	地文LR→区画線→ナデ 縦位ミガキ	外面炭化付着
50-377 42-1	LS51	Ⅰ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR8/3 浅黄橙	地文LR→区画線(太) 縦位ナデ	
50-378 42-1	LS45	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 多量	良好	7.5YR4/2 灰褐 7.5YR7/4 にぶい橙	地文LR→区画線(太) 縦位ミガキ	
50-379 42-1	LS60	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR3/1 黒褐 10YR7/3 にぶい黄橙	地文LR→沈線文→ナデ 横位ナデ	
50-380 42-1	LT63	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 7.5YR7/4 にぶい橙	地文LR→区画線(太) 斜位・縦位ミガキ	
50-381 42-1	LS62	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～4㎜	良好	7.5YR6/4 にぶい橙 10YR7/4 にぶい黄橙	地文LR→区画線→ナデ 縦位ナデ	
50-382 42-1	LT63	Ⅳ	ⅡA3a				砂粒1㎜ ～4㎜	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 10YR7/4 にぶい黄橙	地文LR→区画線→曲線文 縦位ミガキ	外面炭化物付着
50-383 42-2	MA55	Ⅳ	ⅡA1b				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 7.5YR7/4 にぶい橙	絡条体状LR→曲線文(太) 縦位ミガキ	282と同一
50-384 42-2	LT40	Ⅳ	ⅡA3b				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	絡条体R撚→釣針状文(太) 横位ミガキ	
50-385 42-2	MA42	Ⅳ	ⅡA3b				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR8/4 浅黄橙	絡条体R撚→曲線文(太)→ 磨消　縦位ミガキ	387と同一
50-386 42-2	LS57	Ⅳ	ⅡA3b				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR6/3 にぶい黄橙	絡条体R撚→曲線文(太)→ 区画線(?)　縦位ミガキ	
50-387 42-2	LT42	Ⅳ	ⅡA3b				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	絡条体R撚→曲線文(太)→ 磨消　縦位ミガキ	385と同一
50-388 42-2	MA43	Ⅳ	ⅡA3b				砂粒1㎜ ～4㎜	良好	10YR7/6 明黄褐 10YR7/4 にぶい黄橙	絡条体R撚→曲線文(太) 縦位・横位ミガキ	
50-389 42-2	MA47	—	ⅡA3b				砂粒1㎜ 多量	良好	7.5YR5/4 にぶい橙 7.5YR7/4 にぶい橙	絡条体R撚→区画線、曲線文(太)　縦位ミガキ	
50-390 42-2	LT40	Ⅳ	ⅡA3b				砂粒1㎜ 少量	良好	2.5Y8/3 淡黄 10YR7/3 にぶい黄橙	絡条体R撚→曲線文(太) 縦位ミガキ	
50-391 42-2	表採		ⅡA3b				砂粒1㎜ ～5㎜	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 10YR7/6 明黄褐	絡条体R撚→区画線、曲線文(太)　縦位ミガキ	
51-392 42-2	MA43	Ⅳ	ⅡA3b				砂粒2㎜ 多量	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR7/4 にぶい黄褐	絡条体R撚→曲線文(太) 縦位・横位ナデ	
51-393 42-2	表採		ⅡA3b				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR5/4 にぶい褐 10YR7/3 にぶい黄褐	絡条体R撚→曲線文(太) 縦位ミガキ	
51-394 42-2	MB46	Ⅳ	ⅡA3b				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR7/6 橙 7.5YR4/2 灰褐	絡条体R撚→沈線文(太)→ ナデ　縦位ミガキ	
51-395 42-2	MA44	Ⅰ	ⅡA3b				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	5YR5/6 明赤褐 5YR6/6 橙	絡条体R撚→沈線文(太)→ ナデ　横位ミガキ	
51-396 42-2	MA52	Ⅳ	ⅡA3b				砂粒1㎜ 多量	良好	2.5YR8/3 淡黄 10YR8/3 浅黄橙	絡条体R撚→区画線、曲線文(太)　縦位ミガキ	
51-397 42-2	MA56	Ⅳ	ⅡA1b				砂粒1㎜ 若干	普通	7.5YR7/6 橙 7.5YR7/6 橙	地文無文、平行沈線2条 口唇部LR体側面圧痕	口唇部下隆帯剝離
51-398 43-1	MA42	Ⅳ	ⅡA3c				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	7.5YR8/6 浅黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	絡条体R撚→区画線、曲線文→区画帯磨消　横位ナデ	
51-399 43-1	MA42	Ⅳ	ⅡA3c				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	地文無文、曲線文(太)→ナデ　縦位ミガキ	
51-400 43-1	MA42	Ⅳ	ⅡA3c				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR7/3 にぶい黄橙	地文無文、区画線3条→曲線文(太)　縦位ナデ	407と同一
51-401 43-1	MA42	Ⅳ	ⅡA3c				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR8/4 浅黄橙 10YR6/1 褐灰	地文無文、区画線2条→渦文(太)　横位ミガキ	401と同一
51-402 43-1	MA42	Ⅳ	ⅡA3c				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR7/3 にぶい黄橙	地文無文、曲線文(太) 斜位ミガキ	407と同一
51-403 43-1	MC50	Ⅳ	ⅡA3c				砂粒1㎜ 少量	良好	2.5Y8/3 浅黄 10YR8/4 浅黄橙	区画線3条→沈線文(太)→ 縄文充塡　斜位ミガキ	
51-404 43-1	MA56	Ⅳ	ⅡA3c				砂粒1㎜ 多量	良好	5YR6/6 橙 5YR6/6 橙	地文無文、沈線文(太) 斜位ミガキ	
51-405 43-1	MA42	Ⅳ	ⅡA3c				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/3 にぶい黄橙	地文無文、区画線3条→曲線文(太)　斜・横位ミガキ	407と同一
51-406 43-1	MA42	Ⅳ	ⅡA3c				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/3 にぶい黄橙	地文無文、区画線3条→曲線文(太)　縦位ミガキ	407と同一
51-407 43-1	MA42	Ⅳ	ⅡA3c				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR7/3 にぶい黄橙	地文無文、区画線3条→曲線文(太)　斜位ミガキ	外面摩滅著しい
51-408 43-1	LT53	Ⅰ	ⅡA3c				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR8/4 浅黄橙	地文無文、沈線文(長円文) 指頭圧痕、横位ナデ	

第13表　土器観察表(12)

法量（　）は推定値

挿図 図版	出土地点	層位	分類	法量 (cm) 器高	最大径	底径	胎土	焼成	色調 外面 内面	文様・調整 外面 内面	備考
51-409 43－1	LT50	Ⅳ	ⅡA3c				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR7/6 橙 7.5YR7/6 橙	地文無文、沈線文(太)→ナデ 縦位ミガキ	
51-410 43－1	表採		ⅡA3c				砂粒1㎜ 多量	良好	7.5YR8/4 浅黄橙 10YR6/2 灰黄褐	地文無文、区画線2条→曲線文(太) 縦位ミガキ	401と同一
51-411 43－2	MA42	Ⅳ	ⅡA3c				砂粒1㎜ 多量	良好	2.5Y8/3 浅黄 10YR8/3 浅黄橙	地文無文、沈線文(太)→ナデ 横位ミガキ	
51-412 43－2	LS44	Ⅳ	ⅡA3c				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR4/2 灰黄褐 7.5YR7/6 橙	地文無文、沈線文(太)→ナデ 横位ミガキ	
51-413 43－2	LS44	Ⅳ	ⅡA3c				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 7.5YR7/4 にぶい橙	地文無文、沈線文(太)→ナデ 斜位ミガキ	
51-414 43－2	LT51	Ⅳ	ⅡA3c				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR8/2 灰白 10YR7/2 にぶい黄橙	地文無文、区画線(太)→ナデ 横位ミガキ	
51-415 43－2	LS57	Ⅳ	ⅡA4a				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR8/4 浅黄橙	原体LR多条、横位・縦位 横位・縦位ミガキ	外面炭化物付着
51-416 26	LT62 LS62	Ⅳ	ⅡA4a		口縁部 (28.0)		砂粒1㎜ ～3㎜	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR7/3 にぶい黄橙	縄文原体LR横位回転施文 横位・斜位ナデ	外面炭化物付着
52-417 26・43	MA50	Ⅳ	ⅡA5a	(27.4)	胴部 22.0	(11.0)	砂粒1㎜ ～4㎜	良好	7.5YR4/2 灰褐 10YR8/3 浅黄橙	縄文原体LR縦位回転施文 縦位・横位ナデ	
52-418 43－2	LT40	Ⅳ	ⅡA4a				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	10YR6/3 にぶい黄橙 7.5YR6/4 にぶい橙	縄文原体LR斜位回転施文 斜位ナデ	折り返し口縁剝離
52-419 43－2	LT53	Ⅳ	ⅡA4a				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR6/4 にぶい橙	絡条体R撚縦位回転施文 縦位・横位ミガキ	外面炭化物付着
52-420 43－2	MA56 MA58	Ⅳ	ⅡA4a				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR8/3 浅黄橙	縄文原体RL縦位回転施文 縦位・横位ミガキ	外面炭化物付着
52-421 44－1	MA56	Ⅳ	ⅡA4a				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR6/4 にぶい黄橙 10YR8/3 浅黄橙	縄文原体RL縦位回転施文 縦位ミガキ、横位ナデ	420と同一
52-422 26	MA47	Ⅳ	ⅡA4b				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR8/3 浅黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	絡条体R撚縦位回転施文 横位・斜位ナデ	外面炭化物付着
52-423	MA46	Ⅳ	ⅡA4b				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR8/3 浅黄橙	絡条体R撚縦位回転施文 斜位ナデ	
52-424 26	MA45	Ⅰ	ⅡA4b			(10.8)	砂粒1㎜ ～3㎜	良好	10YR8/3 浅黄橙 10YR8/3 浅黄橙	絡条体R撚縦位回転施文 横位・斜位ナデ	底面ミガキ
52-425 26	MB56	Ⅳ	ⅡA4b			(11.0)	砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR8/3 浅黄橙 10YR8/3 浅黄橙	絡条体R撚縦位回転施文 縦位ミガキ	底面ミガキ
52-426 44－1	LS61	Ⅳ	ⅡA4b				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR8/3 浅黄橙 10YR7/2 にぶい黄橙	縄文原体LR縦位回転施文 横位・縦位ナデ	外面炭化物付着
52-427 26	NA59	Ⅳ	ⅡA4b		口縁部 (23.4)		砂粒1㎜ ～3㎜	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	原体LR多条縦位回転施文 横位ナデ、ミガキ	外面炭化物付着
52-428 44－1	MA58	Ⅳ	ⅡA4c				砂粒1㎜ 多量	良好	7.5YR5/4 にぶい褐 7.5YR6/4 にぶい橙	縄文原体LR縦位回転施文 横位・縦位ミガキ	外面炭化物付着
53-429 44－1	LS48	Ⅳ	ⅡA4b				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR6/2 灰黄褐 7.5YR7/4 にぶい橙	縄文原体RL縦位回転施文 横位ミガキ	
53-430 44－1	MA39	Ⅳ	ⅡA4b				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR8/3 浅黄橙 10YR7/2 にぶい黄橙	縄文原体LR縦位回転施文 縦位ミガキ、横位ナデ	
53-431 44－1	MA38	Ⅰ	ⅡA4b				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR6/2 灰黄褐	原体LR縦位→縦位ナデ 横位・斜位ナデ	
53-432 44－1	MA49	Ⅰ	ⅡA4b				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR8/3 浅黄橙	縄文原体LR縦位回転施文 横位・縦位ナデ	
53-433 44－1	LT46	Ⅳ	ⅡA4b				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR6/4 にぶい橙	縄文原体RL縦位回転施文 横位ミガキ	
53-434 44－1	LT62	Ⅳ	ⅡA4b				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	縄文原体LR縦位回転施文 横位ナデ	
53-435 44－1	MT49	Ⅰ	ⅡA4b				砂粒1㎜ ～4㎜	良好	7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR6/6 橙	原体LR縦位回転→ナデ 横位ミガキ	
53-436 44－1	LT50	Ⅳ	ⅡA4b				砂粒1㎜ ～4㎜	良好	7.5YR6/3 にぶい褐 7.5YR7/4 にぶい橙	横位ミガキ、口唇部平坦 横位ナデ	外面炭化物付着
53-437 44－2	MA42	Ⅳ	ⅡA4b				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR8/3 浅黄橙 10YR8/3 浅黄橙	縄文原体LR縦位回転施文 横位ナデ	
53-438 44－2	LT56	Ⅳ	ⅡA4b				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR5/2 灰褐 7.5YR5/3 にぶい褐	縄文原体RL縦位回転施文 横位ミガキ	
53-439 44－2	LS45	Ⅳ	ⅡA4b				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	10YR4/2 灰黄褐 10YR6/4 にぶい黄褐	縄文原体LR縦位回転施文 横位ナデ	
53-440 44－2	MA37	Ⅳ	ⅡA4b				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR7/4 灰白 10YR7/3 にぶい黄橙	縄文原体LR縦位回転施文 横位ミガキ	
53-441 44－2	MA52	Ⅳ	ⅡA4b				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	7.5YR5/3 にぶい褐 7.5YR5/3 にぶい褐	縄文原体RL斜位回転施文 横位ミガキ	
53-442 44－2	MA56	Ⅳ	ⅡA4b				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 7.5YR4/1 褐灰	原体LR多条縦位回転施文 横位・縦位ミガキ	内面炭化物付着
53-443 44－2	MA49	Ⅰ	ⅡA4b				砂粒2㎜ 金雲母	良好	2.5YR5/6 明赤褐 5.6YR5/6 明赤褐	無文、横位ミガキ 横位ミガキ	
53-444 44－2	LT49	Ⅳ	ⅡA4b				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	10YR5/3 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	無文、横位・斜位ミガキ 横位・縦位ミガキ	
53-445 44－2	MA34	Ⅳ	ⅡA4b				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR4/2 灰黄褐 10YR5/2 灰黄褐	縄文原体L撚縦位回転施文 横位・斜位ミガキ	内面炭化物付着

第14表　土器観察表(13)

法量（　）は推定値

挿図 図版	出土地点	層位	分類	法量(cm) 器高	最大径	底径	胎土	焼成	色調	外面 内面	文様・調整	外面 内面	備考
53-446 26	LT40	Ⅳ	ⅡA5a	(37.5)	胴部 (26.2)	(13.2)	砂粒1mm 多量	良好	10YR8/3 浅黄橙 10YR8/4 浅黄橙		口縁無文、LR縦位回転 横位・縦位ナデ		外面炭化物付着
53-447 44-2	LT40	Ⅳ	ⅡA5a				砂粒1mm ～2mm	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR8/3 浅黄橙		口縁無文、絡条体R撚 横位ミガキ		
53-448 44-2	LT40	Ⅳ	ⅡA5a				砂粒1mm ～3mm	良好	10YR8/2 灰白 10YR7/3 にぶい黄橙		口縁無文、絡条体R撚 横位・縦位ミガキ		447と同一
53-449 44-2	LT40 LT41	Ⅳ	ⅡA5a				砂粒1mm ～2mm	良好	10YR8/3 浅黄橙 10YR8/3 浅黄橙		口縁無文、絡条体R撚 横位・縦位ミガキ		447と同一
53-450 44-2	LT50	Ⅰ	ⅡA5a				砂粒1mm ～3mm	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 7.5YR6/3 にぶい褐		口縁無文、LR縦位回転 横位・縦位ミガキ		口縁指頭圧痕
53-451 45-1	LS44	Ⅳ	ⅡA5a				砂粒1mm ～4mm	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 7.5YR6/4 にぶい橙		口縁RL横位、胴部RL 縦位回転　横位ミガキ		外面炭化物付着
54-452 45-1	MA49	Ⅳ	ⅡA5a				砂粒1mm 多量	良好	10YR6/3 灰黄褐 7.5YR7/4 にぶい橙		口縁無文、RL縦位回転 横位ミガキ		外面炭化物付着
54-453 45-1	LS63	Ⅳ	ⅡA5a				砂粒1mm ～2mm	良好	7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR6/4 にぶい橙		口縁無文、LR縦位回転 横位ミガキ		小波状口縁
54-454 45-1	LS63	Ⅳ	ⅡA5a				砂粒1mm 多量	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 7.5YR7/4 にぶい橙		口縁無文、指頭圧痕 横位ミガキ、		口縁指頭圧痕
54-455 45-1	LT61	Ⅳ	ⅡA5a				砂粒1mm 多量	良好	10YR8/3 浅黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙		口縁無文、LR斜位回転 横位ナデ		口縁指頭圧痕
54-456 45-1	MA49	Ⅳ	ⅡA5a				砂粒1mm ～5mm	良好	10YR8/3 浅黄橙 10YR8/3 浅黄橙		口縁無文、R撚縦位回転 口縁指頭圧痕　縦位ナデ		外面炭化物付着
54-457 45-1	LT49	Ⅰ	ⅡA5a				砂粒2mm 多量	良好	10YR8/3 浅黄橙 2.5Y8/3 淡黄		R撚→折り返し、口縁指頭圧痕(無文)　横位ナデ		
54-458 45-1	LT44	Ⅳ	ⅡA5a				砂粒1mm 多量	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 7.5YR7/4 にぶい橙		口縁無文、横位条痕 横位ミガキ		
54-459 45-1	MA46	Ⅳ	ⅡA5a				砂粒1mm ～2mm	良好	10YR8/3 浅黄橙 7.5YR8/3 にぶい褐		絡条体R撚→折り返し 横位ナデ		外面炭化物付着
54-460 45-1	MA56	Ⅳ	ⅡA5a				砂粒2mm 少量	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 7.5YR7/6 橙		口縁無文、RL横位、口唇原体側面圧痕　縦位ミガキ		外面炭化物付着
54-461 45-1	MA48	Ⅳ	ⅡA5a				砂粒1mm ～2mm	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR7/3 にぶい黄橙		口縁無文、口唇LR原体側面圧痕　横位ミガキ		外面炭化物付着
54-462 45-1	MB46	Ⅳ	ⅡA6				砂粒1mm ～2mm	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 7.5YR7/4 にぶい橙		横位ミガキ ミガキ		網代痕
54-463 45-1	LT49	Ⅰ	ⅡA6				砂粒1mm 多量	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR8/4 浅黄橙		ナデ ナデ		網代痕
54-464 45-2	LS51	Ⅳ	ⅡA6				砂粒1mm ～2mm	良好	10YR7/4 にぶい黄橙 10YR8/4 浅黄橙		ナデ ナデ		網代痕
54-465 26	MA43	Ⅰ	ⅡA6			8.0	砂粒1mm ～2mm	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙		横位・斜位ナデ 斜位ナデ		網代痕
54-466 45-2	LT61	Ⅳ	ⅡA6			8.6	砂粒1mm ～5mm	良好	2.5Y8/4 淡黄 10YR7/3 にぶい黄橙		縦位ミガキ 横位ミガキ		網代痕
54-467 45-2	LT50	Ⅰ	ⅡA6			10.0	砂粒1mm ～4mm	良好	10YR7/4 にぶい黄橙 10YR6/2 灰黄褐		縦位ナデ(粗) 横位ナデ		木目状圧痕
54-468 26	LT52	Ⅰ	ⅡA6			8.0	砂粒1mm 少量	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 7.5YR6/3 にぶい褐		縄文原体LR横位回転施文 横位ミガキ		木葉痕
54-469 26	MA56	Ⅳ	ⅡA6			13.2	砂粒1mm 少量	良好	7.5YR6/3 にぶい橙 7.5YR6/3 にぶい褐		絡条体L撚縦位回転施文 斜位・縦位・横位ミガキ		網代痕
54-470 45-2	LT60	Ⅳ	ⅡA6			(9.0)	砂粒1mm 少量	良好	10YR7/4 にぶい黄橙 10YR8/4 浅黄橙		横位ナデ ナデ		筮描沈線文2条
54-471 45-2	LT49	Ⅰ	ⅡA6			8.2	砂粒1mm ～2mm	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR7/3 にぶい黄橙		横位・斜位ナデ 横位・斜位ナデ		外面炭化物付着
54-472 45-2	LT43	Ⅳ	ⅡA6			13.0	砂粒1mm ～3mm	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR7/3 にぶい黄橙		横位ナデ 横位ナデ		木葉痕沈線1条
55-473 26	MA40	Ⅳ	ⅡA6			9.0	砂粒1mm ～2mm	良好	7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR6/3 にぶい褐		縄文原体LR縦位回転施文 斜位・横位ナデ		内面炭化物付着
55-474 26	LT48	—	ⅡA6			8.6	砂粒1mm ～4mm	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 10YR7/3 にぶい黄橙		LR縦位、斜位、横位回転 横位ナデ		内面炭化物付着
55-475 26	LS60	—	ⅡA6			10.0	砂粒1mm 少量	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR8/4 浅黄橙		LR縦位回転→ミガキ 縦位、横位ミガキ		底面ミガキ
55-476 26	LT51	Ⅳ	ⅡA6			9.6	砂粒1mm ～2mm	良好	7.5YR7/3 にぶい橙 7.5YR5/2 灰褐		縦位ケズリ→ミガキ 横位ミガキ		底面ミガキ
55-477 46-1	LT60	Ⅳ	ⅡA6			8.0	砂粒1mm ～2mm	良好	7.5YR7/6 橙 10YR7/4 にぶい黄橙		LR縦位→横位ミガキ 横位ナデ		底面ミガキ
55-478 46-1	LS51	Ⅳ	ⅡA6			6.5	砂粒1mm ～3mm	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 10YR8/4 浅黄橙		縦位ナデ 横位ナデ		底面ナデ
55-479 46-1	MA42	Ⅳ	ⅡA6			7.0	砂粒1mm ～2mm	良好	7.5YR6/4 にぶい橙 10YR7/2 にぶい黄橙		縦位ミガキ 横位ナデ		底面ミガキ
55-480 46-1	MA56	Ⅳ	ⅡA6			7.0	砂粒1mm ～4mm	良好	7.5YR7/6 橙 10YR8/4 浅黄橙		横位ナデ 横位ナデ		底面ナデ
55-481 46-1	MA42	Ⅰ	ⅡB		胴部 (14.0)		砂粒1mm 少量	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR8/4 浅黄橙		地文無文、区画線、曲線文 横位ナデ		外面炭化物付着
55-482 46-1	LT40	Ⅳ	ⅡB				砂粒1mm 多量	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR8/4 浅黄橙		地文無文、ミガキ 横位ミガキ		

第15表　土器観察表(14)

法量（　）は推定値

挿図 図版	出土地点	層位	分類	法量(cm) 器高	最大径	底径	胎土	焼成	色調 外面 内面	文様・調整 外面 内面	備考
55-483 46-1	MA60	Ⅳ	ⅡB				砂粒1㎜ 多量	良好	7.5YR6/4 にぶい褐 7.5YR5/4 にぶい褐	横位区画線(口縁無文)、胴部LR斜位、縦位沈線2条	内面横位ミガキ
55-484 46-1	LR51	Ⅳ	ⅡB				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙	地文LR縦位→曲線文 横位ナデ	
55-485 46-1	MA47	Ⅰ	ⅡB				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR8/3 浅黄橙	地文無文、楕円文→R撚充填ナデ　横位ナデ	
55-486 26	MA46 MA47	Ⅰ	ⅡCb		胴上部 (18.0)		砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR8/3 浅黄橙 10YR8/3 浅黄橙	地文無文、隆帯貼付→区画線→曲線文　横位ナデ	橋状把手4単位
55-487 46-1	MA46	Ⅳ	ⅡCb				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR8/3 浅黄橙 10YR8/3 浅黄橙	地文無文、沈線文→ミガキ 横位ナデ	486と同一
55-488 46-1	MB46	Ⅳ	ⅡCb				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR8/3 浅黄橙 10YR8/4 浅黄橙	地文無文、曲線文→ミガキ 横位ミガキ	486と同一
55-489 27	MA43	Ⅳ	ⅡD			5.2	砂粒1㎜ ～2㎜	良好	2.5YR5/6 明赤褐 5YR6/6 橙	隆帯貼付→竹管連続刺突文ナデ、ミガキ	
55-490 27	MA42	Ⅳ	ⅡD			台部 6.6	砂粒1㎜ 多量	良好	10YR7/4 にぶい黄橙 7.5YR7/4 にぶい橙	横位ナデ、径3㎜穿孔 ナデ	
55-491 27	LR51	Ⅳ	ⅡD			3.6	砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR7/4 にぶい黄橙 7.5YR7/3 にぶい黄橙	指頭圧痕→ナデ、ミガキ ナデ	
56-492 27	LT57 LS61	Ⅳ	ⅡE		口縁部 (10.2)		砂粒1㎜ 多量	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR7/3 にぶい黄橙	指頭圧痕→横・斜位ナデ つまみ内面押し出し	蓋 内面ナデ
56-493 46-1	MA47	Ⅳ	ⅡE		口縁部 (12.0)		砂粒1㎜ ～2㎜	良好	2.5Y8/4 淡黄 2.5Y8/3 淡黄	横位ミガキ 横位ミガキ	蓋
56-494 27	LT59	Ⅳ	ⅡF	3.4～ 3.7	胴部 4.2	2.5	砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR5/2 灰黄褐	縦位・横位ミガキ 横位ナデ	外面炭化物付着
56-495 46-2	LT51	Ⅳ	ⅡF	長5.0	厚1.5	幅2.6	砂粒1㎜ ～3㎜	普通	10YR7/4 にぶい黄橙	ナデ、摩滅著しい	土偶脚
56-496 27	MB50	Ⅳ	ⅡF	長3.5	厚3.2	幅4.9	砂粒1㎜ ～4㎜	良好	10YR7/2 にぶい黄橙	沈線1条、側面に原体L撚の圧痕、ミガキ、赤色塗付	土偶足
56-497 46-2	MA48	Ⅳ	ⅡF	厚0.9	厚3.8		砂粒1㎜ 多量	良好	2.5Y8/3 淡黄 10YR8/4 浅黄橙	縄文原体RL回転施文 ナデ	円盤状土製品
56-498 46-2	LT51	Ⅳ	ⅡF	厚0.8	厚3.8		砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 5YR7/6 橙	縄文原体LR回転施文 ミガキ	円盤状土製品
56-499 46-2	MA50	Ⅰ	ⅡF	厚0.7	厚3.8		砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR3/1 黒褐 7.5YR3/1 黒褐	縄文原体LR回転施文 ミガキ、炭化物付着	円盤状土製品
56-500 46-2	LS55	Ⅳ	ⅡF	厚0.7	厚3.2		砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR7/4 にぶい黄橙 10YR8/4 浅黄橙	縄文原体LR回転施文 ナデ	円盤状土製品
56-501 46-2	LT51	Ⅳ	ⅡF	厚0.6	厚3.3		砂粒1㎜ 少量	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR8/4 浅黄橙	縄文原体LR回転施文 ナデ	円盤状土製品
56-502 46-2	LT52	Ⅳ	ⅡF	厚0.9	厚2.5		砂粒1㎜ 多量	良好	10YR5/1 褐灰 10YR5/3 にぶい黄褐	原体RL回転施文→ナデ、ミガキ	円盤状土製品
56-503 46-2	LT62	Ⅳ	ⅢA				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR6/4 にぶい黄橙 10YR4/1 黒褐	地文無文、三叉文、ミガキ 横位ナデ、ミガキ	小波状突起
56-504 46-2	LS61	Ⅳ	ⅢA				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR8/2 灰白 10YR6/2 灰黄褐	地文無文、入組三叉文2段口唇刻目、横位ミガキ	内・外面赤色塗付
56-505 46-2	LT56	Ⅳ	ⅢA				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR4/1 褐灰 10YR4/1 褐灰	RL→沈線→ミガキ（変形工字文）　横位ミガキ	内面炭化物付着
56-506 46-2	LT53	Ⅳ	ⅢA				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 10YR8/4 浅黄橙	地文無文、沈線文、ミガキ 横位ナデ	5と同一
56-507 46-2	LS57	Ⅳ	ⅢA				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	5YR6/6 橙 5YR6/6 橙	地文無文、沈線文、ミガキ 横位ミガキ	
56-508 46-2	MB58	Ⅳ	ⅢBc				砂粒1㎜ 多量	良好	7.5YR4/1 褐灰 7.5YR4/2 灰褐	地文無文、変形工字文 横位ナデ	
56-509 46-2	LT42	攪乱	ⅢBc				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR7/4 にぶい黄橙 10YR8/4 浅黄橙	沈線1条、横位ミガキ 横位ミガキ	
56-510 27	LT60	Ⅳ	ⅢC			台部 6.0	砂粒1㎜ ～4㎜	良好	7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR6/4 にぶい橙	地文無文、沈線3条、横位ミガキ　ミガキ	
56-511 46-2	表採		ⅢC			2.8	砂粒1㎜ 多量	良好	7.5YR5/3 にぶい褐 7.5YR6/3 にぶい褐	横位、縦位ミガキ 横位ナデ、炭化物付着	底面ミガキ
56-512 27	LT52	Ⅰ	ⅢC			4.4	砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR6/1 褐灰	縦位ケズリ→横位ナデ 斜位ナデ	底面ミガキ
56-513 46-2	LT50	Ⅰ	ⅢA				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR6/6 橙 7.5YR6/6 橙	地文無文、沈線文→ミガキ 横位ミガキ	
56-514 46-2	MA57	Ⅳ	ⅢA				砂粒1㎜ 多量	良好	5YR7/6 橙 10YR7/4 にぶい黄橙	地文無文、沈線文→ミガキ 横位ミガキ	
57-515 27	MA51	—	ⅣA6		胴上部 (17.6)		砂粒1㎜ ～3㎜	良好	10YR8/4 淡黄 10YR8/3 淡黄	LR横位→口縁ナデ→口唇オサエ　横位ナデ・ミガキ	外面から穿孔2個
57-516 47-1	MA52 MB52	Ⅳ	ⅣA6		胴部 (11.8)		砂粒1㎜ 少量	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR8/4 浅黄橙	縄文原体LR横位回転施文 横位・斜位ミガキ	赤色顔料
57-517 47-1	MA52	Ⅳ	ⅣA6				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR8/4 浅黄橙 10YR8/4 浅黄橙	縄文原体LR横位回転施文 横位・斜位ミガキ	516と同一
57-518 47-1	MA52 MB52	Ⅳ	ⅣA6				砂粒1㎜ 少量	良好	5YR7/4 にぶい橙 10YR8/4 浅黄橙	原体LR縦・横位回転施文 斜位ミガキ	
57-519 47-1	MA51	Ⅰ	ⅣA6				砂粒1㎜ 若干	良好	7.5YR7/6 橙 7.5YR7/6 橙	LR縦・斜位→沈線→口縁ナデ　横位ミガキ	内面赤色顔料

第16表　土器観察表(15)

法量（　）は推定値

挿図 図版	出土地点	層位	分類	法量 (cm) 器高	最大径	底径	胎土	焼成	色調 外面 内面	文様・調整 外面 内面	備考
57-520 47－1	MA51	Ⅰ	ⅣA6				砂粒1㎜ 若干	良好	7.5YR7/6　橙 7.5YR7/6　橙	原体LR横・斜位回転施文 横位ミガキ	519と 同一
57-521 47－1	LR58	－	ⅣA6				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR1/2　灰　褐 7.5YR5/2　灰　褐	原体LR横・斜位回転施文 横位・斜位ナデ	内・外面 炭化物
57-522 47－1	MA51	Ⅰ	ⅣA6				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR5/2　灰　褐 7.5YR4/1　褐　灰	原体LR斜位→口縁ナデ 横位ミガキ	
57-523 47－1	MA52	Ⅳ	ⅣA6				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR6/3　にぶい黄橙 10YR6/3　にぶい黄橙	原体LR横位→沈線1条 横位ナデ	
57-524 47－1	LT52	Ⅳ	ⅣA6				砂粒2㎜ 少量	良好	10YR8/4　浅黄橙 10YR8/4　浅黄橙	縄文原体LR横位回転施文 横位ミガキ	内面赤色 顔料
57-525 47－1	MB52	Ⅳ	ⅣA6				砂粒2㎜ 若干	良好	10YR7/3　にぶい黄橙 10YR7/3　にぶい黄橙	原体LR横・斜位→口縁横位ナデ　横位ナデ	
57-526 47－1	第二トレンチ		ⅣA6				砂粒1㎜ 若干	良好	2.5Y8/3　淡　黄 2.5Y8/3　淡　黄	縄文原体LR横位回転施文 横位ミガキ	範囲確認 調査
57-527 47－1	第二トレンチ		ⅣA6				砂粒1㎜ 少量	良好	2.5Y8/3　淡　黄 10YR7/3　にぶい黄橙	縄文原体LR横位回転施文 横位ミガキ	526と 同一
57-528 47－1	第二トレンチ		ⅣA6				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR8/4　浅黄橙 10YR7/3　にぶい黄橙	縄文原体LR横位回転施文 横位・斜位ミガキ	526と 同一
57-529 47－1	表採		ⅣA6				砂粒1㎜ 若干	良好	7.5YR6/4　にぶい橙 7.5YR5/4　にぶい褐	沈線3条→LR横位充塡→ナデ　横位ミガキ	内・外面 炭化物
57-530 27	MA52 MB52	Ⅳ	ⅣA3	19.8	胴上部 14.0	7.8	砂粒1㎜ ～4㎜	良好	5YR5/4　にぶい赤褐 5YR5/4　にぶい赤褐	原体LR多条横位→口縁横位ナデ　横・斜位ナデ	内・外面 炭化物
57-531 27	MA53 SI34	Ⅳ 埋土	ⅣB2b	波頂部 20.1	胴上部 18.0	7.0	砂粒1㎜ 少量	良好	5YR6/4　にぶい橙 5YR6/4　にぶい橙	RL斜位→沈線→貼瘤・搔瘤→沈線→ミガキ・ナデ	突起7単位・刻目
57-532 47－2	MA52	Ⅳ	ⅣC11				砂粒2㎜ 若干	良好	10YR8/3　浅黄橙 10YR8/3　浅黄橙	口縁横位ナデ→LR横位 横位ナデ→ミガキ	
57-533 47－2	MA52	－	ⅣC11				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR8/3　浅黄橙 7.5YR5/3　にぶい褐	口縁LR横位→RL斜位 横位ミガキ	
57-534 47－2	MA52	－	ⅣC11				砂粒2㎜ 若干	良好	7.5YR6/6　橙 10YR7/3　にぶい黄橙	LR横位→口縁横位ミガキ 横位ミガキ	外面赤色 顔料
57-535 47－2	MB50	Ⅰ	ⅣC11				砂粒1㎜ 若干	良好	10YR8/4　浅黄橙 10YR8/4　浅黄橙	口縁横位ナデ、LR横位 横位ナデ	
57-536 47－2	MA52	Ⅰ	ⅣC11				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	10YR8/2　灰　白 2.5Y8/3　淡　黄	RL横位→口縁横位ミガキ 横位ミガキ	
58-537 47－2	MA52	Ⅳ	ⅣB6				砂粒2㎜ 若干	良好	10YR8/4　浅黄橙 10YR8/4　浅黄橙	LR横位→口縁横位ミガキ 横位ミガキ(3～5㎜)	内・外面 赤色顔料
58-538 47－2	MA52	Ⅳ	ⅣB6				砂粒2㎜ 少量	良好	10YR8/4　浅黄橙 10YR8/4　浅黄橙	LR横位→口縁横位ミガキ 炭化物付着　横位ミガキ	内・外面 赤色顔料
58-539 47－2	MA52	Ⅰ Ⅳ	ⅣB6				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	2.5Y8/3　淡　黄 10YR7/3　にぶい黄橙	原体LR横位→横位ナデ 横位ミガキ	538と 同一
58-540 47－2	LT56	Ⅳ	ⅣC11				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	7.5YR5/3　にぶい褐 10YR7/3　にぶい黄橙	地文無文、口唇部やや外傾 横位ミガキ	外面横位 ミガキ
58-541 47－2	MB50	Ⅰ	ⅣC11				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR7/4　にぶい黄橙 10YR7/4　にぶい黄橙	LR横位→口縁横位ナデ 横位ナデ	
58-542 47－2	LT52	Ⅰ	ⅣC11				砂粒1㎜ 多量	良好	7.5YR6/4　にぶい橙 7.5YR6/4　にぶい橙	地文LR横位→沈線1条 横位ナデ	543と 同一
58-543 47－2	LT52	Ⅰ	ⅣC11				砂粒1㎜ 多量	良好	5YR6/4　にぶい橙 7.5YR6/3　にぶい褐	地文LR横位→沈線1条 横位ナデ	内・外面 赤色顔料
58-544 47－2	LT50	Ⅳ	ⅣB6				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR6/3　にぶい褐 7.5YR6/3　にぶい褐	口縁無文横位ナデ、LR斜位(縦走)　横位ミガキ	
58-545 47－2	MA52	Ⅰ	ⅣA6				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR4/1　褐　灰 10YR4/1　褐　灰	R撚あるいはRL多条斜位口縁無文　横位ミガキ	内面炭化 物付着
58-546 48－1	MA52	Ⅰ	ⅣA6				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR5/4　にぶい褐 7.5YR5/4　にぶい褐	原体RL横位→沈線3条 横位ミガキ	
58-547 48－1	MA52	Ⅳ	ⅣA6				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR5/4　にぶい褐 7.5YR4/3　褐	原体RL横位、沈線3条 横位ミガキ	内面炭化 物付着
58-548 48－1	MA52	Ⅳ	ⅣB6				砂粒1㎜ 少量	良好	5YR6/6　橙 7.5YR5/3　にぶい褐	原体LR横位→沈線3条ナデ　横位ミガキ	内・外面 炭化物
58-549 48－1	MA52	Ⅳ	ⅣB6				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	2.5YR4/4　にぶい赤褐 7.5YR6/4　にぶい橙	原体RL→沈線3条→貼瘤→沈線(一部)　横位ナデ	外面赤色 顔料
58-550 48－1	LT53	Ⅳ	ⅣC11				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR7/3　にぶい黄橙 10YR4/1　褐　灰	原体RL→沈線4条→貼瘤→沈線　沈線1条、ナデ	
58-551 48－1	LT52	Ⅳ	ⅣB6				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR3/1　黒　褐 10YR3/1　黒　褐	沈線3条→ナデ・ミガキ 横位ミガキ	
58-552 48－1	LT52	Ⅳ	ⅣB6				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR7/3　にぶい黄橙 10YR6/4　にぶい黄橙	沈線3条→LR充塡→ミガキ(胴上部)　横位ミガキ	
58-553 48－1	MA52	Ⅰ	ⅣB6				砂粒2㎜ 多量	良好	10YR8/4　浅黄橙 10YR6/3　にぶい黄橙	口縁LR→沈線2条→ナデ(胴上部)　横位ナデ	554と 同一
58-554 48－1	表採		ⅣB6				砂粒2㎜ 多量	良好	7.5YR7/6　橙 10YR6/4　にぶい黄橙	口縁LR→沈線6条→ナデ(胴上部)　横位ナデ	553と 同一
58-555 48－1	LS62	Ⅳ	ⅣB6				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR7/3　にぶい黄橙 10YR6/3　灰黄褐	口縁RL→沈線3条→ナデ(胴上部)　横・斜位ナデ	
58-556 48－1	表採		ⅣA6				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR6/4　にぶい橙 10YR6/3　にぶい黄橙	沈線3条→LR充塡→ナデ 横位ナデ	

第17表　土器観察表(16)

法量（　）は推定値

挿図 図版	出土地点	層位	分類	法量 (cm) 器高	最大径	底径	胎土	焼成	色調	外面 内面	文様・調整	外面 内面	備考
58-557 48－1	MA53	Ⅳ	ⅣA6				砂粒1㎜ 少量	良好	5YR6/6　橙 5YR6/6　橙		原体LR→沈線3条→ナデ 横位ミガキ		
58-558 48－1	LT58	Ⅳ	ⅣA6				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR5/2　灰　褐 7.5YR5/2　灰　褐		原体LR→沈線2条→ナデ 横位ミガキ		
58-559 48－1	LS48	Ⅳ	ⅣC11				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	10YR7/4　にぶい黄橙 10YR8/4　浅　黄　橙		沈線4条→ミガキ 横位ナデ		
58-560 48－1	MA51	Ⅰ	ⅣB6				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	5YR4/4　にぶい赤褐 5YR4/4　にぶい赤褐		沈線3条→LR充填→ミガキ　横位ミガキ		
58-561 48－1	MA52		ⅣB6				砂粒1㎜ 少量	良好	2.5YR8/4　淡　黄 10YR7/2　にぶい黄橙		原体LR横位→口縁ナデ 横位・斜位ナデ		原体開端痕(口縁)
58-562 48－2	MA52	Ⅳ	ⅣB6				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	2.5YR8/4　淡　黄 10YR7/2　にぶい黄橙		原体LR横位・斜位回転 横位ナデ		561と同一
58-563 48－2	LS48	Ⅳ	ⅣC11				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	10YR5/4　にぶい黄褐 7.5YR5/3　にぶい褐		原体LR→口縁ナデ、口唇部刻目　横位ナデ		内・外面炭化物
58-564 48－2	LS59	Ⅳ	ⅣC11				砂粒1㎜ 多量	良好	10YR6/2　灰黄褐 10YR7/2　にぶい黄橙		縄文原体LR縦位回転施文 横位ミガキ		
58-565 48－2	MA48	Ⅰ	ⅣB6				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR7/4　にぶい黄橙 10YR5/4　にぶい黄褐		LR横位、口縁無文横位ミガキ		外面炭化物付着
58-566 48－2	MA53	Ⅳ	ⅣC11				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR6/6　橙 7.5YR6/4　にぶい橙		RL(縦走)→沈線4条→貼瘤→沈線　横位ミガキ		
59-567 27	MA52 MA53	Ⅰ	ⅣC5	17.2	胴上部 (17.6)	9.0	砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR8/3　浅　黄　橙 10YR6/2　灰　黄　褐		口縁ナデ→沈線2条→LR縦・横位　横位ミガキ		内・外面炭化物
59-568 27	MB48	Ⅰ	ⅣC7		口縁部 15.4		砂粒1㎜ 少量	良好	10YR8/3　浅　黄　橙 10YR7/4　にぶい黄橙		RL縦・斜位→沈線2条→ナデ　横・斜位ミガキ		山形突起6単位
59-569 48－2	MA48	Ⅰ	ⅣC10				砂粒1㎜ 若干	良好	10YR7/3　にぶい黄橙 10YR6/2　灰　黄　褐		RL横位→沈線6条→ミガキ　沈線1条、横位ミガキ		570と同一
59-570 48－2	MA48 MB48	Ⅰ	ⅣC10		胴上部 (14.8)		砂粒1㎜ 若干	良好	10YR7/3　にぶい黄橙 10YR7/3　にぶい黄橙		RL斜位(縦走)→沈線4条→ミガキ　横位ミガキ		569と同一
59-571 27	LT42 LS42	Ⅳ	ⅣB6				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR7/6　明　黄　褐 10YR7/3　にぶい黄橙		縦位鋸歯状文→RL充填→RL原体側面圧痕		外面炭化物付着
59-572 48－2	MA53	Ⅳ	ⅣC11		胴上部 (13.2)		砂粒2㎜ 多量	良好	10YR7/3　にぶい黄橙 10YR6/3　にぶい黄橙		横位・斜位ナデ 横位・斜位ナデ		
59-573 27	LT50	Ⅰ	ⅣB6		胴　部 (10.4)	5.8	砂粒1㎜ ～2㎜	良好	5YR5/4　にぶい赤褐 2.5YR4/6　赤　褐		縄文原体LR横位回転施文 横位・斜位ナデ・ミガキ		内・外面炭化物
59-574 48－2	MA48	Ⅰ	ⅣC11				砂粒2㎜ 若干	良好	7.5YR6/4　にぶい橙 7.5YR5/3　にぶい褐		原体LR横位→沈線1条 横位・斜位ミガキ		内・外面炭化物
59-575 48－2	LT48	Ⅳ	ⅣC10				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR5/3　にぶい褐 7.5YR4/2　灰　褐		RL斜位(縦走)→沈線1条 横位ミガキ		内・外面炭化物
59-576 48－2	MA50	Ⅰ	ⅣC11				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR6/4　にぶい橙 7.5YR4/2　灰　褐		LR斜位(縦走)→沈線1条 横位ミガキ		内面炭化物付着
59-577 49－1	MA52	Ⅰ	ⅣC11				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR7/4　にぶい橙 7.5YR7/4　にぶい橙		地文無文、沈線3条→ミガキ　横位ミガキ		外面炭化物付着
59-578 49－1	LS48	Ⅰ	ⅣC10				砂粒1㎜ 若干	良好	10YR7/3　にぶい黄橙 10YR7/3　にぶい黄橙		RL→沈線5条→ミガキ 沈線1条、横位ミガキ		
59-579 49－1	LT49	Ⅰ	ⅣC10				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR6/4　にぶい橙 7.5YR4/4　褐		RL斜位(縦走)→沈線1条 横位ミガキ		575と同一
59-580 49－1	表　採		ⅣC11				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR5/3　にぶい褐 7.5YR4/2　灰　褐		LR縦位→沈線4条→貼瘤 横位ミガキ		内面炭化物付着
59-581 49－1	LT50	Ⅰ	ⅣB6				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	5YR5/4　にぶい赤褐 2.5YR5/6　明　赤　褐		口縁無文、LR横位、口唇つまみ出し(外傾)　ナデ		573と同一
59-582 49－1	LR51	Ⅳ	ⅣC11				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	5YR4/3　にぶい赤褐 5YR4/2　灰　褐		口唇下RL斜位、胴部縦位→沈線→ミガキ　沈線1条		内面横位ミガキ
59-583 49－1	MA59	Ⅳ	ⅣC11				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR4/2　灰　褐 7.5YR7/4　にぶい橙		口縁沈線2条、胴部RL横位　沈線2条、横位ナデ		内・外面炭化物
59-584 49－1	LS45	Ⅳ	ⅣB6				砂粒1㎜ 多量	良好	5YR7/4　にぶい橙 10YR7/2　にぶい黄橙		RL原体側面圧痕2条、口唇LR原体側面圧痕		内面横位ミガキ
59-585 49－1	LT53	Ⅰ	ⅣI				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	7.5YR4/2　灰　褐 7.5YR4/2　灰　褐		LR縦位、沈線4条、列点文→ミガキ　横位ミガキ		外面炭化物付着
59-586 49－1	MA52	Ⅳ	ⅣC11				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	5YR6/6　橙 5YR6/6　橙		縄文→沈線3条→ミガキ 横位ミガキ		
59-587 49－1	LS50	Ⅳ	ⅣI				砂粒1㎜ 若干	良好	7.5YR7/6　橙 7.5YR7/6　橙		地文無文、口唇沈線1条 口唇下沈線1条　横位ナデ		小突起上刻目
59-588 49－1	MA50	Ⅰ	ⅣI				砂粒1㎜ 若干	良好	7.5YR5/3　にぶい褐 7.5YR5/3　にぶい褐		地文無文、口唇沈線1条 内・外面横位ミガキ		内面炭化物付着
59-589 49－1	MA51	Ⅰ	ⅣI				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	7.5YR5/3　にぶい褐 7.5YR7/4　にぶい橙		波状工字文→刺突文、LR横位回転　横位ナデ		内・外面炭化物
59-590 49－1	MA52	Ⅳ	ⅣI				砂粒1㎜ ～3㎜	普通	10YR8/4　浅　黄　橙 10YR8/4　黄　橙		口縁無文、口唇沈線、胴部LR縦位　沈線1条、ナデ		突起上刻目
59-591 49－1	MC50	Ⅳ	ⅣC10			(5.6)	砂粒1㎜ ～3㎜	普通	7.5YR7/6　橙 10YR8/3　浅　黄　橙		台部沈線1条、縦位スリット4単位　ナデ、ミガキ		
59-592 49－1	LT58	Ⅳ	ⅣC10			(7.8)	砂粒1㎜ 少量	良好	10YR8/3　浅　黄　橙 10YR8/4　浅　黄　橙		台部沈線1条(浅)、ミガキ ミガキ		底面ミガキ丁寧
59-593 27	MA51	Ⅰ	ⅣC10			7.8	砂粒1㎜ 少量	良好	10YR7/4　にぶい黄橙 10YR7/3　にぶい黄橙		RL斜位(縦走)→沈線→ミガキ　縦・横位ミガキ		底面ミガキ丁寧

第18表　土器観察表(17)

法量（　）は推定値

挿図 図版	出土地点	層位	分類	法量 (cm) 器高	最大径	底径	胎土	焼成	色調	外面 内面	文様・調整	外面 内面	備考
59-594 27	LT58	Ⅳ	ⅣC10			(8.6)	砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 7.5YR7/4 にぶい橙		RL斜位(縦走)→沈線(浅) →ミガキ　横位ミガキ		底面ミガキ丁寧
60-595 28	MA57	Ⅳ	ⅣE3			(7.0)	砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR6/4 にぶい黄橙		RL斜位(縦走)→沈線2条 横位ミガキ		
60-596 49－2	LS51	Ⅰ	ⅣD8				砂粒1㎜ 若干	良好	7.5YR8/3 浅黄橙 7.5YR7/4 にぶい橙		変形工字文→貼瘤→ミガキ 沈線1条、横位ミガキ		外面赤色顔料
60-597 49－2	MA52	Ⅳ	ⅣD8				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR6/6 橙 7.5YR4/3 褐		変形工字文→貼瘤→ミガキ 沈線1条、横位ミガキ		外面赤色顔料
60-598 49－2	LT52	Ⅳ	ⅣD8				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 7.5YR7/4 にぶい橙		変形工字文→貼瘤→ミガキ 沈線1条、横位ミガキ		内・外面赤色顔料
60-599 49－2	MA51	Ⅰ	ⅣD8				砂粒2㎜ 多量	良好	10YR7/4 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙		変形工字文→貼瘤→沈線 沈線2条、横位ミガキ		
60-600 49－2	LT50	Ⅳ	ⅣD8				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR7/6 橙 7.5YR6/6 橙		変形工字文→貼瘤→ミガキ 沈線2条、横位ミガキ		
60-601 49－2	MA51	Ⅰ	ⅣD8				砂粒1㎜ 若干	良好	7.5YR7/6 橙 10YR7/4 にぶい黄橙		変形工字文→貼瘤→ミガキ 口唇・内面沈線1条		
60-602 49－2	LT50	Ⅳ	ⅣD8				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR5/3 にぶい褐 7.5YR5/3 にぶい褐		変形工字文→ミガキ 沈線1条、斜位ミガキ		
60-603 28	LT48	Ⅳ	ⅣD3	4.9	口縁部 9.2	4.6	砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR6/6 明黄褐 10YR6/6 明黄褐		変形工字文→貼瘤→ミガキ 沈線1条、横位ミガキ		内・外面赤色顔料
60-604 28	MA53	Ⅳ	ⅣD4b	4.3	口縁部 10.2	5.2	砂粒1㎜ ～2㎜	良好	5YR5/6 明赤褐 5YR5/6 明赤褐		変形工字文→ミガキ 沈線1条、横位ミガキ		外面赤色顔料
60-605 28	MA51	Ⅰ	ⅣD6	9.3	口縁部 (19.4)	(9.2)	砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR5/3 にぶい褐		口縁工字文、胴部変形工字文　沈線2条、ミガキ		黒塗(?) 赤色顔料
60-606 28	MA52	Ⅳ	ⅣD7	9.2	口縁部 21.6	10.4	砂粒1㎜ 少量	良好	10YR8/4 浅黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙		変形工字文→貼瘤、刺突大突起3単位　沈線1条		内・外面赤色顔料
60-607 49－2	MA53	Ⅰ	ⅣD8				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄橙		沈線3条→ミガキ、口唇沈線1条　沈線、ミガキ		606と同一
60-608 49－2	MA51	Ⅰ	ⅣD8				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR6/3 にぶい褐 7.5YR5/3 にぶい褐		変形工字文→貼瘤→ミガキ 黒塗(?)　ミガキ		605と同一
60-609 49－2	LT52	Ⅰ	ⅣD8				砂粒1㎜ 若干	良好	7.5YR7/6 橙 7.5YR7/6 橙		沈線→貼瘤、口唇沈線1条 沈線2条、横位ミガキ		刺突突起赤色顔料
60-610 49－2	MA52 MA53	Ⅳ Ⅰ	ⅣD8				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR7/4 橙		変形工字文→ミガキ 横位ミガキ		606と同一
60-611 49－2	LS51	Ⅳ	ⅣD8				砂粒2㎜ 若干	良好	10YR7/6 明黄褐 10YR7/6 明黄褐		沈線2条→ミガキ 横位ミガキ		摩滅顕著
60-612 49－2	MA50	Ⅳ	ⅣD8				砂粒1㎜ 金雲母	良好	5YR5/6 明赤褐 5YR5/6 明赤褐		LR横位→沈線→ミガキ 横位ミガキ		内・外面炭化物
60-613 49－2	LT62	Ⅳ	ⅣD8				砂粒1㎜ 少量	普通	10YR8/4 浅黄橙 10YR8/4 浅黄橙		LR横位→口縁ナデ(無文) 横位ナデ		内面赤色顔料
60-614 49－2	LT49	Ⅳ	ⅣD8				砂粒1㎜ 若干	良好	7.5YR5/3 にぶい褐 7.5YR4/2 灰褐		変形工字文→貼瘤→ミガキ 横位ミガキ		
60-615 49－2	LS47	Ⅰ Ⅳ	ⅣD8				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR7/4 にぶい黄橙 10YR8/3 浅黄橙		変形工字文→貼瘤→沈線→ ミガキ　沈線1条		外面黒塗(?)
60-616 49－2	LT47 LS47	Ⅰ Ⅳ	ⅣD8				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR6/3 にぶい褐 7.5YR7/4 にぶい橙		変形工字文→貼瘤→ミガキ 沈線1条、横位ミガキ		615と同一
60-617 49－2	MB50	Ⅰ	ⅣD8				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR7/4 にぶい黄橙 10YR5/2 灰黄褐		変形工字文→貼瘤→ミガキ 横位ミガキ		外面赤色顔料
60-618 50－1	MA50	Ⅰ	ⅣD8				砂粒1㎜ 少量	良好	5YR5/4 にぶい赤褐 7.5YR6/6 橙		変形工字文→貼瘤→沈線→ ミガキ　横位ミガキ		
60-619 50－1	LT47	Ⅰ	ⅣD8				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR6/3 にぶい褐 7.5YR6/3 にぶい褐		沈線5条→ミガキ 横位ミガキ		
61-620 50－1	MA50	Ⅰ Ⅳ	ⅣD8				砂粒1㎜ 若干	良好	7.5YR5/3 にぶい褐 7.5YR6/3 にぶい褐		変形工字文→貼瘤→ミガキ 横位・斜位ミガキ		
61-621 50－1	MA47 MA49	Ⅳ	ⅣD8				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR7/4 にぶい橙 7.5YR7/4 にぶい橙		変形工字文→貼瘤→ミガキ 横位ミガキ		外面赤色顔料
61-622 50－1	MC50	Ⅳ	ⅣD8				砂粒1㎜ 若干	良好	10YR7/3 にぶい黄橙 10YR3/1 黒褐		沈線3条→ミガキ 横位ミガキ		
61-623 50－1	MA51	Ⅰ	ⅣD8				砂粒1㎜ 少量	良好	5YR6/6 橙 7.5YR5/4 にぶい褐		沈線4条→ミガキ 横位・斜位ミガキ		外面赤色顔料
61-624 50－1	LT50	Ⅳ	ⅣD8				砂粒1㎜ ～3㎜	良好	7.5YR6/4 にぶい橙 7.5YR6/4 にぶい橙		変形工字文→貼瘤→沈線→ ミガキ　横位ミガキ		
61-625 50－1	MA51	Ⅰ	ⅣF6				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	5YR5/4 にぶい赤褐 7.5YR6/3 にぶい褐		工字文→貼瘤→沈線→ミガキ、刻目　横位ナデ		外面炭化物付着
61-626 50－1	MA52	Ⅳ	ⅣF6				砂粒1㎜ ～2㎜	良好	5YR5/4 にぶい赤褐 5YR5/4 にぶい赤褐		工字文→貼瘤→沈線→ミガキ、刻目　横位ナデ		627と同一
61-627 28	MA52	Ⅳ	ⅣF6		胴部 (20.0)		砂粒1㎜ ～3㎜	良好	5YR4/4 にぶい赤褐 2.5YR6/6 橙		地文無文、頸部下沈線1条 横位・斜位ナデ		外面炭化物付着
61-628 50－1	表採		ⅣF8				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR7/6 橙 7.5YR7/6 橙		沈線2条→横位ミガキ 沈線1条→横位ミガキ		
61-629 50－1	MA52	Ⅳ	ⅣF8				砂粒1㎜ 若干	良好	5YR6/4 にぶい橙 5YR6/4 にぶい橙		工字文→貼瘤→ミガキ 沈線1条→横位ミガキ		
61-630 50－1	MA50	Ⅰ	ⅣF8				砂粒1㎜ 若干	良好	5YR6/6 橙 5YR6/4 にぶい橙		工字文→貼瘤→ナデ 沈線1条(浅)→横位ミガキ		

第19表　土器観察表(18)

法量（　）は推定値

挿図 図版	出土地点	層位	分類	法量(cm) 器高	最大径	底径	胎土	焼成	色調	外面 内面	文様・調整	外面 内面	備考
61-631 50－1	MA51	Ⅰ	ⅣF8				砂粒1㎜ 若干	良好	5YR6/6 5YR6/6	橙 橙	工字文→貼瘤→ミガキ 横位ミガキ		
61-632 50－1	LT51	Ⅳ	ⅣF8				砂粒1㎜ 若干	良好	5YR6/6 7.5YR7/6	橙 橙	変形工字文→横位ミガキ 横位ナデ		
61-633 50－1	MA50	Ⅳ	ⅣF8				砂粒1㎜ 金雲母	良好	5YR6/6 5YR6/6	橙 橙	工字文→貼瘤→ミガキ、口唇沈線　沈線→ミガキ		小突起上刻目
61-634 50－1	MA50	Ⅳ	ⅣF8				砂粒1㎜ 金雲母	良好	5YR6/6 5YR6/6	橙 橙	沈線2条→ミガキ、口唇沈線、小突起刻目　沈線		633と同一
61-635 50－1	MA50	Ⅰ	ⅣF8				砂粒少量	良好	5YR6/6 7.5YR7/6	橙 橙	変形工字文→横位ミガキ 横位ナデ		
61-636 50－1	LS37	Ⅰ	ⅣF8				砂粒1㎜ ～4㎜	良好	7.5YR7/6 7.5YR7/6	橙 橙	棒状工具列点文、縦位沈線3条、LR充填(?)		内・外面横位ナデ
61-637 28・50	LT49	Ⅳ	ⅣG1		口縁部 (17.0)		砂粒1㎜ 若干	良好	10YR7/4 10YR7/4	にぶい黄橙 にぶい黄橙	沈線→貼瘤→沈線→ミガキ 口唇沈線、突起6単位		内面沈線ミガキ
61-638 28	第二トレンチ		ⅣG4	12.3	胴上部 19.6	脚部 9.6	砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR6/3 7.5YR6/2	にぶい褐 灰　褐	RL横位→沈線→貼瘤→沈線山形文→刺突文(脚部)		範囲確認調査
61-639 28	MB50		ⅣG3	14.1	胴上部 22.7	脚部 (10.4)	砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR7/4 5YR5/4	にぶい橙 にぶい赤褐	LR横・斜位→沈線→貼瘤→沈線、平行沈線(脚部)		内面沈線ミガキ
61-640 50－2	MA52	Ⅳ	ⅣD8				砂粒1㎜ 金雲母	良好	7.5YR7/4 10YR7/4	にぶい橙 にぶい黄橙	変形工字文→貼瘤→ミガキ 沈線1条→横位ミガキ		193と同一
62-641 50－2	MB50	Ⅰ	ⅣG5				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR8/4 10YR8/4	浅黄橙 浅黄橙	波状口縁、頂部内外面から粘土粒貼付→横位刻目		内・外面ナデ
62-642 50－2	LS51	Ⅰ	ⅣG5				砂粒1㎜ 少量	良好	10YR7/4 10YR7/4	にぶい黄橙 にぶい黄橙	沈線→貼瘤→ミガキ、口唇沈線　内面剝離		
62-643 50－2	MA50	Ⅳ	ⅣG5				砂粒1㎜ 若干	良好	7.5YR6/4 7.5YR6/4	にぶい橙 にぶい橙	変形工字文→貼瘤→沈線→ミガキ　沈線→ミガキ		
62-644 50－2	MA49	Ⅰ	ⅣG5・				砂粒1㎜ 若干	良好	7.5YR6/3 7.5YR6/4	にぶい褐 にぶい橙	沈線→貼瘤→結節部擬痕→ミガキ　沈線→ミガキ		
62-645 50－2	MB57	Ⅳ	ⅣG5				砂粒1㎜ 若干	良好	7.5YR7/6 7.5YR7/4	橙 にぶい橙	LR→工字文→結節部擬痕→ミガキ　横位ミガキ		
62-646 50－2	MA53	Ⅰ	ⅣE3				砂粒1㎜ 若干	良好	7.5YR7/6 10YR7/4	橙 にぶい橙	沈線1条→横位ミガキ 横位・斜位ナデ・ミガキ		
62-647 28・50	MA50 MB51	Ⅰ	ⅣG5			脚部 9.4	砂粒1㎜ ～3㎜	良好	10YR7/4 10YR7/4	にぶい黄橙 にぶい黄橙	変形工字文→結節部擬痕→ミガキ　横・斜位ミガキ		
62-648 50－2	LT54	Ⅳ	ⅣI			5.6	砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR7/4 10YR7/4	にぶい橙 にぶい黄橙	内面・外面横位ミガキ 底面沈線状圧痕		底面ミガキ
62-649 50－2	LT52	Ⅰ	ⅣI			5.4	砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR6/3 10YR8/3	にぶい褐 浅黄橙	原体LR斜位(縦走)→縦位ナデ　横位ミガキ		
62-650 50－2	MA53	Ⅰ	ⅣI			(7.0)	砂粒1㎜ ～2㎜	良好	7.5YR5/3 10YR7/3	にぶい褐 にぶい黄橙	斜位ナデ、底面ミガキ 斜位ナデ		内・外面炭化物
62-651 50－2	LT59	Ⅳ	ⅣI			6.8	砂粒1㎜ ～3㎜	良好	10YR7/4 10YR7/4	にぶい黄橙 にぶい黄橙	横位ミガキ、底面ミガキ 横位ミガキ		内面炭化物付着
62-652 51－1	MA49	Ⅰ	ⅣI			7.4	砂粒2㎜ 多量	良好	7.5YR6/4 10YR5/2	にぶい橙 灰黄橙	縄文原体LR横位回転施文 横位・斜位ナデ		底面ミガキ
62-653 28	LT52 LT53	Ⅰ Ⅳ	ⅣI			6.8	砂粒1㎜ ～4㎜	良好	5YR5/4 5YR6/4	にぶい赤褐 にぶい橙	縄文原体LR横位回転施文 横位ナデ		底面ミガキ
62-654 51－1	MA52	Ⅳ	ⅣI			7.8	砂粒1㎜ 少量	良好	10YR8/4 10YR8/4	浅黄橙 浅黄橙	原体RL横位→横位ナデ 横位ミガキ、底面ミガキ		内面赤色顔料
62-655 51－1	MA47 MA49	Ⅳ Ⅳ	ⅣI			(8.0)	砂粒1㎜ 少量	良好	10YR8/3 10YR7/4	浅黄橙 にぶい黄橙	原体LR斜位(横走)回転横位・斜位ミガキ		
62-656 28	MA51 MA52	Ⅰ Ⅳ	ⅣI			(7.6)	砂粒1㎜ 若干	良好	10YR8/4 10YR8/3	浅黄橙 浅黄橙	原体LR横位・斜位回転横位ナデ、ミガキ		底面ミガキ
62-657 28	MA43	Ⅳ	ⅣI			8.4	砂粒1㎜ 多量	良好	7.5YR5/4 7.5YR5/4	にぶい褐 にぶい褐	RL斜位(縦走)、ミガキ 縦位ナデ、横位ミガキ		底面木目状圧痕
62-658 28	MA52 MB52	Ⅳ	ⅣI			10.0	砂粒1㎜ ～2㎜	良好	2.5YR8/3 2.5YR8/3	淡黄 浅黄	LR横位→横・斜位ナデ 横位ナデ、斜・縦位ミガキ		
62-659 51－1	MA51	Ⅰ	ⅣI			(6.2)	砂粒1㎜ 若干	良好	10YR8/3 10YR8/4	浅黄橙 浅黄橙	原体LR、斜位(縦位)回転横位ミガキ		底面ミガキ
62-660 51－1	MA57	Ⅳ	ⅣI			7.8	砂粒2㎜ 多量	良好	10YR8/4 10YR8/4	浅黄橙 浅黄橙	無文、縦位・横位ミガキ 横位ミガキ		底面ミガキ
62-661 51－1	LT51	Ⅰ	ⅣI			(12.8)	砂粒1㎜ 多量	良好	7.5YR7/4 10YR8/3	にぶい橙 浅黄橙	原体LR縦位→横位ミガキ 横位ミガキ		底面ミガキ
62-662 28	MA53	Ⅳ	ⅣH2	5.1	口縁部 (6.1)	2.2	砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR6/4 7.5YR6/4	にぶい橙 にぶい橙	地文無文、口縁部下沈線2条(浅)→ミガキ		内面横位ミガキ
62-663 51－1	MA50	Ⅳ	ⅣH8				砂粒1㎜ 少量	良好	7.5YR7/4 10YR8/4	にぶい橙 浅黄橙	口縁に沿う2条の沈線→ミガキ　沈線1条→ミガキ		
62-664 28	LS48	Ⅳ	ⅣH8			3.0	砂粒1㎜ ～4㎜	良好	7.5YR6/4 7.5YR6/4	にぶい橙 にぶい橙	LR斜位(横位)→ミガキ 横位・斜位ナデ・ミガキ		底面ミガキ
62-665 28	MA52 MA53	Ⅳ Ⅰ	ⅣH1	8.5	胴上部 (8.0)	4.6	砂粒1㎜ ～2㎜	良好	10YR7/3 10YR7/4	にぶい黄橙 にぶい黄橙	LR横位→口縁横位ミガキ 横位・斜位ミガキ		底面ミガキ
62-666 28	MA49	Ⅰ	ⅣH3		口縁部 (9.0)		砂粒2㎜ 多量	良好	10YR7/3 10YR7/4	にぶい黄橙 にぶい黄橙	LR→工字文→結節部刺突・刻目→口縁ミガキ		内面ミガキ
62-667 51－1	LT53	Ⅳ	ⅤA2			(13.6)	砂粒4㎜ 多量	良好	7.5YR8/4 7.5YR7/4	浅黄橙 橙	縦位ケズリ→斜位ナデ 横位・斜位ナデ		底面ケズリ

第20表　石器観察表(1)

欠損の場合は大きさに（　）を付した

挿図番号	図版番号	出土地点	層位	器種	石質	大きさ(cm) 長	幅	厚	重量(g)	備考
27－1	29－1	SZ41	埋土	円盤状石製品	凝灰質泥岩	(6.0)	(1.7)	0.9	(24.2)	
29－2	30－1	SKF42	埋土	スクレイパー	頁岩	4.5	3.8	1.7	22.4	
29－3	30－2	SK04	埋土	凹石	緑色凝灰岩	9.5	8.2	4.3	(418.1)	両面磨石
31－4	32－1	SK23	埋土	スクレイパー	頁岩	(4.8)	(4.2)	0.9	(12.9)	
31－5	32－1	SK23	埋土	磨製石斧	玄武岩	(10.2)	4.4	2.8	(197.1)	基部欠損
33－6	33－2	SK79	埋土	有茎石鏃	頁岩	2.7	1.0	0.3	0.6	アスファルト
33－7	33－2	SK79	埋土	有茎石鏃	頁岩	2.5	0.9	0.4	0.7	
33－8	33－2	SK79	埋土	有茎石鏃	頁岩	(2.3)	0.8	0.4	(0.3)	基部尖端部欠損
33－9	33－2	SK79	埋土	有茎石鏃	頁岩	(2.3)	0.8	0.4	(0.6)	基部尖端部欠損
34－10	34－1	SI33	床直	磨製石斧	頁岩	(8.9)	4.3	2.5	(140.4)	アスファルト
34－11	34－1	SI33	埋土	小形磨製石斧	泥岩	4.8	1.3	0.8	5.8	
35－12	34－2	SI34	埋土	有茎石鏃	頁岩	3.9	1.3	0.7	2.0	アスファルト
35－13	34－2	SI34	埋土	スクレイパー	頁岩	4.8	3.9	1.0	9.4	
35－14	34－2	SI34	埋土	スクレイパー	頁岩	8.2	4.0	1.6	49.7	
35－15	34－2	SI34	埋土	スクレイパー	頁岩	5.9	2.7	5.9	10.8	
35－16	34－2	SI34	埋土	スクレイパー	頁岩	5.9	5.2	13.5	30.2	
35－17	34－2	SI34	埋土	スクレイパー	頁岩	7.4	4.1	1.5	44.0	
35－18	34－2	SI34	埋土	スクレイパー	頁岩	5.8	3.2	1.2	19.1	
35－19	34－2	SI34	床直	磨石	凝石岩	10.6	7.9	4.7	479.7	両面
37－20	35－1	SI60	床直	スクレイパー	頁岩	5.9	4.9	2.1	55.7	
37－21	35－1	SI60	埋土	スクレイパー	頁岩	3.6	4.9	0.9	9.5	アスファルト
37－22	35－1	SI60	床直	凹石	凝灰岩	15.6	9.2	4.8	(771.3)	両面
41－23	35－2	SI61	埋土	凹石	凝灰岩	10.7	8.2	5.6	(680.5)	片面磨石
41－24	35－2	SI61	床直	有茎石鏃	頁岩	1.4	0.9	0.3	0.4	
42－25	25	SN46	攪乱	石皿	凝灰岩	(17.3)	(16.9)	(5.2)	(1368.7)	ベンガラ付着
42－26	25	SN46	攪乱	石皿	緑色凝灰岩	(12.0)	(19.8)	(4.3)	(1093.3)	ベンガラ付着
43－27	25	SQ43	－	石皿	凝灰岩	(14.8)	(20.1)	(5.0)	(2338.4)	赤変
43－28	36－1	SQ50	－	磨石	石英安山岩	(10.0)	(9.0)	(6.5)	(638.1)	片面
44－29	36－2	SI32	埋土	スクレイパー	頁岩	6.6	5.0	1.3	35.5	
44－30	36－2	SI32	埋土	スクレイパー	頁岩	6.3	4.3	1.6	25.3	
44－31	36－2	SI32	埋土	凹石	凝灰岩	(11.7)	(5.2)	(4.1)	(244.2)	両面磨石
63－32	51－2	MA53	Ⅳ	有茎石鏃	チャート	(3.8)	1.5	0.7	(3.5)	土器531、662と共伴
63－33	51－2	MB55	Ⅳ	石鏃	チャート	3.5	1.9	0.6	3.4	

第21表　石器観察表(2)

欠損の場合は大きさに（　）を付した

挿図番号	図版番号	出土地点	層位	器種	石質	大きさ(cm) 長	幅	厚	重量(g)	備考
63－34	51－2	MA55	Ⅳ	石槍	頁岩	11.2	3.3	1.0	34.1	35と共伴
63－35	51－2	MA55	Ⅳ	鋸歯縁石器	頁岩	10.4	3.3	2.7	78.4	34と共伴
63－36	51－2	LS58	Ⅳ	石槍	頁岩	(4.1)	(2.7)	(1.2)	(12.4)	
63－37	51－2	MA55	Ⅳ	石槍	チャート	(6.2)	(3.7)	(2.4)	(38.4)	基部
63－38	51－2	LS51	Ⅰ	石錐	頁岩	5.3	2.4	0.7	6.1	
63－39	51－2	MA37	Ⅰ	石匙	頁岩	3.1	2.6	0.8	5.4	
63－40	51－2	LT51	Ⅰ	石匙	碧玉(緑)	5.2	(5.5)	1.1	(18.6)	
63－41	51－2	LT50	Ⅰ	石匙	碧玉(緑)	5.1	(7.7)	1.2	(37.8)	
63－42	51－2	LT52	Ⅰ	石篦	頁岩	9.2	3.4	1.5	47.4	
63－43	51－2	MA44	Ⅰ	石篦	頁岩	7.0	(4.9)	2.3	(79.2)	
63－44	52－1	LS63	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	3.6	7.4	0.9	20.5	アスファルト
63－45	52－1	LS60	Ⅳ	スクレイパー	チャート	3.2	7.1	1.5	26.7	
63－46	52－1	LS58	Ⅳ	鋸歯縁石器	頁岩	5.9	4.1	2.4	53.5	
63－47	52－1	LT62	Ⅳ	鋸歯縁石器	頁岩	7.2	6.4	2.2	84.6	
64－48	52－1	LT40	Ⅴ	スクレイパー	頁岩	9.3	5.0	2.0	66.3	
64－49	52－1	LT63	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	6.9	3.6	1.6	38.9	
64－50	52－1	LT51	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	5.0	4.4	1.9	35.5	
64－51	52－1	LT40	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	(4.3)	(3.8)	1.4	(22.9)	
64－52	52－1	LT52	Ⅰ	スクレイパー	チャート	(6.4)	(4.7)	(1.6)	(36.6)	
64－53	52－1	LS62	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	5.8	4.2	1.2	19.7	
64－54	52－2	表採		スクレイパー	頁岩	4.3	2.3	0.7	6.1	
64－55	52－2	LS42	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	(3.7)	(3.2)	(1.1)	(8.0)	
64－56	52－2	LT62	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	(4.4)	(2.5)	(0.8)	(7.4)	
64－57	52－2	MA42	Ⅳ	スクレイパー	チャート	10.5	9.4	3.0	169.3	
64－58	52－2	LT40	Ⅴ	スクレイパー	頁岩	8.6	10.3	2.9	222.9	
64－59	52－2	MB58	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	10.8	6.4	2.9	123.4	
64－60	52－2	MB58	Ⅴ	スクレイパー	頁岩	7.6	5.0	2.3	66.6	
65－61	52－2	LT40	Ⅴ	スクレイパー	頁岩	9.8	6.3	1.4	65.4	
65－62	52－2	LS61	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	4.4	3.9	1.3	21.6	
65－63	52－2	MA58	Ⅳ	スクレイパー	碧玉(緑)	3.8	1.6	0.6	2.8	
65－64	53－1	MA42	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	7.0	3.5	1.6	23.3	
65－65	53－1	MA51	Ⅰ	スクレイパー	頁岩	7.0	4.0	1.5	62.6	
65－66	53－1	LT53	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	9.7	4.4	1.7	60.6	

第22表　石器観察表(3)

欠損の場合は大きさに（　）を付した

挿図番号	図版番号	出土地点	層位	器種	石質	大きさ (cm) 長	幅	厚	重量(g)	備考
65－67	53－1	LT51	Ⅰ	スクレイパー	頁岩	11.0	5.5	1.8	86.8	
65－68	53－1	LT60	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	4.7	2.0	1.0	8.7	
65－69	53－1	MA59	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	6.2	5.4	1.6	8.7	
65－70	53－1	LT59	Ⅳ	スクレイパー	チャート	8.1	4.4	1.5	55.0	
65－71	53－1	表採		スクレイパー	頁岩	9.0	5.4	2.3	85.2	
65－72	53－1	MB50	Ⅰ	スクレイパー	頁岩	4.3	2.5	0.8	6.1	
65－73	53－1	MA40	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	7.2	4.6	2.0	51.5	
65－74	53－2	MA55	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	9.1	6.0	3.1	85.0	
66－75	53－2	LT50	Ⅰ	スクレイパー	頁岩	11.8	6.2	2.4	74.6	
66－76	53－2	MA47	Ⅰ	スクレイパー	頁岩	8.8	6.2	2.7	79.7	アスファルト
66－77	53－2	LS53	Ⅰ	スクレイパー	頁岩	6.2	7.6	1.9	45.5	
66－78	53－2	LT50	Ⅰ	スクレイパー	頁岩	6.3	5.4	2.2	45.3	
66－79	53－2	LS60	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	6.1	4.6	2.0	51.6	
66－80	53－2	MA38	Ⅰ	スクレイパー	頁岩	4.9	5.5	1.4	27.3	
66－81	53－2	LS61	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	7.7	4.5	1.4	28.3	
66－82	53－2	LT59	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	4.5	2.7	1.0	11.0	
66－83	54－1	LS52	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	2.9	6.2	0.7	11.7	
66－84	54－1	LR51	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	5.0	7.2	1.6	32.9	
66－85	54－1	LS52	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	6.4	7.7	2.1	58.7	
66－86	54－1	LR51	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	3.9	4.8	1.1	12.9	
66－87	54－1	MA53	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	4.7	4.7	1.0	20.1	
67－88	54－1	MA43	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	4.0	5.8	1.0	19.0	
67－89	54－1	MA54	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	4.4	6.1	1.1	14.5	
67－90	54－1	LT46	Ⅳ	スクレイパー	頁岩	5.9	3.8	0.7	12.1	
67－91	54－1	LT52	Ⅰ	スクレイパー	頁岩	3.8	4.1	1.1	11.8	
67－92	54－1	LT37	Ⅰ	スクレイパー	頁岩	7.6	4.9	1.9	63.2	
67－93	54－2	MA52	Ⅳ	磨製石斧	緑色凝灰岩	12.1	(3.9)	2.4	(200.4)	使用痕有り
67－94	54－2	MA44	Ⅰ	磨製石斧	砂岩	11.0	4.5	2.8	196.1	
67－95	54－2	LT58	Ⅳ	磨製石斧	緑色凝灰岩	(8.8)	4.0	2.3	(164.8)	使用痕有り
67－96	54－2	MA51	Ⅳ	磨製石斧	花崗閃緑岩	(10.2)	4.8	2.8	(255.1)	基部欠損
67－97	54－2	LT42	Ⅳ	磨製石斧	花崗閃緑岩	(7.7)	(4.0)	2.8	(140.5)	基部欠損
67－98	54－2	LT62	Ⅳ	磨製石斧	凝灰岩	(4.3)	(3.2)	(2.5)	(45.5)	刃部欠損
67－99	54－2	MA53	Ⅳ	打製石斧	頁岩	10.5	5.8	3.0	147.8	

第23表　石器観察表(4)

欠損の場合は大きさに（　）を付した

挿図番号	図版番号	出土地点	層位	器種	石質	大きさ(cm) 長	幅	厚	重量(g)	備考
67-100	54－2	LT52	Ⅳ	半円状扁平打製石器	凝灰岩	(7.1)	13.1	1.9	(209.1)	
68-101	55－1	LS60	Ⅳ	打欠石錘	凝灰岩	11.0	8.9	2.0	197.3	
68-102	55－1	LT48	Ⅳ	石製品	泥岩	5.2	(3.8)	2.1	(24.0)	
68-103	55－1	LT52	Ⅳ	打欠石錘	泥岩	(3.9)	4.0	0.9	(13.3)	
68-104	55－1	LS62	Ⅳ	円盤状石製品	凝灰岩	6.0	6.0	1.2	(58.4)	
68-105	55－1	LS56	Ⅳ	円盤状石製品	泥岩	(3.4)	3.3	0.7	(7.7)	側面研磨
68-106	55－1	LT52	Ⅰ	円盤状石製品	泥岩	3.8	3.2	0.6	6.9	側面研磨
68-107	55－1	LR51	Ⅳ	円盤状石製品	砂質凝灰岩	3.7	3.5	0.9	12.7	
68-108	55－1	LT50	Ⅳ	円盤状石製品	砂質凝灰岩	4.4	3.9	0.7	(12.5)	
68-109	55－1	MA50	Ⅳ	円盤状石製品	砂質凝灰岩	(5.5)	5.4	1.1	(30.3)	
68-110	55－1	LS60	Ⅳ	円盤状石製品	凝灰岩	4.4	4.1	1.2	23.2	
68-111	55－1	範確		円盤状石製品	凝灰岩	(3.2)	(5.2)	(0.9)	(15.5)	
68-112	55－2	LS48	Ⅳ	凹石	凝灰岩	11.7	8.2	5.4	758.9	両面磨石
68-113	55－2	LS48	Ⅳ	凹石	凝灰岩	10.6	5.6	3.8	309.4	両面磨石
68-114	55－2	LT50	Ⅳ	凹石	凝灰岩	10.5	8.1	6.0	570.3	片面磨石
68-115	55－2	LT62	Ⅳ	凹石	安山岩	10.8	9.7	6.1	755.0	片面磨石
69-116	55－2	LS57	Ⅳ	凹石	凝灰岩	12.9	(8.2)	5.4	648.3	両面
69-117	55－2	MA44	Ⅰ	凹石	石英安山岩	14.4	7.4	4.0	453.0	両面
69-118	56－1	LS38	Ⅳ	凹石	石英安山岩	(13.0)	7.1	4.0	(422.2)	両面
69-119	56－1	LT52	Ⅳ	凹石	凝灰岩	12.5	6.1	4.0	(344.9)	両面
69-120	56－1	表採		凹石	凝灰岩	11.2	6.6	4.3	(283.8)	両面
69-121	56－1	LT41	－	凹石	石英安山岩	(7.0)	(6.3)	(4.8)	(238.7)	両面
69-122	56－1	LT37	Ⅰ	凹石	凝灰岩	(9.3)	(5.7)	(3.5)	(259.0)	両面
69-123	56－1	MA39	Ⅰ	凹石	凝灰岩	(6.3)	(4.7)	(3.4)	(144.0)	両面
69-124	56－1	LS57	Ⅳ	凹石	石英安山岩	(9.7)	9.1	(3.5)	(324.3)	
70-125	56－2	MA43	Ⅳ	磨石	砂岩	(12.5)	6.9	4.0	(590.4)	両面
70-126	56－2	LS40	Ⅳ	磨石	凝灰岩	11.9	8.8	5.7	(806.9)	両面
70-127	56－2	LS43	Ⅰ	磨石	砂岩	9.9	8.1	4.3	356.3	両面
70-128	56－2	MA60	Ⅳ	磨石	緑色凝灰岩	10.6	9.1	6.1	855.1	両面
70-129	56－2	MB55	Ⅳ	磨石	砂岩	6.4	6.1	3.2	161.6	両面
70-130	56－2	LT62	Ⅳ	磨石	緑色凝灰岩	11.7	9.0	6.5	1059.8	片面
70-131	56－2	LT59	Ⅳ	磨石	凝灰岩	8.3	6.6	5.3	(259.3)	片面
70-132		MA54	Ⅳ	石皿	凝灰岩	(27.6)	(17.4)	(5.0)	3280.0	両面

第５章　自然科学的分析

第１節　熱残留磁気測定

古地磁気学的手法を用いた諏訪台Ｃ遺跡の残留磁化方向

秋田大学鉱山学部助教授　西谷　忠師

１．はじめに

火山から流出する溶岩が冷えて固まるとき、岩石には地球磁場が取り込まれ残留磁化として残る。岩石内に記録された磁化方向は地球磁場と同じ方向を向く。言い替えれば、残留磁化は岩石が冷えて固まるときの地球磁場の「化石」である。従って、残留磁化を測定することによって岩石生成当時の地球磁場（地磁気）が推定可能である。溶岩と同じように、土壌や堆積層に熱が加わった場合にも外部の地磁気を獲得する。どの程度加熱すれば磁場が保存されるかどうかの目安は磁性鉱物による。普通の場合には、磁鉄鉱、チタン磁鉄鉱が磁性鉱物であるため、400～600℃までの加熱で地磁気を獲得すると考えてよい。炉や窯、製鉄炉跡では加熱、冷却が繰り返されているため当時の地球磁場を記録していると考えてよい。

西南日本地域では岩石や堆積岩に記録されている残留磁化と年代の対応関係が詳しく調べられており、残留磁化方向を測定するだけで年代の推定が可能となっている（広岡,1971,1977)。残念ながら、この古地磁気による年代の推定は地域的に西南日本に限られること、紀元前の時代の推定は出来ないことが欠点として上げられる。本調査の目的は、東北地方で適用可能な古地磁気方位を決定すること､紀元前の時代にまで延長可能な方位データを収集することである。

２．試料

試料採集に必要な器具は方向付けをするオリエンテーター、走行を測るクリノメーター、傾斜を正確に測るブロントンコンパス、そして試料容器などである。試料容器は試料を保存する容器で2.5cmの立方体状の形でポリカーボネイト製である。

試料は地床炉、石囲炉、土器埋設炉、焼土、カマドから採集した。第71図は遺構配置図の略図で試料を採集した部分のみ示してある。採集した試料は、ＳＩ-61-01(石囲炉)から６個、ＳＩ-61-02(土器埋設炉)から３個、ＳＺ-75(石囲炉)から５個、ＳＩ-60-01(焼土)から６個、ＳＩ-60-02(土器埋設炉)から５個、ＳＺ-48(石囲炉)から６個、ＳＩ-76(地床炉)から５個、ＳＩ-34

(石囲炉)から５個、ＳＩ-18(カマド)から６個、ＳＩ-28(地床炉)から５個、合計52個である。

３．測定

自然残留磁化（ＮＲＭ）の測定

自然残留磁化は試料が保持している残留磁化のことで、今の場合、キュリー点以上に熱せられて冷却したときに獲得した熱残留磁化が主成分であると考えてもよいであろう。なお、磁化測定はスピナー磁力計（PRINCETON APPLIED RESEARCH社製、SM-2）により行った。なお、磁力計では一回の測定で３成分（Ｘ、Ｙ、Ｚ）のうち２成分しか得ることができないため、試料を６回方向を変えて測定し、それぞれの成分の４回の値を平均してＸ、Ｙ、Ｚの測定値とする。上記の方法をサンプルの数だけ繰り返す。

交流消磁

試料が保存している残留磁化は、長い年月にわたって最初の磁場とは異なった磁場にさらされており、二次的な磁化成分が加わっている可能性がある。二次的な磁化成分を消去する手法に交流消磁と熱消磁がある。本調査では交流消磁を用いた。交流消磁は、静磁場がほとんど無い場所で、ある強度の交流磁場を作用させ、その振幅を０に漸減し、磁化強度、方向の変化を測定する。そして、交流磁場を次第に強くして同様の測定を繰り返す方法である。この手続きにより、不安定な磁化成分は消去され、正しい磁化方向が得られることとなる。第72・73図に一例を示す。第72図には残留磁化強度の減少の程度を横軸を交流磁場にしてプロットしてある。磁化方向の変化が第73図である。ＮＲＭと書いてある所が自然残留磁化を測定したときの偏角、伏角の位置、200、80などは消磁磁場の強度で単位はエルステッド（Oe）である。この図からわかるように、ＮＲＭだけでは正しい磁化方向が得られず、消磁操作は必須であることが明らかである。本調査では全ての試料に交流消磁を施した。

４．データ処理

測定した磁化方向は採集時の誤差、採集場所の攪乱などでバラついているのが普通である。このバラついたデータから平均の磁化方向を求めるためにフィッシャー統計を用いた(Fisher、1953)。この統計は、データが球面正規分布に従うと仮定して処理を行う方法である。

測定点のばらつきを定量的に示すため、ふつう精密度パラメーターｋ（precisionparameter）を用いる。ｋの値が大きいほど測定値のばらつきが少ないことを示している。更に、ばらつきを厳密に表現するため、測定点の95％が含まれるような円錐の頂角をα_{95}と書き、これを用いる。α_{95}は小さい方が信頼度が高い。

5．結果

得られた結果を第24表にまとめた。採集した試料のうち小石が入っていたり、明らかに変形したものなどは省略して処理を行った。得られた結果を図示すると第74図となる。図には参考のために紀元0年からの広岡（1977）の磁化移動曲線を示した。

この結果から残念ながら年代を推定することは出来ない。更に多くの試料の測定結果が集まり、東北地方における年代と磁化方位の関係が明らかになったとき、年代の議論が可能となるであろう。諏訪台C遺跡の結果は将来のための基礎データとして十二分に価値のあるものである。

文　献

Fisher, R.（1953）：Dispersion on a sphere, Proc. Roy. Soc. A. 217. 295-305.

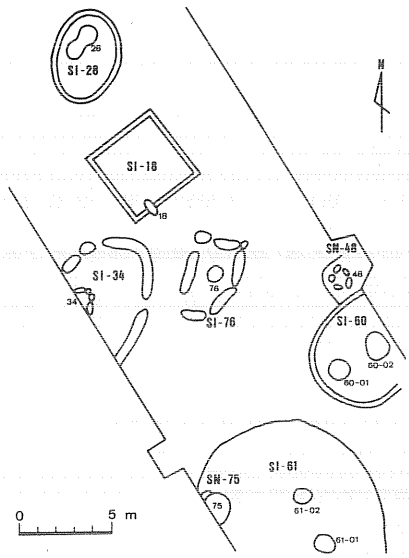
広岡公夫（1977）：考古地磁気学および第四紀磁気研究の最近の動向，第四紀研究，15．200-203.

Hirooka, K.（1971）：Archaeomagnetic study for the past 2,000 years in southwest Japan, Mem. Foc. Sci., Kyoto Univ., Ser. Geo l., Mineral., 38. 167-207.

第24表　諏訪台C遺跡古地磁気測定結果

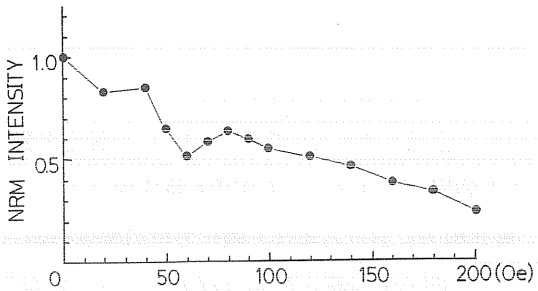
SAMPLE	N	ODF(Oe)	Dec	Inc	k	α_{95}	時　代
SI-61-01	6	60	—	—	—	—	弥生初頭
SI-61-02	3	80	—	—	—	—	弥生初頭
SZ-75	4	50	32.94	21.96	10.63	29.55	縄文後期
SI-60-01	4	80	−6.60	35.93	117.97	8.49	弥生初頭
SI-60-02	4	50	−15.87	32.24	10.06	30.48	弥生初頭
SZ-48	5	60	40.06	54.53	112.90	7.23	縄文後期
SI-76	4	60	16.03	31.67	11.57	28.22	縄文後・晩期
SI-34	3	80	−6.74	52.87	51.41	17.37	弥生初頭
SI-18	2	50	13.24	43.24	257.25	15.64	平安10世紀以降
SI-28	3	40	17.85	46.83	8.64	44.91	弥生初頭

Note：N：サンプル数、ODF：磁化のまとまる交流磁場、
Dec：偏角（度）、Inc：伏角（度）、k：精密度パラメーター、
α_{95}：95%信頼区間。



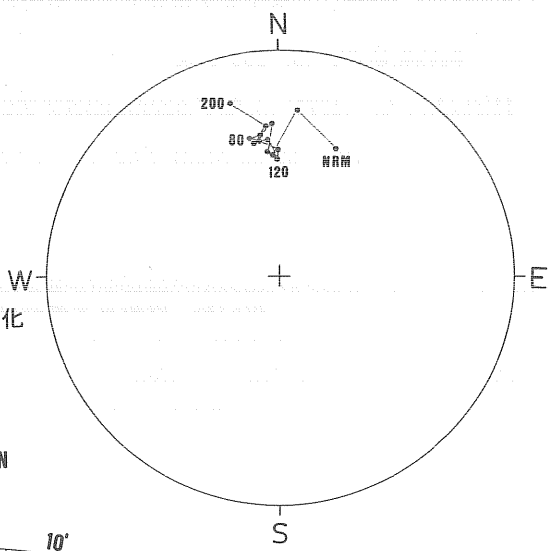
第71図　諏訪台Ｃ遺跡遺構配置略図

図に示してある所から試料を採集した。



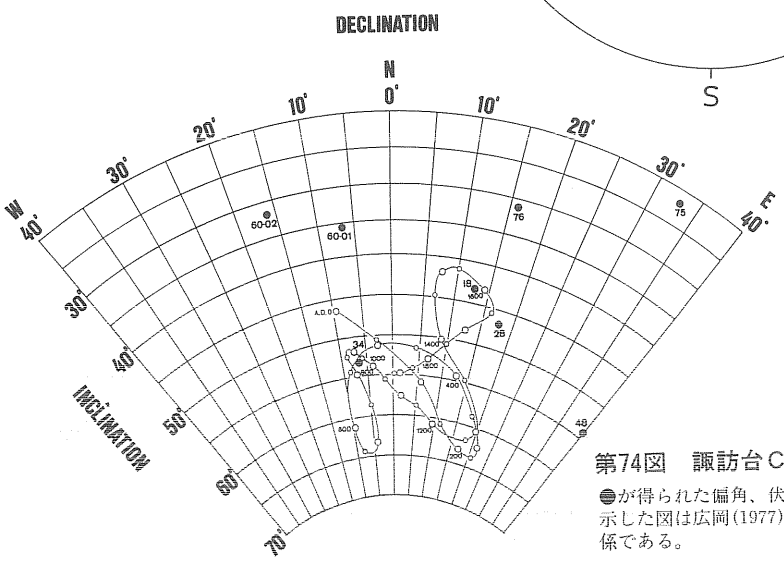
第72図　交流消磁による残留磁化強度の変化

試料はＳＩ－60－01である。横軸は交流磁場で単位はエルステッド(Oe)、縦軸は残留磁化強度である。自然残留磁化(NRM)強度を１としてある。



第73図　交流消磁による磁化方位の変化

試料はＳＩ－60－01である。交流消磁によって二次的磁化成分を取り除くことが可能である。



第74図　諏訪台Ｃ遺跡の測定結果

●が得られた偏角、伏角である。○と実線で示した図は広岡(1977)による年代と方位の関係である。

第2節　^{14}C年代測定

測定した試料は、諏訪台C遺跡の竪穴住居跡SI60・61の床面直上から採取した2点の土壌である（№1～№2）。SI60・61は調査区の中央部で検出され、ほぼ同時期に焼失した住居と考えられる。床面の全域に広がりをもつため、住居構築時の材料が多量に含まれていると考えられ、試料とともに東北北部弥生時代初頭の土器が出土している。

学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書

1989年9月22日受領致しました試料についての年代測定の結果を下記の通り御報告致します。

なお、年代値の算出には^{14}Cの半減期としてLIBBYの半減期5570年を使用しています。また付記した誤差はβ線の計数値の標準偏差σにもとずいて算出した年数で、標準偏差（ONE SIGMA）に相当する年代です。また試料のβ線計数率と自然計数率の差が2σ以下のときは、3σに相当する年代を下限の年代値（B.P.）として表示してあります。また試料のβ線計数率と現在の標準炭素（MODERN STANDARD CARBON）についての計数率との差が2σ以下のときには、Modernと表示し、δ^{14}C‰を付記してあります。

記

Code No.	試　　料	年代（1950年よりの年数）
GaK－14553.	Charcoal from　諏訪台C遺跡 No. 1　SI-60	2570±80 620　B.C.
GaK－14554.	Charcoal from　諏訪台C遺跡 No. 2　SI-61	2240±70 290　B.C.

以上

木越　邦彦

第３節　火山灰分析

１．分析の目的

本分析は、秋田県大館市大茂内字諏訪台に位置する諏訪台Ｃ遺跡における発掘調査の際、テフラの可能性があるとして採取された試料について、その起源をさぐるものである。分析試料は、ＳＩ18住居址床面付近およびＳＩ32住居址覆土中から採取された２点である。本分析では、まず重鉱物組成および軽鉱物組成を明らかにし（鉱物分析）、つぎに特徴的に含まれる鉱物について屈折率の測定を行った。

２．分析の方法

分析は次の手順で行った。

１）試料は50ｇ秤量する。

２）超音波洗浄と分析篩（1／16㎜）により泥分を除去する。

３）80°ＣＣで恒温乾燥する。

４）テトラブロモエタン（比重2.96）により比重分離する。

５）偏光顕微鏡下で重鉱物、軽鉱物各々について250粒ずつを検鏡し、重鉱物組成および軽鉱物組成を求める。

６）特徴的に含まれる鉱物（ＳＩ18床面については斜方輝石、ＳＩ32覆土については火山ガラス）について新井（1972）の方法にしたがって屈折率を測定する。

３．分析結果

３－１　ＳＩ18住居址床面

本試料は、暗灰黄色のシルト質砂である。最大径12㎜の円磨された白色軽石が含まれる。重鉱物組成は斜方輝石＞不透明鉱物（おもに磁鉄鉱）＞単斜輝石＞角閃石で、軽鉱物組成では不明鉱物が非常に多く認められる（第75図、第25表）。これは、水流によって運搬されてきた粒子が多いことに由来していると考えられる。わずかに含まれる火山ガラスには、繊維束状やスポンジ状に発泡した軽石型のほか、平板状のいわゆるバブル型、そして分厚い中間型などが認められる。多くのガラスは、無色透明である。分厚い中間型のガラスには、褐色がかった色調を示すものが含まれている。重鉱物のうち、最も多く含まれる斜方輝石を対象として屈折率（γ）の測定を行った。得られた値は、1.704-1.708であった。

本試料には、一般にテフラの指標となる火山ガラスの量が少ない。また含まれる粒子には、水流によって運搬されてきたと考えられる軽石や鉱物粒子が多く含まれている。このことから、

本試料は一次堆積のテフラとは考えにくい。さらに斜方輝石の屈折率の値も十和田火山起源の多くのテフラの値と一致しており、また屈折率の点からも特徴的なテフラが含まれている可能性が小さいと考えられる。本試料は、水流によって二次的に運搬され、堆積したものが大部分を占めると考えられる。

３－２　ＳＩ32住居址覆土

本試料は、黒褐色土壌である。黄褐色のシルト塊が含まれる。本試料の重鉱物組成は不透明鉱物（おもに磁鉄鉱）＝斜方輝石＞単斜輝石＞角閃石ありで、軽鉱物組成では長石のほか比較的多くの火山ガラスが含まれている（第75図、第25表)。火山ガラスの形態としては、薄いバブル型のほか繊維束状に発泡した軽石型のものが多くふくまれている。このほか、分厚い中間型やスポンジ状に発泡した軽石型のガラスが少量認められる。火山ガラスについて屈折率（ｎ）の測定を行ったところ、1.512-517の値が得られた。

バブル型や繊維束状に発泡したガラスが多く認められること、またその屈折率の値から、本試料に含まれる火山ガラスは11～12世紀に朝鮮半島北部の白頭山火山から噴出し、日本海北部から北日本一帯に降下堆積した白頭山－苫小牧火山灰（B-Tm, 町田ほか, 1981）に由来する可能性が大きい。したがってＳＩ32住居址の構築年代は、11～12世紀以前と考えられる。なお、混入物と考えられる粒子も多く認められた。これは、試料採取時に黒ボク土が混入したためと考えられる。

４．まとめ

分析の結果、ＳＩ32住居址覆土から採取された試料は、11～12世紀に白頭山火山より噴出したB-Tmに対比される可能性が大きい。一方、ＳＩ18住居址床面から採取された試料はテフラの純層ではなく、２次堆積物と考えられる。

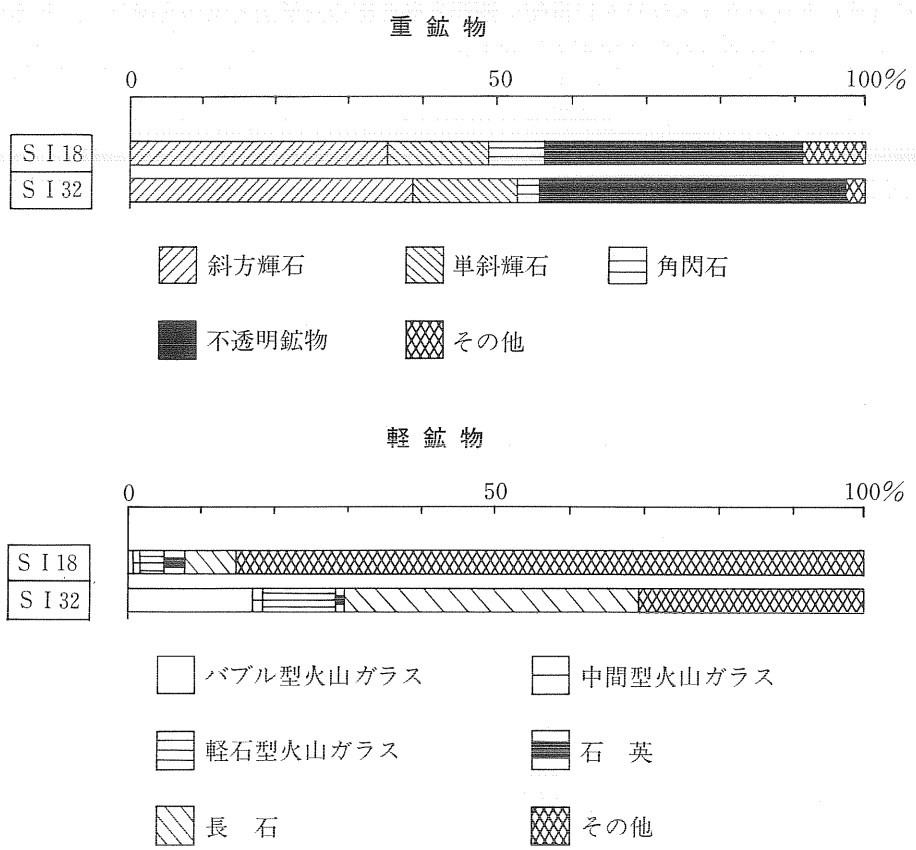
文　献

新井房夫（1972）斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定－テフロクロノロジーの基礎的研究－．第四紀研究，11，p. 254-269.

町田　洋・新井房夫・森脇　広（1981）日本海を渡ってきたテフラ．科学，51，p. 562-569.

第25表　諏訪台Ｃ遺跡鉱物組成

試料番号	重鉱物組成					同定鉱物粒数	軽鉱物組成						同定鉱物粒数
	斜方輝石	単斜輝石	角閃石	不透明鉱物	その他		バブル型火山ガラス	中間型火山ガラス	軽石型火山ガラス	石英	長石	その他	
ＳＩ18	88	34	19	87	22	250	2	2	8	7	17	214	250
ＳＩ32	97	35	7	104	7	250	42	3	25	3	100	77	250



第75図　諏訪台Ｃ遺跡鉱物組成ダイアグラム

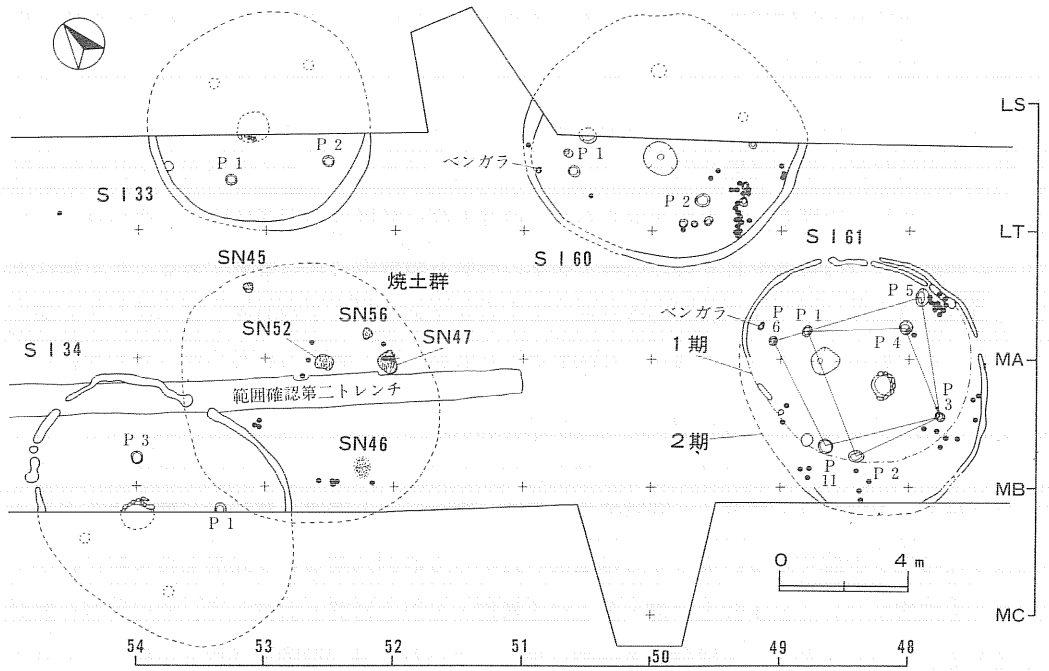
ま と め

1．検出遺構について

今回の発掘調査の結果、79基の遺構を検出した。その内訳は竪穴住居跡９軒、建物跡１棟、炉跡９基、焼土遺構12基、土器埋設遺構１基、集石３基、フラスコ状土坑３基、土坑40基、不明遺構１基である。個々の遺構については第４章で記述しているため、ここでは遺構の帰属年代を中心に若干の所見を述べることにする。

縄文時代の遺構　該期の遺構として竪穴住居跡２軒、炉跡９基、焼土遺構７基、土器埋設遺構１基、フラスコ状土坑３基、土坑40基を検出した。竪穴住居跡１軒、炉跡４基、焼土遺構４基、フラスコ状土坑１基、土坑17基は出土遺物がなく該期として捉えるには若干問題が残ると思われるが、検出状況及び周辺での遺物出土状況を考慮し、該期と判断した。調査区全域でのⅣ層中に占めるⅠ～Ⅲ群土器の割合はⅡ群土器が圧倒的に高く、また、遺構の集中する区域で顕著な傾向を示す。Ⅰ群・Ⅲ群土器は出土量が少なく、点在的出土を呈するものの、調査区北西側に集中し、Ⅱ群土器と重複する傾向を示す。この点に留意し、出土遺物のある遺構については、遺物を優先させて帰属年代を想定した場合、ＳＫ40は前期、ＳＫ23・29は晩期初頭から中葉、その他は後期前葉に比定できる。しかし、ＳＫ40を中心とする調査区北西側では、特にⅠ・Ⅱ群土器が錯綜しているため前期に伴う遺構が混在していた可能性が高い。また、ＳＩ76の埋土からⅡ群土器と共にⅢ群土器１点が出土し、周辺からはⅢ～Ⅳ群土器が多数出土している。Ⅲ群土器は相対的に少ないものの調査区全体ではこの地点に集中する傾向が窺える。後期前葉に比定されるＳＩ68とは著しく形態が異なる点を考慮すれば、本遺構は晩期初頭まで降る年代を与え得る。ＳＢ37は出土遺物がないが、後期前葉に比定されるＳＫ63より古く、周辺からⅠ・Ⅱ群土器が出しているため、前期・後期前葉のいずれかに帰属すると考えられる。また、ＳＮ77（焼土遺構）がＳＢ37の炉跡とするならば、住居跡の可能性があり、県内では西仙北町上野台遺跡[註1]（後期前葉）、大曲市太田遺跡[註2]（中期末葉）などに類例を求められる。炉跡９基は形態から石囲炉・「コ」の字状の石組炉・土器埋設炉の３種類に大別できる。構築・形成上に差異は認められるが、検出状況・出土遺物については類似点が多く、本遺跡におけ後期前葉の屋外炉形態とし捉えられる。「コ」の字状の石組炉は類例が少なく、県内では鹿角市歌内Ⅲ遺跡[註3]（後期前葉）の住居跡及び屋外炉に若干求められる。土坑40基のうち機能・性格を想定できるのはＳＫ29・79の２基で、他は不明と言わざるを得ない。ＳＫ29・79は埋土・出土遺物・ベンガラから土壙墓と考えられ、前者は晩期中葉、後者は後期前葉に比定される。

弥生時代の遺構（第76図）　ここでは竪穴住居跡を中心に所見を述べることにする。焼土遺構については、すでに第４章で住居跡の可能性があることを指摘した（以下、焼土群と仮称する)。これを含めると竪穴住居跡は６軒検出されたことになる。６軒の竪穴住居跡は形態・検出状況・出土遺物から三期に大別でき、それはⅠ期ＳＩ61（１期)、Ⅱ期ＳＩ60・61（２期）・焼土群、Ⅲ期ＳＩ28・33・34である。Ⅰ期はＳＩ61（１期）で、東部壁際から出土した一括土器を中心に、古い様相を呈する土器群が伴うと考えられる。この土器群は出土状況から明らかにⅡ期まで継続し、Ⅱ期の新しい土器群と共伴・補完関係にあったと判断される。また、一括土器の出土状況には、ＳＩ61（２期）焼失時に遺存していたものか、あるいは焼失後に送葬儀礼的意図から意識的に安置したものか、という問題点がある。しかし、Ⅰ・Ⅱ期ＳＩ61と何らかの有機的関連性を強く示唆するものと考えられ、今後の資料の増加を待って検討されるべき課題として捉えておく。Ⅱ期は焼土群を含めた焼失家屋３軒で、同一時期に焼失したと想定される。以下、３軒の類似点を例記するならば、①焼土群の形態は不明であるが、Ⅰ期の形態を踏襲し、規模は20～40％拡張される、②ＳＩ61のＰ１・２間距離4.2mはＳＩ60のＰ１・４間と一致する、③住居内での位置は異なるが、土器埋設炉の構造が類似する、④遺物の出土状況は主柱穴から壁際までの、特に南東側から南西側に集中する、⑤ＳＩ60・61で検出したベンガラは、Ｐ１・２間を軸とする方向からは同一直線上に並ぶ、⑥焼土群の中でＳＮ46の攪乱土から出土した石皿２点にベンガラが付着している、⑦床面から土器と共に炭化栗が出土している、等が上げられる。一方、住居構造・出土土器に関し、細部にわたる比較検討を行なえば問題点が多いことも事実である。例えば柱穴の深さ・炉の在り方・ＳＩ60の柱穴－壁溝の充実性・ＳＩ60－61間距離1.4m、ＳＩ61の新しい土器群と他の２軒の土器群との相違点等を上げられる。先に、３軒同時焼失を想定したが、個々に内包する問題点から少なくともＳＩ61（２期）に他の２軒より先行する時間差を設定する考え方もある。しかし、おおくの共通項、特に焼失時の遺物出土状況には強い斉一性があると判断されるため、ここでは同時焼失の可能性があると考えられる。Ⅲ期は平面形・壁溝・柱穴・炉の形態に著しい差異が認められる３軒である。Ⅵ層（地山）を掘り込む住居の構築は、Ⅱ期には見られない規範性が窺われ、ＳＩ33のＰ１・２間距離3.1mはＳＩ34のＰ１・３間と一致する。また、出土遺物は少量であるが、現時点では同時期の土器様相を呈すると考えられる。しかし、ＳＩ28の在り方・ＳＩ33の土器埋設遺構等の遺構間に見られる相違点が、機能・性格を異にする遺構として捉えられるか、時間差として捉えられるかは、今後の資料の増加を待って検討されるべき課題である。以上、Ⅰ～Ⅲ期は東北北部弥生時代初頭の砂沢期（Ⅰ・Ⅱ期)、二枚橋期（Ⅲ期）にそれぞれ比定されるが、特に、Ⅰ・Ⅱ期の遺構・遺物の在り方は、時代の転換期を感じつつあった一集落内で、多くの選択肢から自らの方向性を模索していた状況を如実に表した実態と言えよう。



第76図　弥生時代の竪穴住居跡配置図

平安時代の遺構　該期の遺構は竪穴住居跡２軒、不明遺構１基を検出した。ＳＸ51は人為的痕跡を留めない倒木痕と判断される。ＳＩ18・32は形態・規模・主軸をほぼ同一にするが、後者はカマドがなく、壁溝も一部に限られているため住居とは別の機能を持つと思われる。２軒から検出された火山灰の分析結果に基づけば、両遺構とも十和田ａ火山灰の降下後、住居が構築され、白頭山火山灰が堆積する以前に廃棄されたと考えられる。また、ＳＩ18で検出した火山灰は、白頭山火山灰ではなかったため、両遺構の廃棄時期に若干の時間差を想定できる。近年、県北部の発掘調査で白頭山火山灰を検出した報告例(註４)が増えている。十和田ａ火山灰の年代が10世紀前半と推定されつつあり、白頭山火山灰の年代が分析結果の11～12世紀とするならば、本遺構の帰属年代はこの間に比定され、平安時代中頃以降と思われる。

２．Ⅳ群土器について

諏訪台Ｃ遺跡からは６軒（１軒は住居跡と考えられるＳＮ焼土群）の住居跡が検出され、そのうち、ＳＩ33・34を除く４軒は焼失家屋である。焼失家屋のうちＳＩ28を除くＳＩ60・61・ＳＮ焼土群からは多量の土器が出土した。これらの住居跡出土土器は所謂砂沢式(註５)（以下、謂所を省略して記す）を含んでおり、相前後する時期と考えられる。本県におけるこれら６軒の時期の遺跡には、秋田市地蔵田Ｂ遺跡(註６)のまとまった資料以外には発散的な状況にあり、増田町平鹿遺跡(註７)、能代市寒川Ⅰ遺跡(註８)、波状の高坏や無紋帯をもつ鉢を出土した大館市鳴滝遺跡などがあげられる。以下では住居跡出土遺物を中心にして、その土器内容について述べていく。

はじめに砂沢式の後続時期と考えられるＳＩ28・33・34について述べる。これらからは、ＳＩ28のＥ２類・Ｆ７類、ＳＩ33のＢ５類、ＳＩ34のＢ４類や口縁部破片などが出土した。Ｅ２類にはその形態と縦刻線、連弧状の文様、体部の縦位縄文などがあり二枚橋式に類似する。Ｂ５類は頸部屈曲部に平行沈線で区画した刻みをもつ違いはあるが、そこに縄文と平行沈線を有すること、また、口唇直下に平行沈線をもち口縁部の高い特徴は井沢式(註9)に近いと思われる。ＳＩ34の刻みをもつ口縁部やＢ４類の口縁・頸部の形態も当刻期に近い要素である。Ｆ７類は生石２遺跡(註10)の壺に比べて口縁部の内傾度が低く後出形態である。ＳＩ33の壺は肩が張りＦ６類と形態的には類似するが他の出土遺物から砂沢式よりも新しいと考えられる。以上よりこれら３軒の土器は広義の二枚橋式併行期として捉えることができる。

次にＳＩ60・ＳＩ61・ＳＮ焼土群の土器について述べていく。これらの住居跡は前述したように３軒とも火災に合っており、同時焼失の是否は別としても遺構の諸特徴が類似する点から近接した時期が予想できる。このことは遺物の方からも砂沢式期という見解を得ており、以下これらの内容についてＳＩ60土器群・ＳＩ61土器群・ＳＮ土器群と仮称して、その内容を検討してみる。ただし、ＳＩ61土器群は東壁際に集中していた土器（壁際土器群と仮称）とそれ以外のＳＩ61土器群（床面土器群と仮称）に分けられ、壁際土器群は後述するためここでは除く。これら３住居跡が砂沢式期である根拠の１つには浅鉢の存在がある。ＳＩ60土器群ではＤ２類が、ＳＮ土器群にはＤ７類土器が出土し、ＳＩ61床面土器群からは当住居跡に帰属すると判断される浅鉢(註11)（193）が出土している。特に前者では二段の変形工字文、大きな貼瘤、太くて丸い沈線と時間的な結びつきが強く、後者では一段の変形工字文の可能性が大きい。２つには、波状もしくは山形状の突起をもち頸部が「く」の字を呈する甕の存在がある。ＳＩ60土器群ではＢ３類、ＳＩ61床面土器群からはＢ２ａ類、ＳＮ土器群ではＢ２ｂ類の土器が出土している。３つには、平行沈線で区画された無文帯の存在がある。ＳＩ60土器群ではＤ２類・Ｃ10類、ＳＩ61床面土器群ではＣ９類・Ｇ２類、ＳＮ土器群ではＢ１ｂ類・Ｂ２ｂ類の土器が出土している。この様にＳＩ60・ＳＩ61・ＳＮの各土器群を上記３視点で対比してみた時、これら３群の中に一型式を越えるほどの相違を見い出すことができないのである。よって、これらは同一型式内の遺物群として把握でき、砂沢式併行期と考えられよう。また、これらの土器群は文様的には、①平行沈線を多用すること、②大きな瘤をもち変形工字文や工字文風のモチーフをもつこと、③沈線は丸くて太いことなどの傾向があり、形態的には④体部や胴部の上位に最大径をもち、口縁部が直立するという傾向にある。

次に砂沢式期よりも古い様相をもつと考えられるＳＩ61壁際土器群について、ＳＩ61床面土器群と比較して述べていきたい。壁際土器群は破片の識別も加えると13個体にのぼり、形態の分る９点の土器は底部を欠損している。これらはその出土状況や土器個有の在り方についての

特異性のみならず、胎土・焼成・色調が共通する極めて限定された時間帯における一括資料である。この胎土・焼成・色調の一致する土器は他にもあり、床面土器群の179とＳＩ61埋土出土の180がそれにあたる。さて、壁際土器群と床面土器群と比較すると前者には古手の要素が認められる。１つには、連続する小波状口縁を有する深鉢（165・166）や口縁部に微小な突起を有する破片（174～176）が存在する点である。２つには、分類基準にしたがえば浅鉢となる特異な鉢（172・173）の存在があげられる点である。172は沈線を重畳させており、埋土中の180もこの類である。この２点と同じ特色を有する土器は、大洞A′とされる青森県名川町剣吉荒町遺跡（第２地区）のII層からも出土している。173は口縁部に狭い文様帯をもち、その中に沈線よる楕円文を４単位配している。３つには明瞭な無文帯をもつ土器がない点である。以上の相違点の他に口縁部が直立し、かつ、その直下や胴部・体部の上位に最大径をもつという傾向が認められない特徴をもつ。この様な特色は縄文時代晩期末葉の大洞A′式に類似し、むしろ砂沢式の範中からは免脱していると見做すことができよう。

以上諏訪台Ｃ遺跡における住居跡出土土器は、土器の有する諸特徴によって大きく３つの土器群に分類が可能である。すなわち、Ｉ類土器群はＳＩ61壁際土器群と179・180の土器。II類土器群はＳＩ60土器群と179、180を除くＳＩ61床面土器群、それにＳＮ土器群とである。III類土器群はＳＩ28・33・34出土土器をまとめることができる。また、これらＩ～III類土器群の時間的推移はどうであろうか。II・III類土器群については砂沢式併行期、二枚橋式併行期として明瞭である。一方、Ｉ類土器群についてはその出土状況からも言えるように、ＳＩ壁際土器群は、これらが土器機能を有している時点では床面土器群と併行するかそれ以前の土器群として捉えることができる。以上より諏訪台Ｃ遺跡検出の住居跡から出土した土器群は、土器の型式学的観点からいえばＩ類土器群→II類土器群→III類土器群の変遷が考えられ、それぞれ諏訪台ＣＩ期・II期・III期の時期と捉えることができる。ＳＩ61の建て変え以前の住居跡はＩ期の土器群を中心に所有していた可能性が高く、また、ＳＩ61の新しい住居跡がＩ期の土器群を所有していた事実は、II期土器群の中でもＳＩ61床面土器群がやや古く位置することを暗示している。また、III期土器群は数量が少なく、将来的には分離される可能性が大きい。

最後に、大洞A′式と砂沢式について言及するならば、砂沢式は、その型式(註12)が設定されて以来その帰属時代をめぐって多くの意見が展開されている(註13)・(註14)。それはいまだ型式内容が充実していない現状で、縄文文化と弥生文化が混在している土器内容に一線を画そうとする根本姿勢によるものと思われる。近年砂沢遺跡における水田址の発見(註15)は砂沢式土器の帰属時代をめぐって大きな意義をもつが、型式内容の充実を計ることによってさらに高い評価を得ることになろう。大洞A′式と砂沢式に関わる諏訪台Ｃ遺跡Ｉ・II類土器群については、さらに、細かな土器内容の分析を行う必要がある。

註１　秋田県教育委員会　『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書Ⅲ』　秋田県文化財調査報告書第180集　1989（平成元年）

註２　秋田県埋蔵文化財センター　『昭和63年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会資料』　1989（平成元年）

註３　秋田県教育委員会　『東北縦貫自動車道発掘調査報告書Ⅵ』　秋田県文化財調査報告書第99集　1983（昭和58年）

註４　秋田県教育委員会　『上の山Ⅱ遺跡第２次発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第137集　1986（昭和61年）

秋田県教育委員会　『土井遺跡発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第111集　1984（昭和59年）

秋田県教育委員会　『西山農免農道整備事業に係る埋蔵文化財調査報告書Ⅴ－太田谷地館跡第２次調査－』　秋田県文化財調査報告書第183集　1989（平成元年）

秋田県教育委員会　『西山農免農道整備事業に係る埋蔵文化財調査報告書Ⅵ－高屋館跡－』　1980（平成２年）

秋田県教育委員会　『一般国道７号八竜能代道路建設事業係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ』　秋田県文化財調査報告書第178集　1789（平成元年）

註５　現状では砂沢遺跡出土土器のどの段階が砂沢式にあたるのか。また、どのような内容を指す土器群であるのかが不明瞭で、研究者間の認識に相違を生じている。ここでは、一応、村越潔氏が「砂沢遺跡の水田址」（『日本における稲作農耕の起源と展開』1988（昭和63年）の中で示された土器群を標識としてゆきたい。

註６　秋田市教育委員会　『秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書』　1986（昭和61年）

註７　秋田県教育委員会　『平鹿遺跡発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第101集　1983（昭和58年）

註８　秋田県教育委員会　『一般国道７号八竜能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ』　秋田県文化財調査報告書第167集　1988（昭和63年）

註９　青森県平賀町教育委員会　『井沢遺跡』　1976（昭和51年）

註10　山形県教育委員会　『生石２遺跡発掘調査報告書(3)』　山形県埋蔵文化財調査報告書第117集　1987（昭和62年）

註11　この土器は床から約15cm浮いているが、炭化物の層から出土したことや同住居跡床面出土の高坏と胎土・焼成・色調が類似するのでＳＩ61の土器と判断した。

註12　芹沢長介　『石器時代の日本』　築地書館　1960（昭和35年）

註13　工藤竹久　「東北北部における亀ヶ岡式土器の終末」『考古学雑誌』　第72巻第４号　日本考古学会　1987（昭和62年）

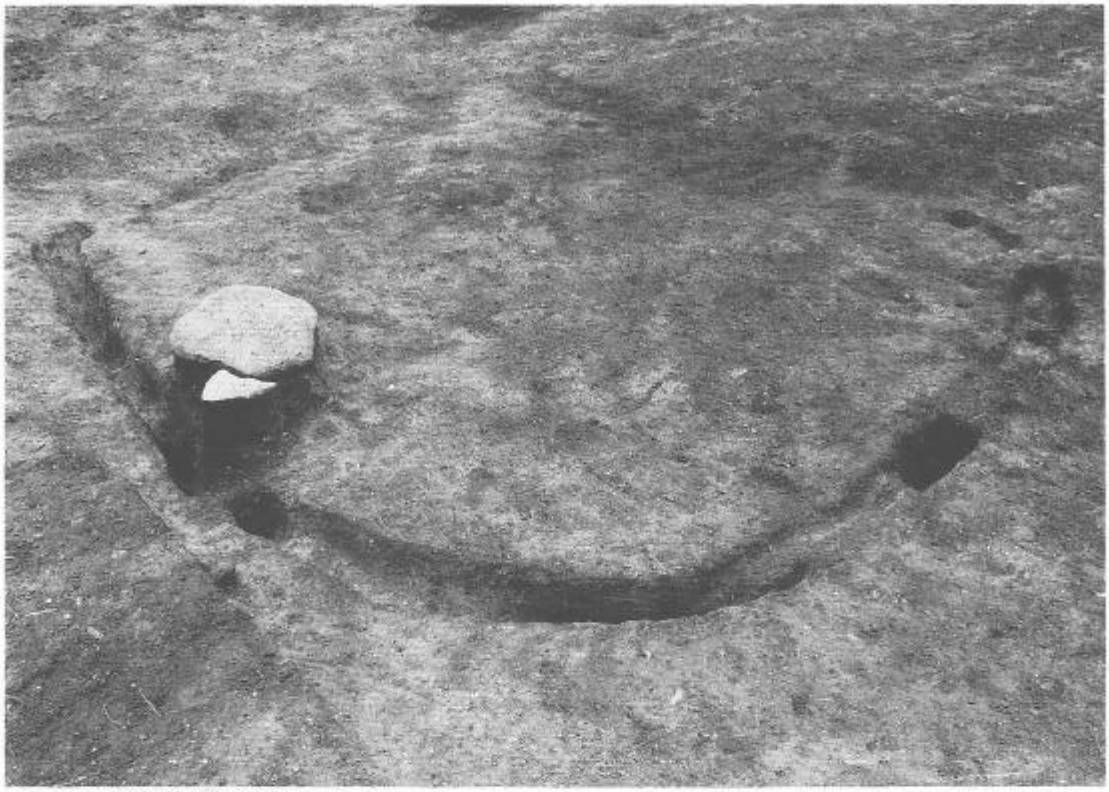
註14　須藤　隆　「１．東日本における弥生文化の成立と展開」『弥生文化の研究』　雄山閣　1987（昭和62年）

註15　村越　潔　「４．砂沢遺跡」『弥生文化の研究』　雄山閣　1988（昭和63年）

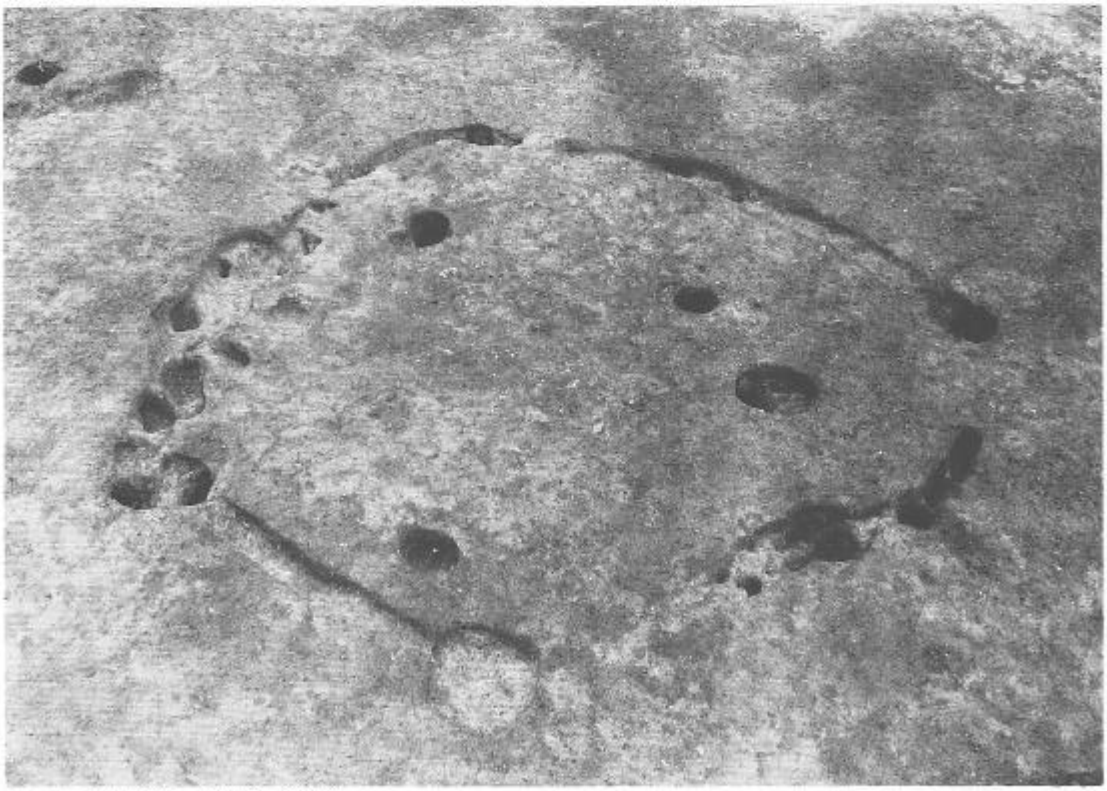
1　調査前近景（南東▷北西）

2　調査後近景（南東▷北西）

図版2



1　S I 68完掘（東▷西）



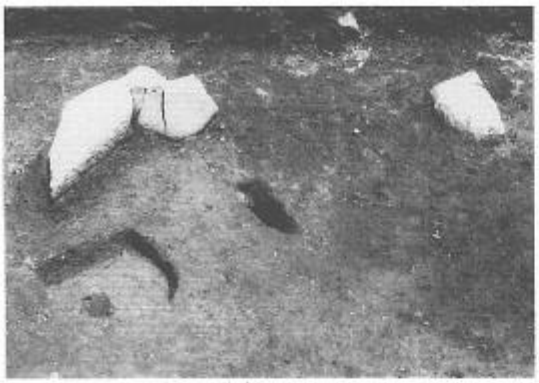
2　S I 76完掘（北西▷南東）

1　SB37完掘（東▷西）

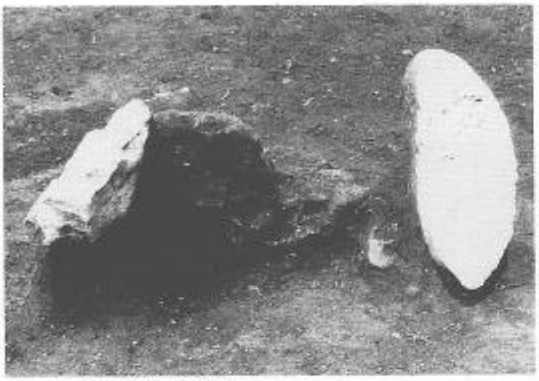
2　SB37・ピット５完掘（北東▷南西）

3　SB37・ピット３土層断面（北▷南）

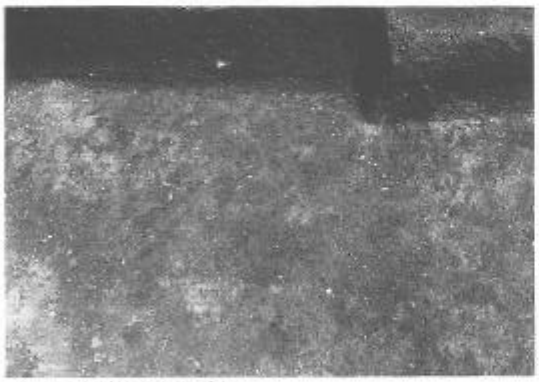
図版4



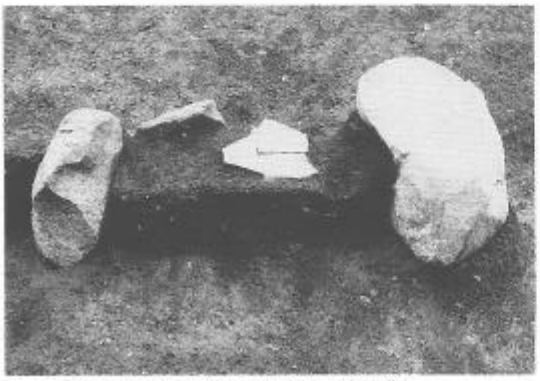
1　SZ02完掘（南西▷北東）



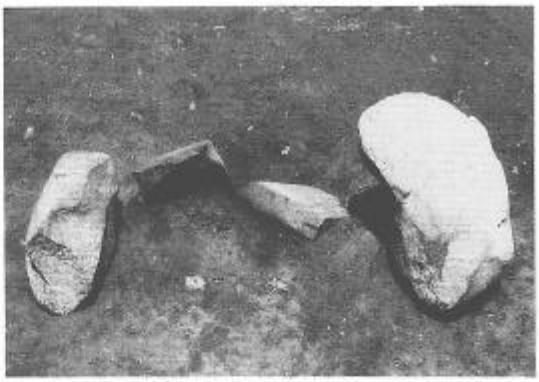
2　SZ03完掘（西▷東）



3　SN06確認（西▷東）



4　SZ19土層断面・遺物出土状況（南▷北）



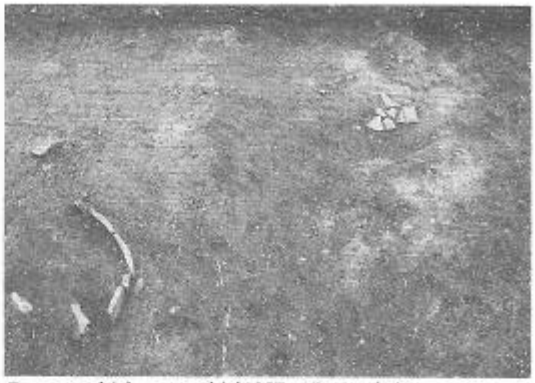
5　SZ19完掘（南▷北）

6　SN22土層断面（南▷北）

7　SZ27土層断面（南▷北）

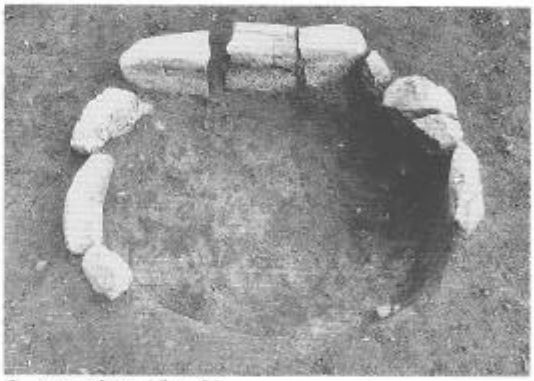
8　SZ41遺物出土状況・完掘（南西▷北東）　中央S 1

1　SZ48遺物出土状況（北東▷南西）　左13



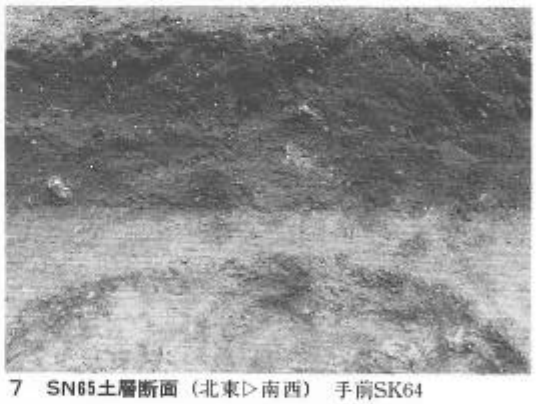
5　SN59(右)・SK58(左)確認（北西▷南東）

2　SZ48完掘（北西▷南東）

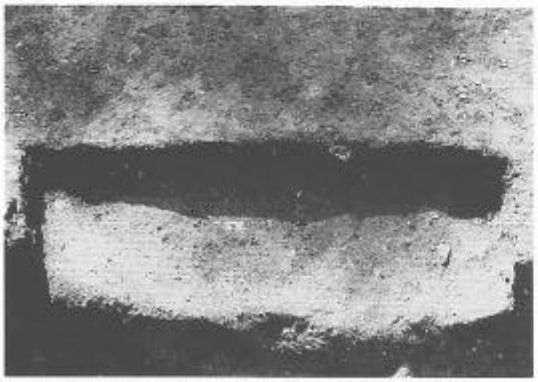


6　SZ62完掘（北▷南）

3　SZ53完掘（北▷南）



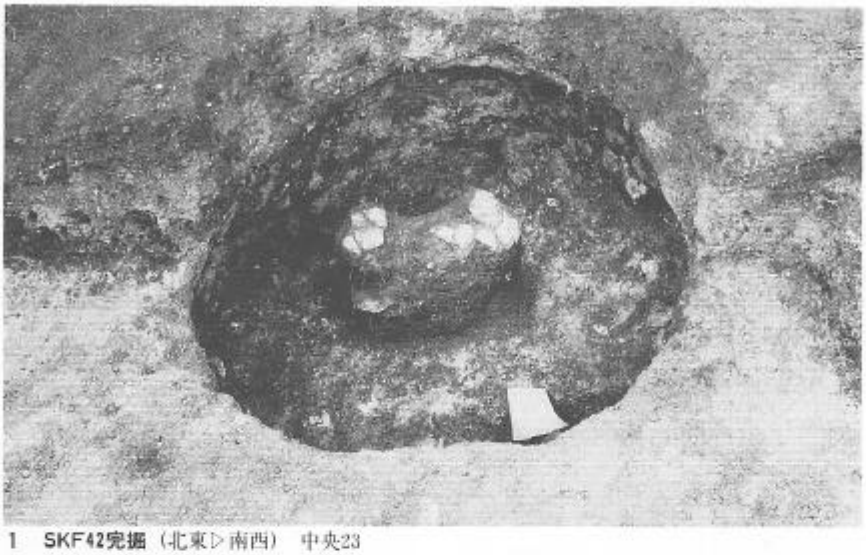
7　SN65土層断面（北東▷南西）　手前SK64



4　SN57土層断面（北西▷南東）　手前S 160壁溝

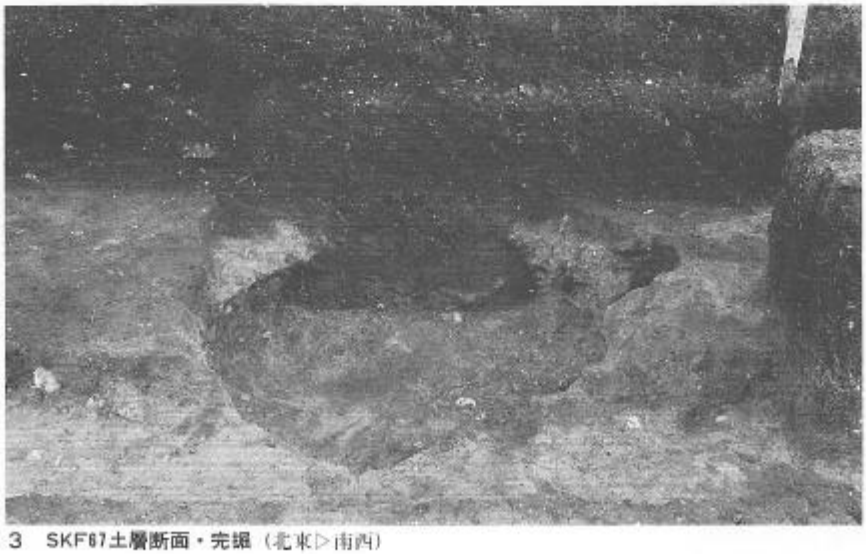
8　SZ75土層断面・完掘（北東▷南西）

図版6

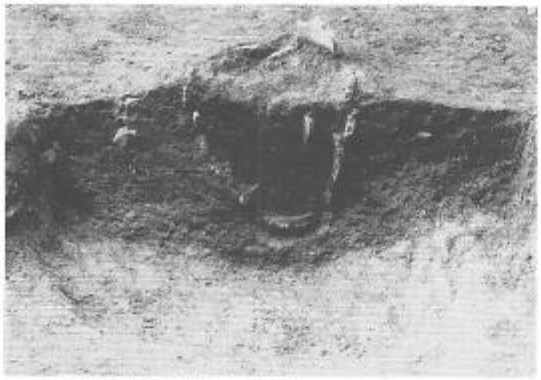


1　SKF42完掘（北東▷南西）　中央23

2　SKF44完掘（東▷西）

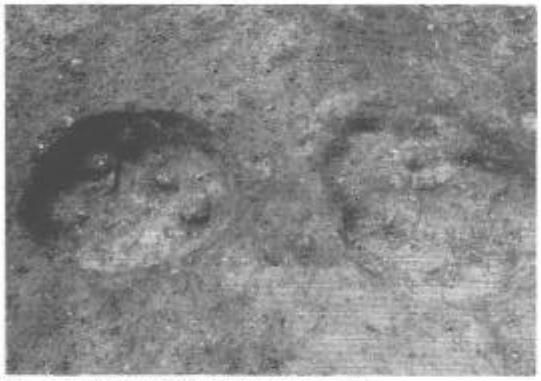


3　SKF67土層断面・完掘（北東▷南西）



1　SR05土層断面（南西▷北東）　埋設土器21

5　SK07完掘（東▷西）

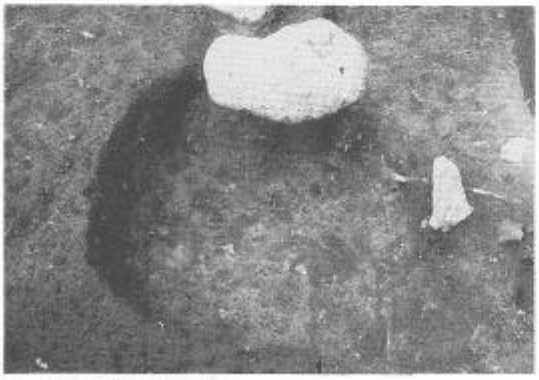


2　SK01(左)・SK17(右)完掘（西▷東）

6　SK08完掘（南西▷北東）

3　SK04確認・遺物出土状況（南▷北）　奥41

7　SK09(右)・SK10(左)完掘（東▷西）



4　SK04完掘（西▷東）

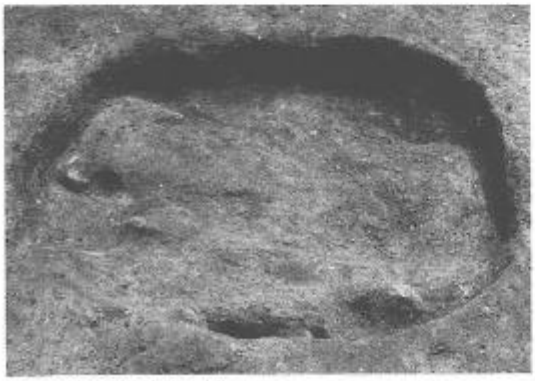
8　SK11完掘（南西▷北東）

図版8

1　SK12(奥)・SK13(手前)完掘（南西▷北東）

2　SK14完掘（北▷南）

3　SK15完掘（南西▷北東）

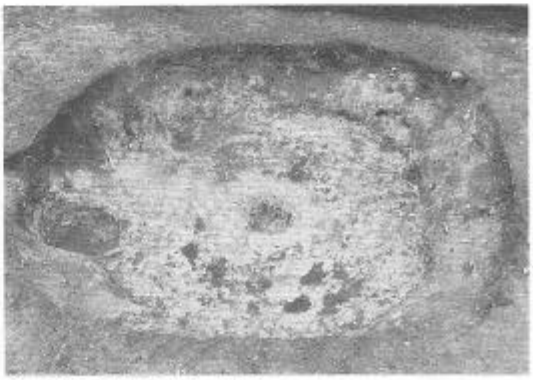


4　SK16完掘（西▷東）

5　SK20遺物出土状況・完掘（東▷西）　中央58

6　SK21完掘（北東▷南西）

7　SK23遺物出土状況（南西▷北東）　中央61



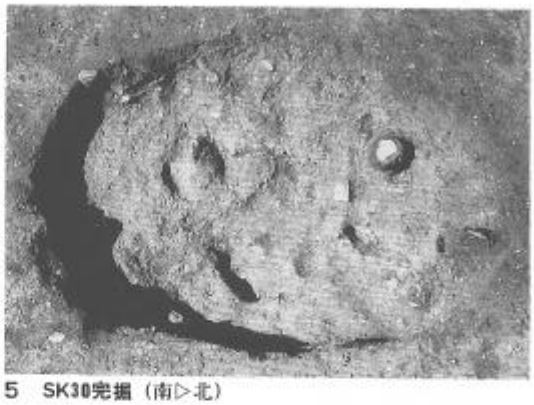
8　SK23完掘（南西▷北東）

1　SK24完掘（北東▷南西）

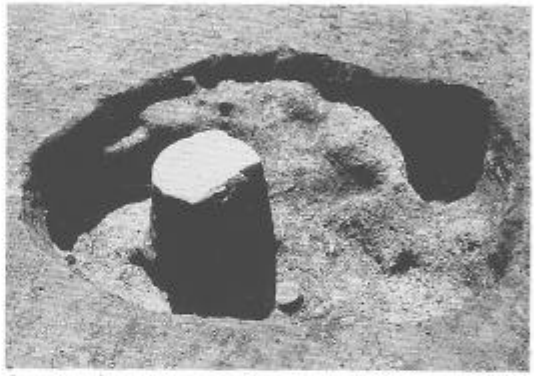
2　SK25遺物出土状況・完掘（南▷北）　右前79

3　SK26完掘（南▷北）

4　SK29遺物出土状況・完掘（東▷西）　右前80



5　SK30完掘（南▷北）

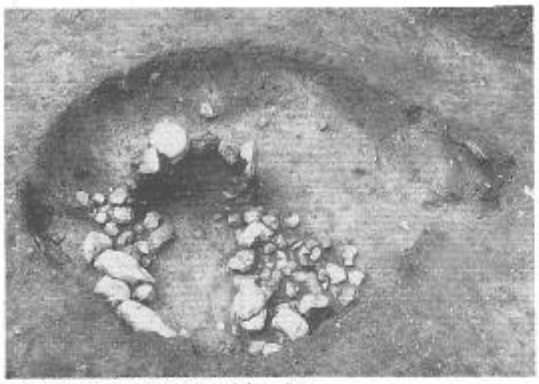


6　SK31完掘（北西▷南東）

7　SK35完掘（南西▷北東）

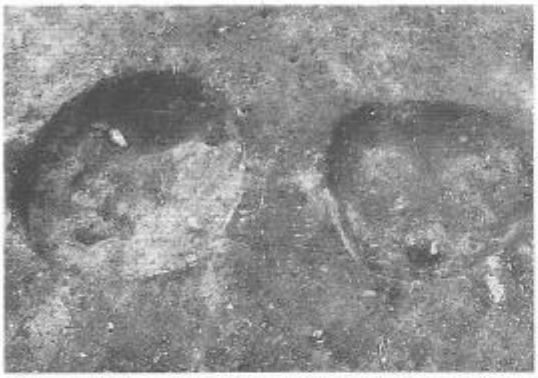
8　SK36遺物出土状況（南西▷北東）

図版10

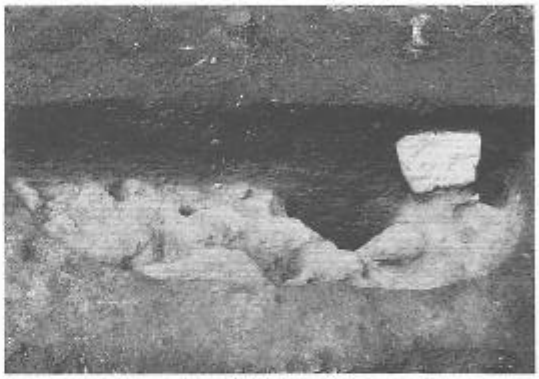


1　SK38遺物出土状況（南▷北）

5　SK58遺物出土状況（北西▷南東）　奥111



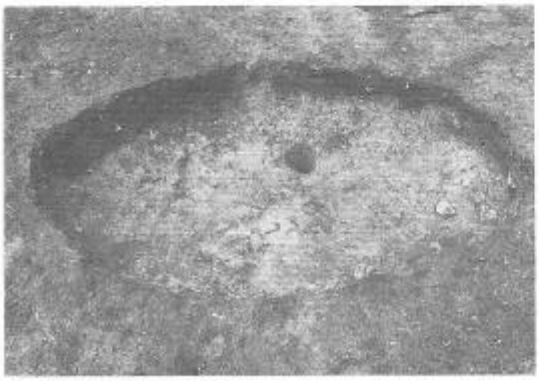
2　SK39(右)・SK40(左)完掘（南西▷北東）



6　SK63完掘（北東▷南西）　底面SB37ピット6

3　SK54完掘（北西▷南東）

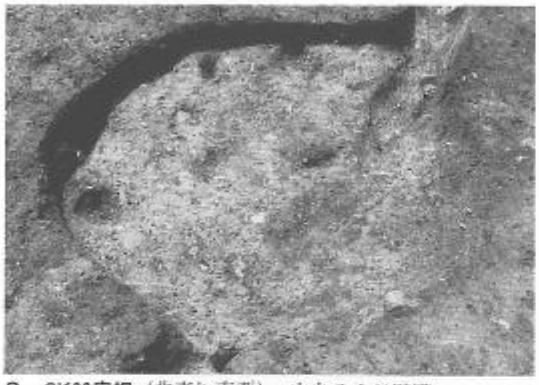
7　SK64完掘（北東▷南西）



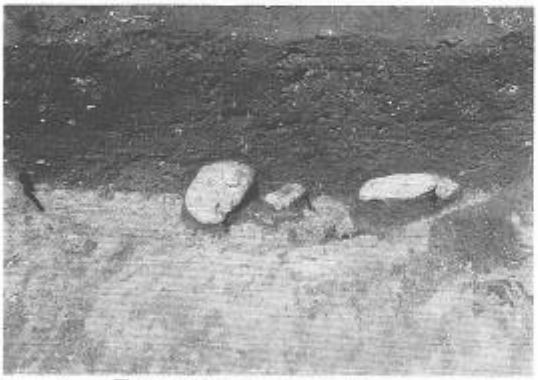
4　SK55完掘（北▷南）

8　SK66土層断面・完掘（北東▷南西）

1　SK69遺物出土状況（南▷北）　手前108・奥ＳＩ61壁溝

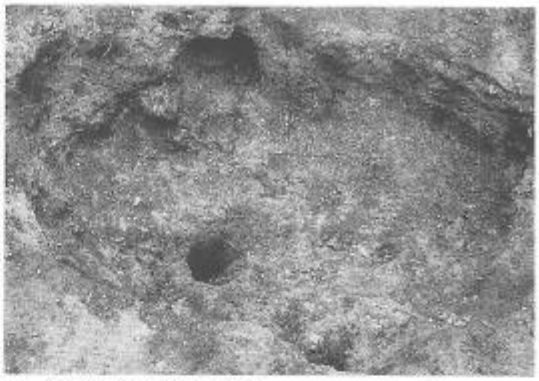


2　SK69完掘（北東▷南西）　中央ＳＩ61壁溝

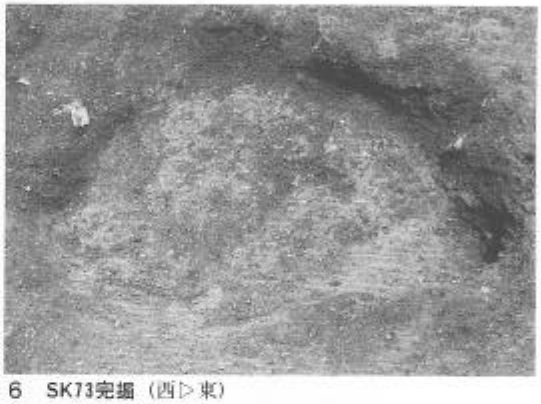


3　SK70土層断面・遺物出土状況（南西▷北東）

4　SK71完掘（西▷東）

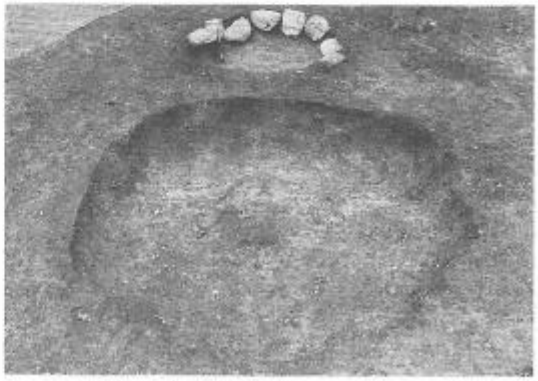


5　SK72完掘（北東▷南西）



6　SK73完掘（西▷東）

7　SK74完掘（南東▷北西）



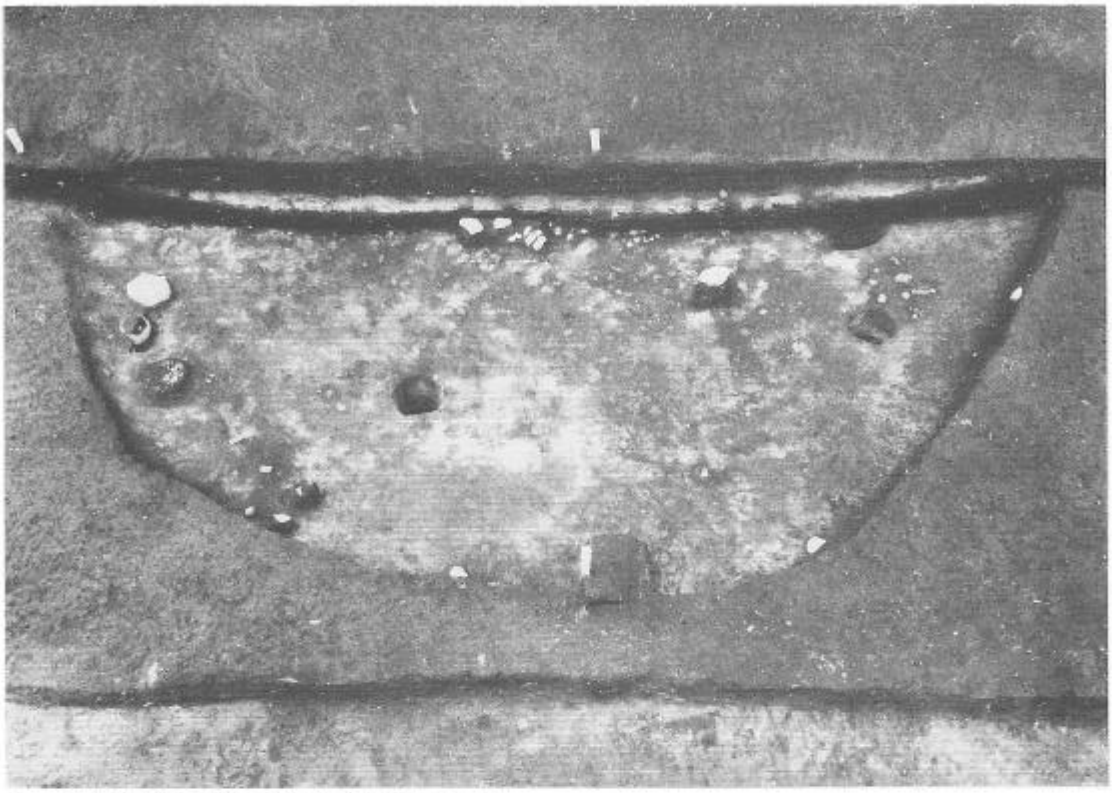
8　SK79完掘（西▷東）　奥ＳＩ61石囲炉

図版12

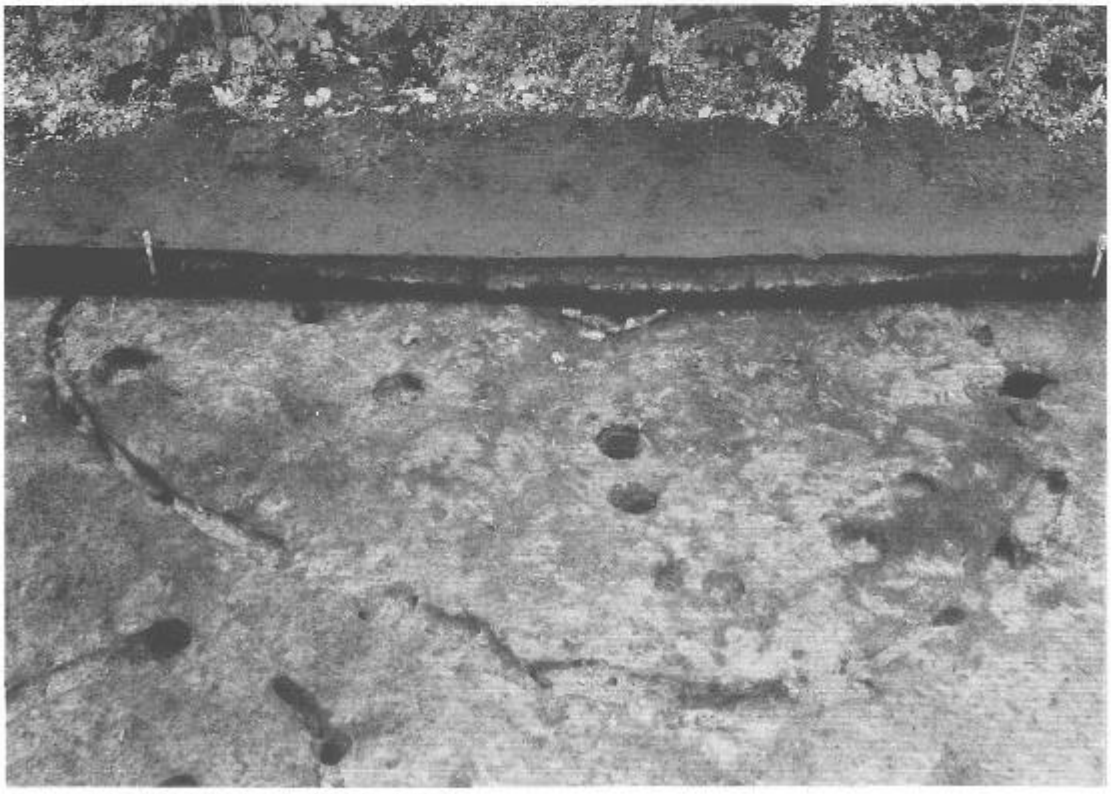
1　S I 28完掘（西▷東）　右奥撹乱

2　S I 28遺物出土状況(1)（西▷東）　右奥撹乱

3　S I 28遺物出土状況(2)（南西▷北東）　手前118・奥119



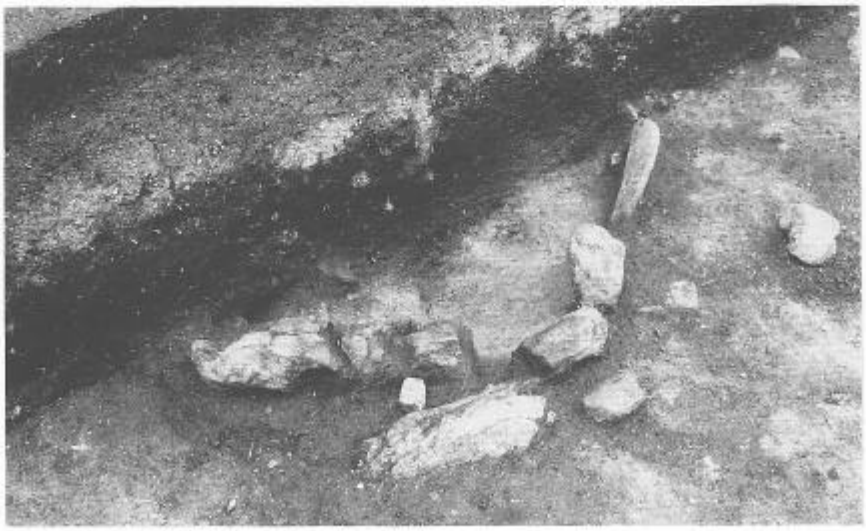
1　S I 33完掘（南西▷北東）左埋設土器127



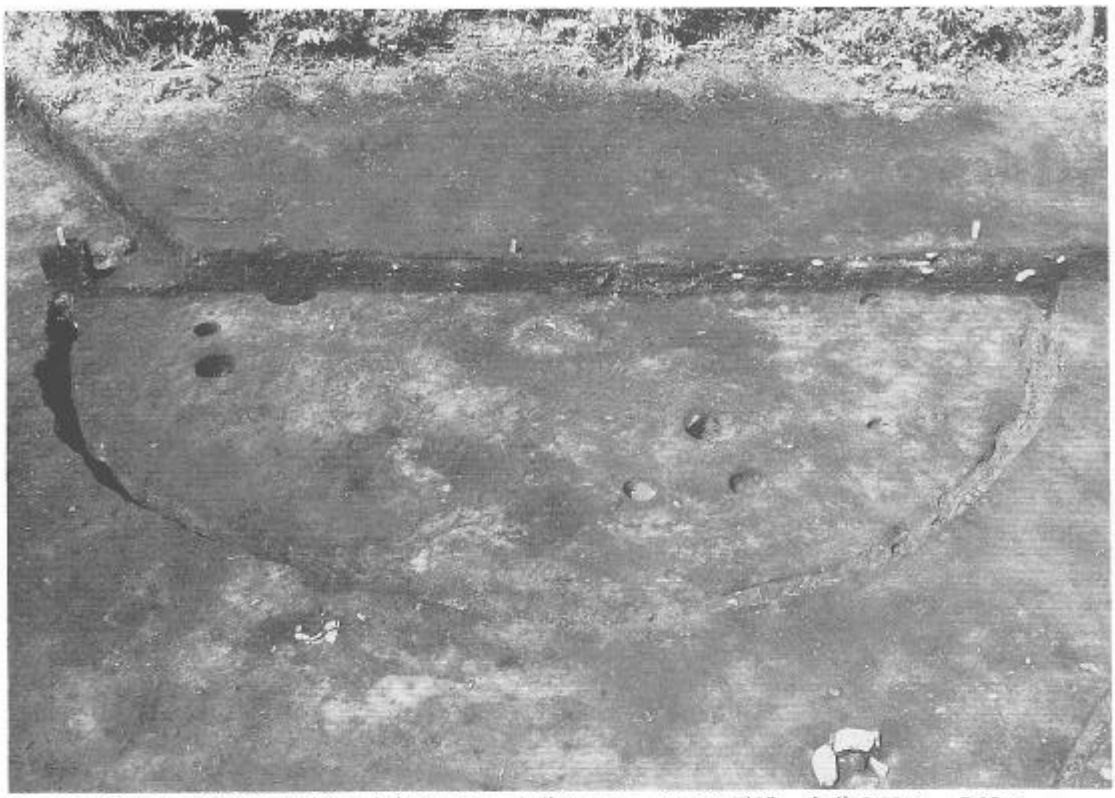
2　S I 34完掘（北東▷南西）左前S I 76

1　ＳＩ33土層断面（南▷北）

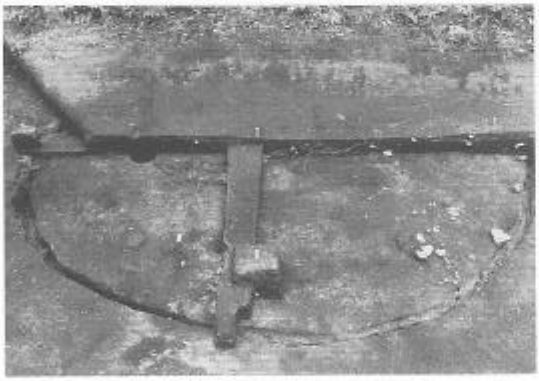
2　ＳＩ33埋設土器精査状況（南東▷北西）　左127・右蓋石



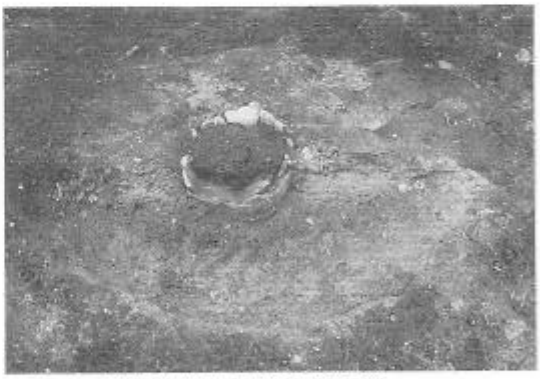
3　ＳＩ34石囲炉土層断面・完掘（東▷西）



1　S I 60完掘（南西▷北東）　右奥S N57・右前S N41・S I 61壁溝・左前S K58・S N59

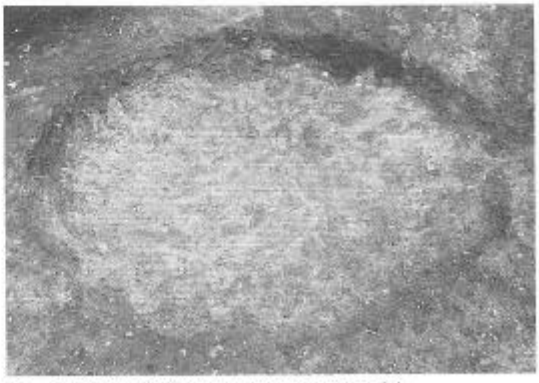


2　S I 60遺物出土状況(1)（南西▷北東）



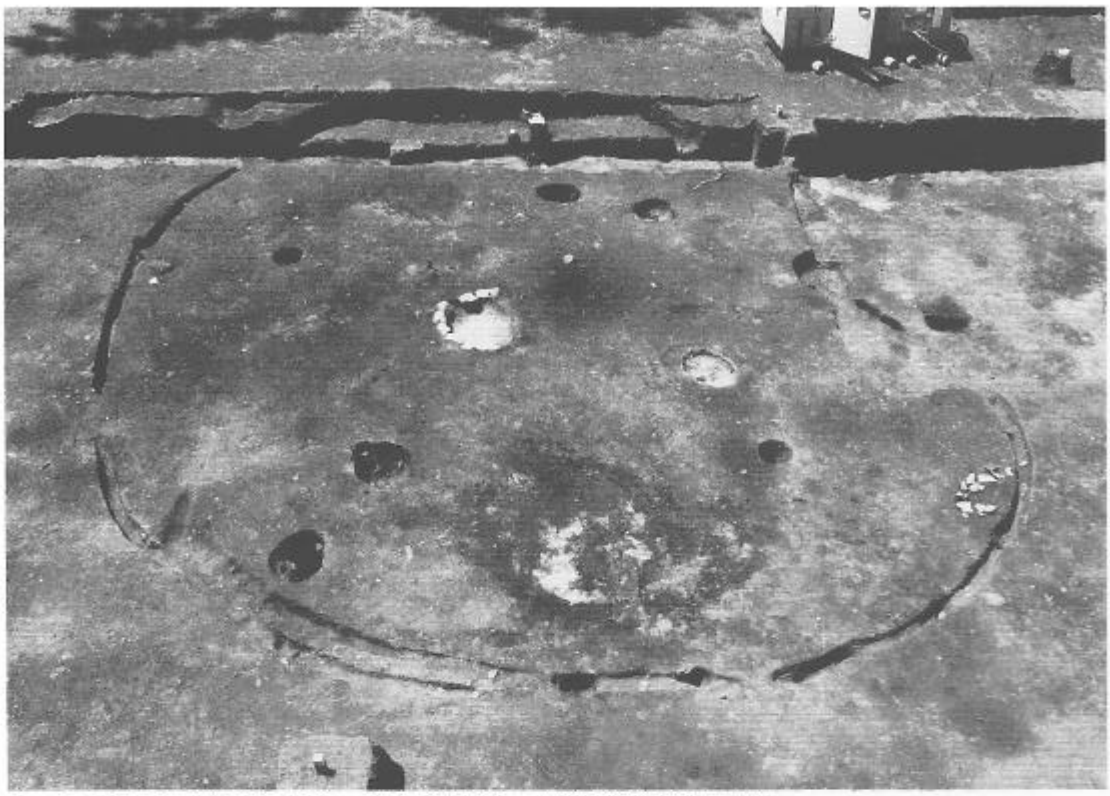
4　S I 60土器埋設炉土層断面（西▷東）

3　S I 60遺物出土状況(2)（南東▷北西）　右145

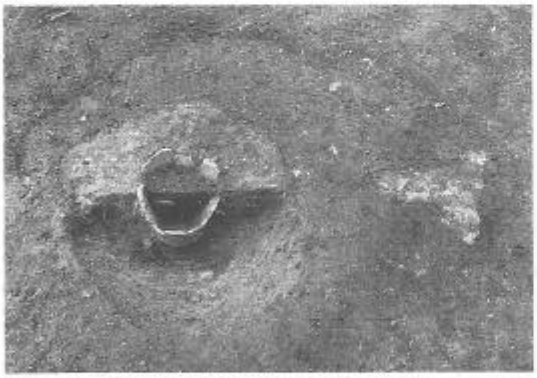


5　S I 60土器埋設炉掘り方完掘（西▷東）

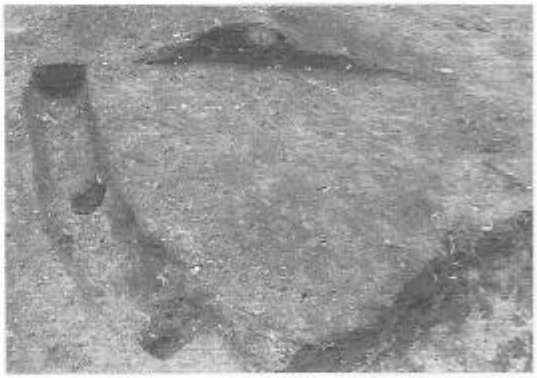
図版16



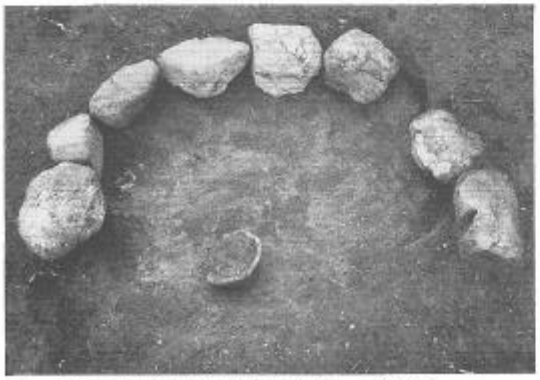
1　ＳＩ61完掘（北東▷南西）　中央手前攪乱・右ＳＫ69遺物出土状況



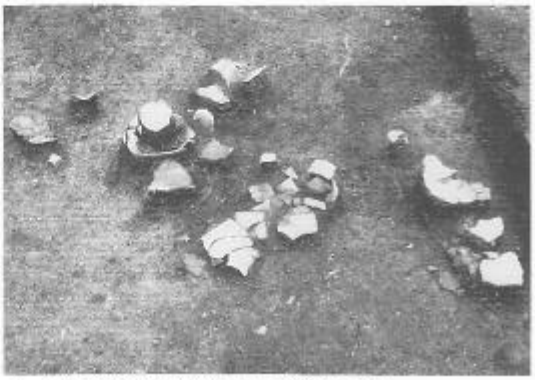
2　ＳＩ61土器埋設炉土層断面（南西▷北東）



4　ＳＩ61盤溝・ベンガラ土層断面（西▷東）



3　ＳＩ61石囲炉完掘（北西▷南東）　手前181



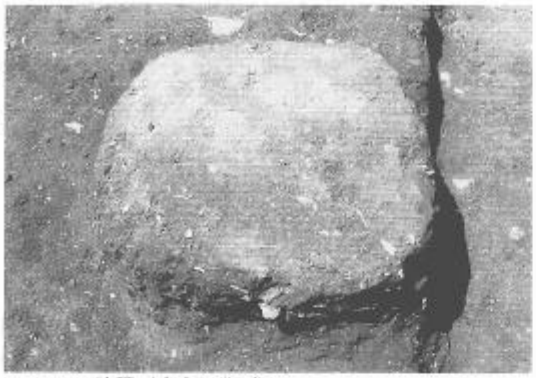
5　ＳＩ61遺物出土状況(1)（北西▷南東）

1　S I 61遺物出土状況(2)（南東▷北西）　左182・右前199・奥191

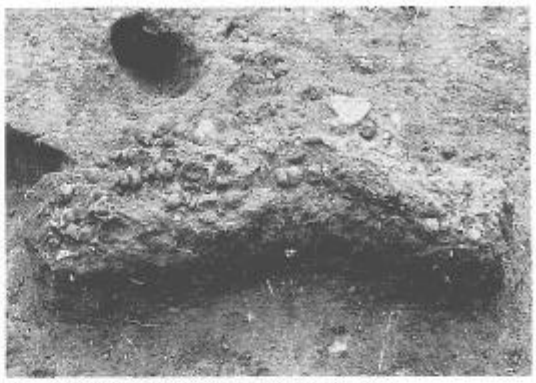
2　S I 61遺物出土状況(3)（南東▷北西）　東側土器集中区164～178

3　S I 61遺物出土状況(4)・灰白色粘質土検出状況（北▷南）　左197・右198

図版18



1　SN45確認（南東▷北西）



5　SN56炭化栗出土状況(2)（北東▷南西）

2　SN47(左)・SN56(右)土層断面（東▷西）

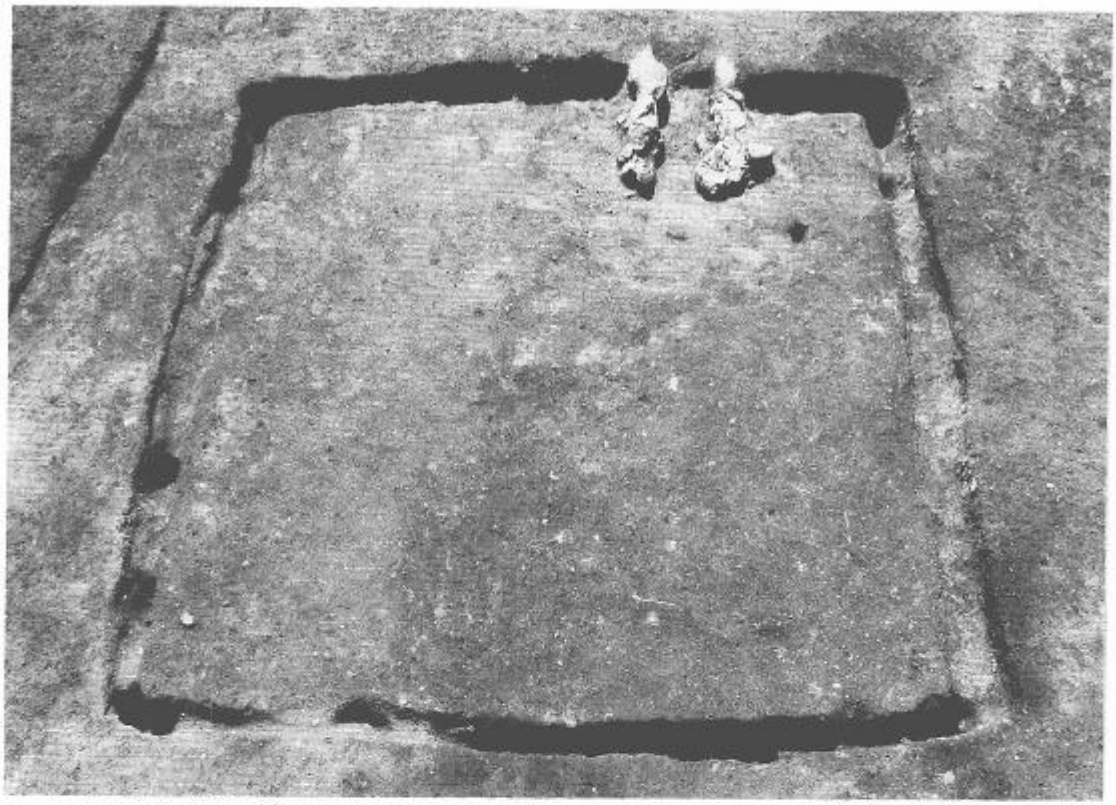
6　SQ43完掘（西▷東）

3　SN52遺物出土状況（東▷西）　左から209・212・210

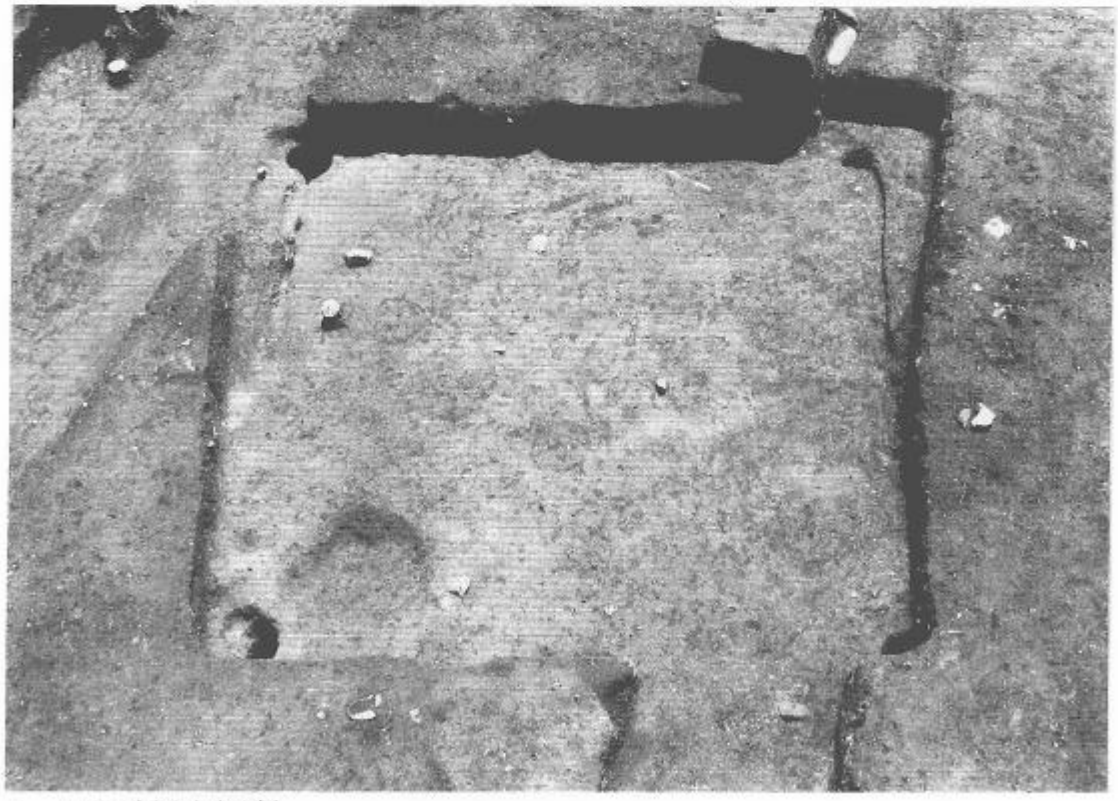
7　SQ49完掘（南西▷北東）

4　SN56炭化栗出土状況(1)（東▷西）

8　SQ50完掘（北東▷南西）

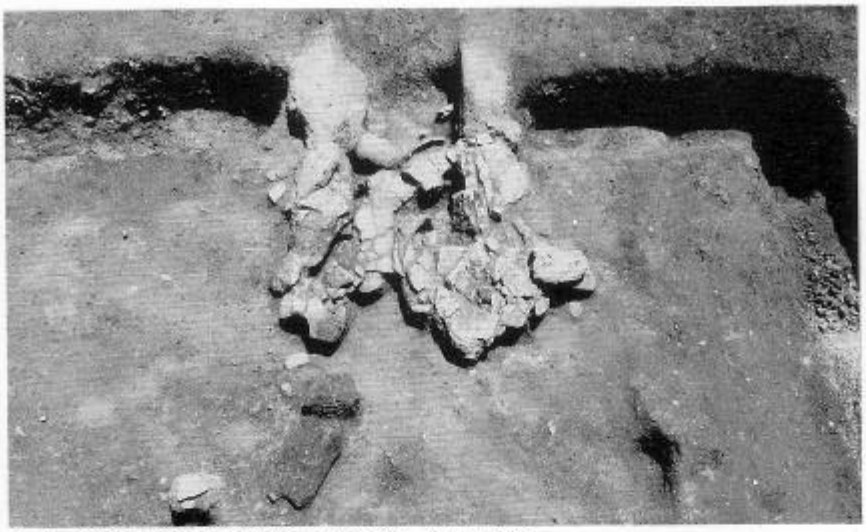


1　S I 18完掘（西▷東）

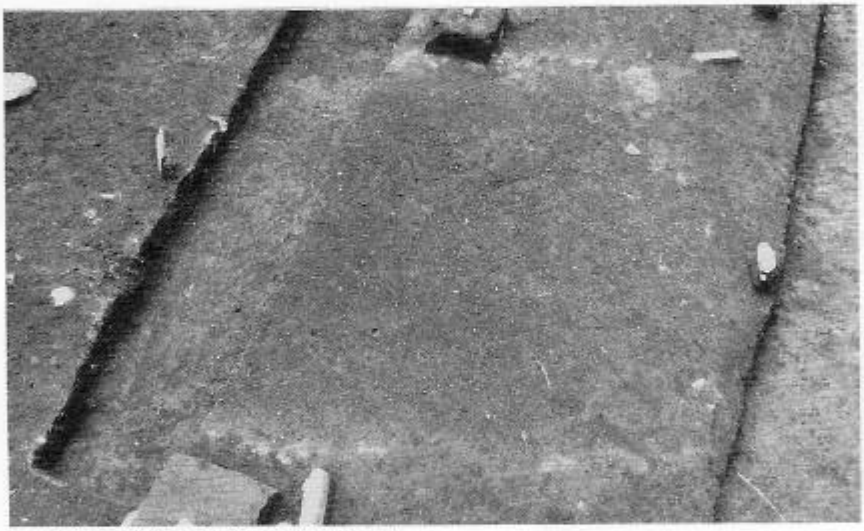


2　S I 32完掘（西▷東）

図版20

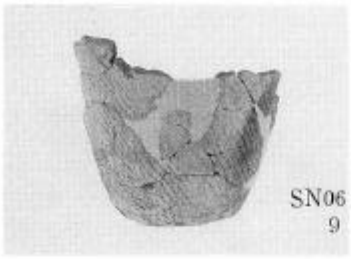


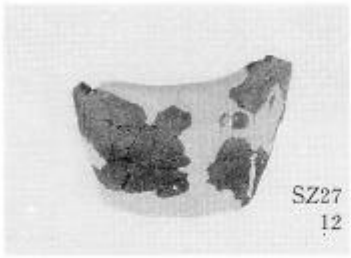
1　S I 18カマド内遺物出土状況（西▷東）　出土土器218



2　S I 32白頭山火山灰検出状況（東▷西）

3　SX51遺物出土状況（南東▷北西）


SN06
9


SZ27
12

SN22
11

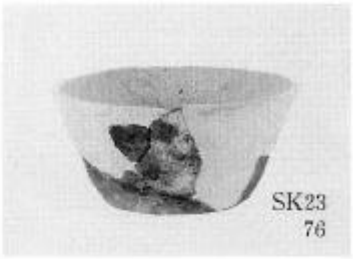
SZ48
13

SR05
21

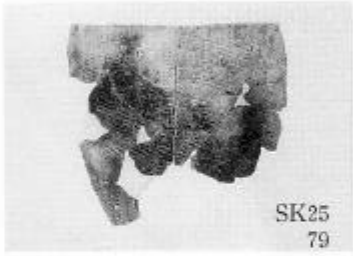
SKF42
23

SK04
41

SK23
61

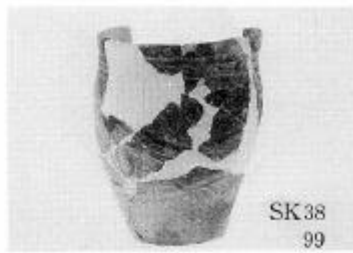

SK23
76

SK24
77


SK25
79

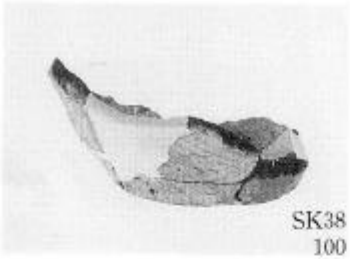
SK29
80

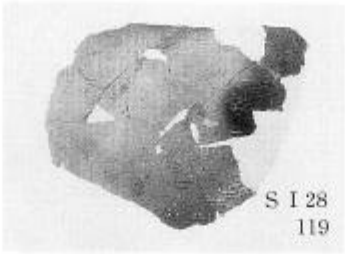
SK36
92

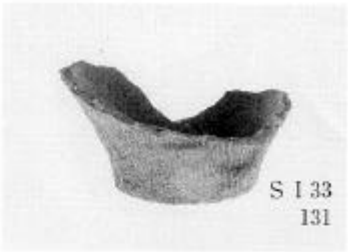

SK38
99

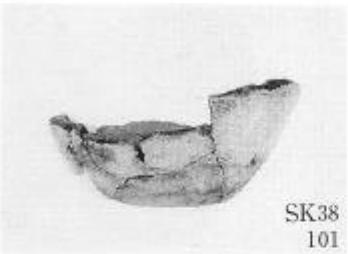
出土遺物(1)　SZ27・48　SN06・22　SR05　SKF42　SK04・23・24・25・29・36・38

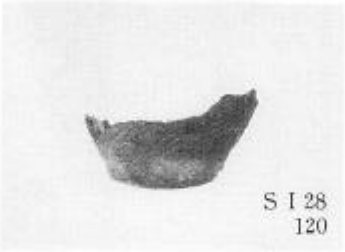
図版22

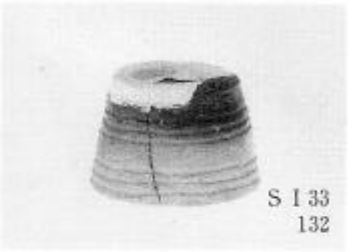

SK38
100


S I 28
119


S I 33
131


SK38
101


S I 28
120

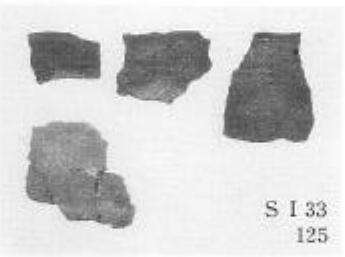

S I 33
132

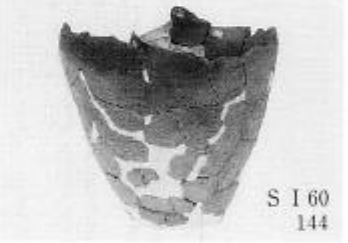
SK69
108

S I 33
122

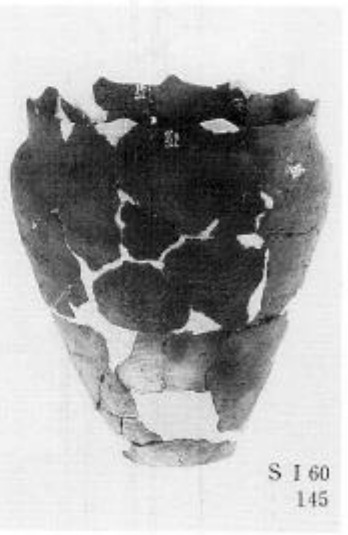
S I 34
133

SK58
111


S I 33
125


S I 60
144

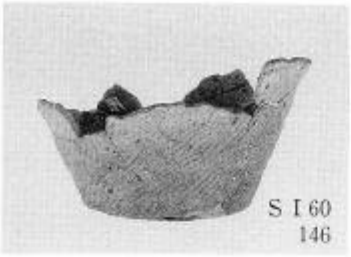
S I 33
126

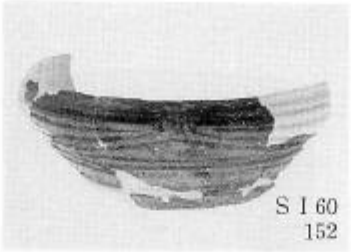

S I 60
145

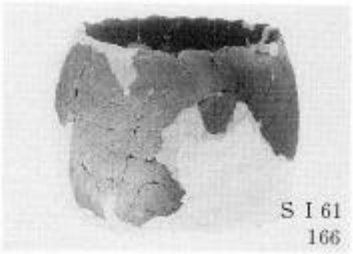
S I 28
118

S I 33
127

出土遺物(2)　SK38・69・58　S I 28・33・34・60

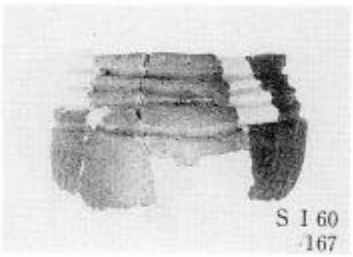

S I 60
146

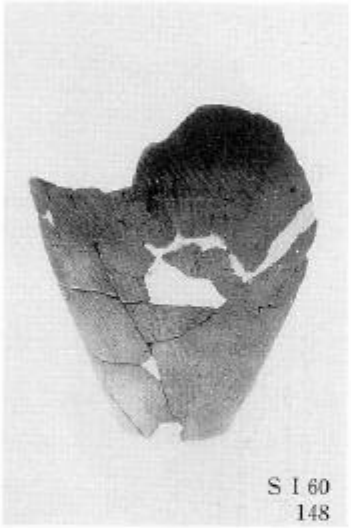

S I 60
152

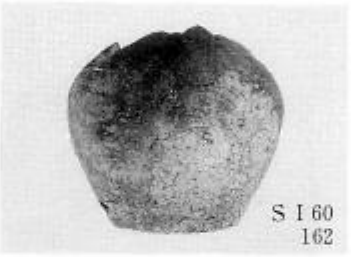

S I 61
166

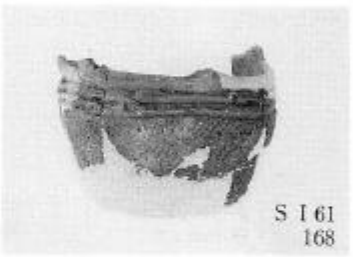
S I 60
147

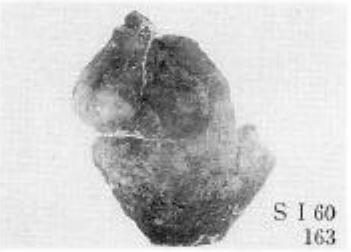
S I 60
153


S I 60
167

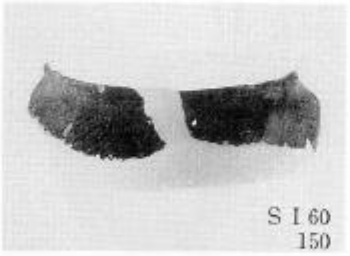

S I 60
148


S I 60
162

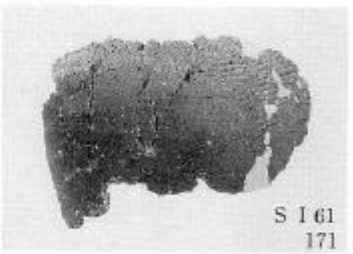

S I 61
168


S I 60
163

S I 61
170


S I 60
150

S I 61
164


S I 61
171

S I 60
151

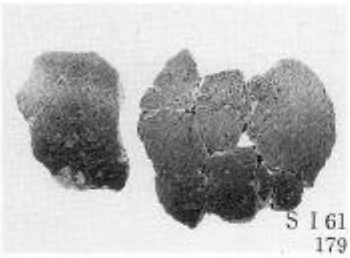
S I 61
165

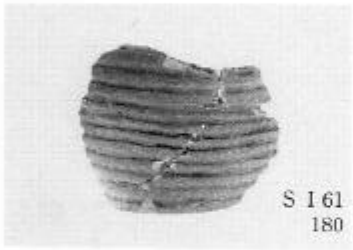
S I 61
172

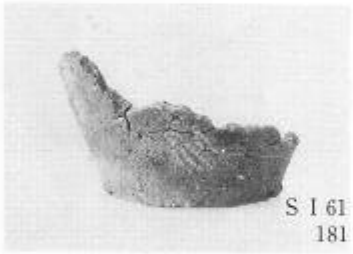
出土遺物(3)　S I 60・61

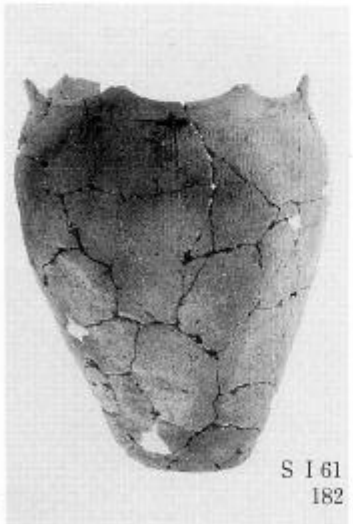
図版24

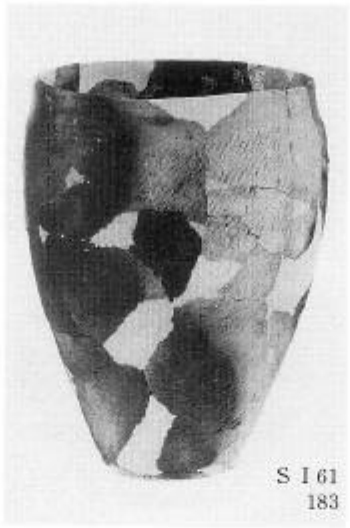
S I 61
173


S I 61
179


S I 61
180

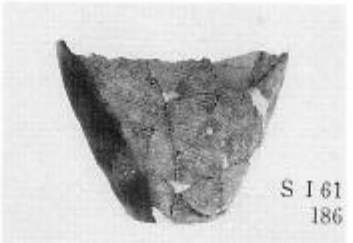

S I 61
181

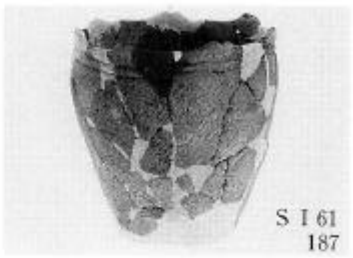

S I 61
182

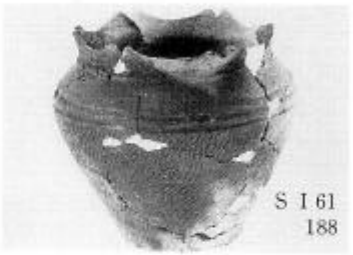

S I 61
183

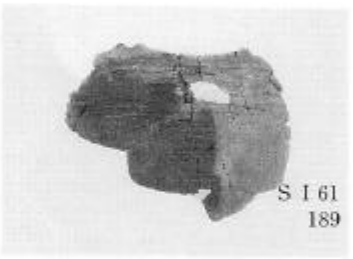
S I 61
184

S I 61
185

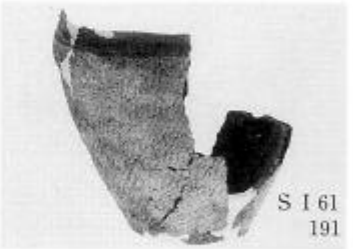

S I 61
186


S I 61
187


S I 61
188

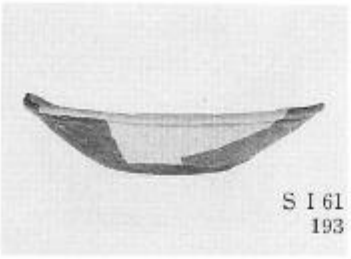

S I 61
189

S I 61
190


S I 61
191

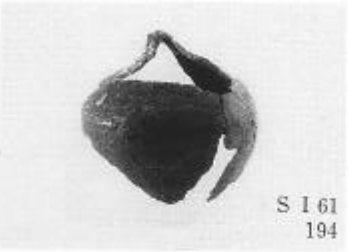
S I 61
192

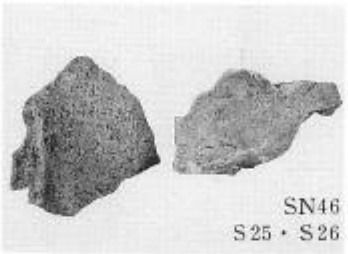
出土遺物(4)　S I 61


S I 61
193

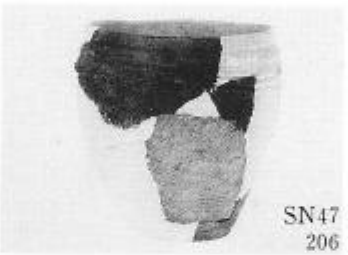
S I 61
199

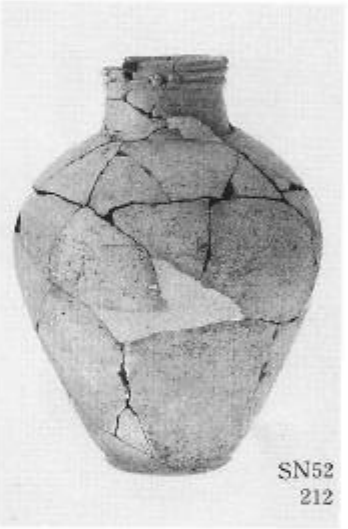
SN52
209

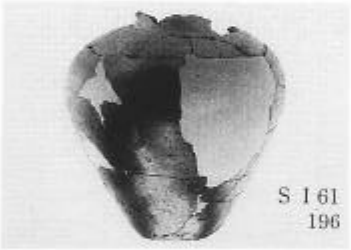

S I 61
194


SN46
S 25・S 26

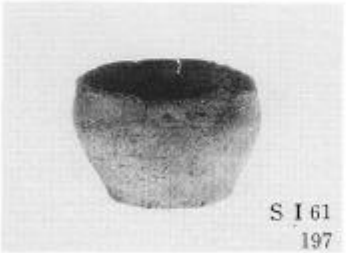
S I 61
195

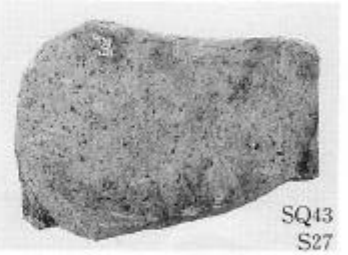

SN47
206


SN52
212


S I 61
196

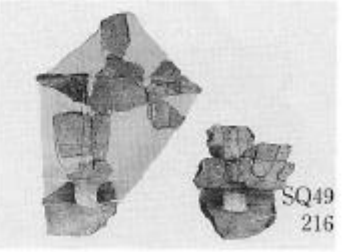
SN47
207


S I 61
197

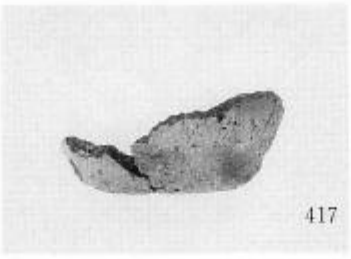

SQ43
S27

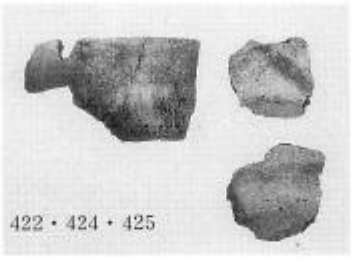
S I 61
198

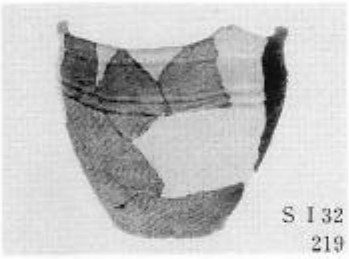
SN47
208

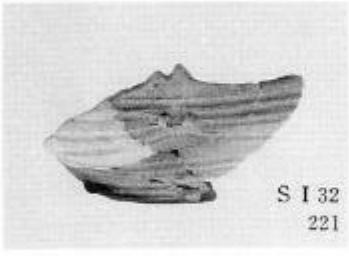

SQ49
216

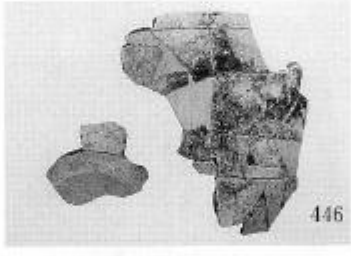
出土遺物(5)　S I 61　S N46・47・52　S Q43・49

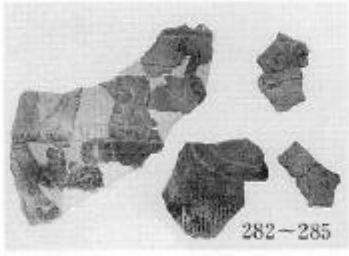


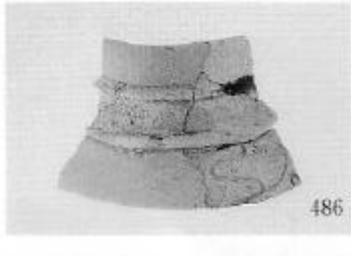






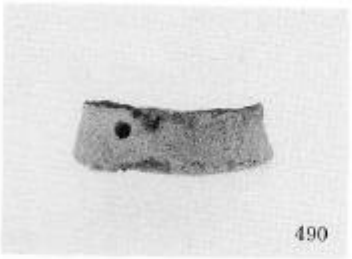






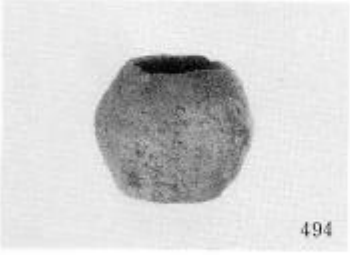
出土遺物(6)　S I 18・32　遺構外出土土器

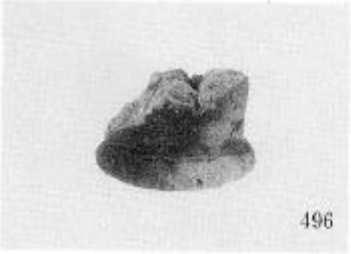
489


490

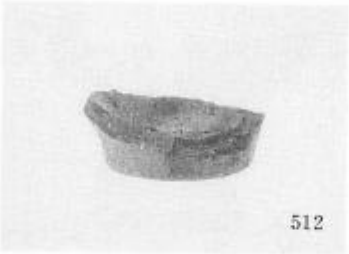
491

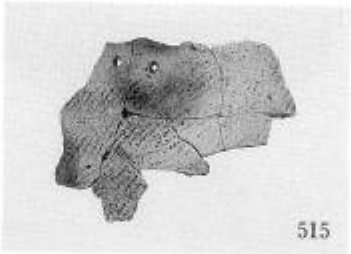
492


494


496

510

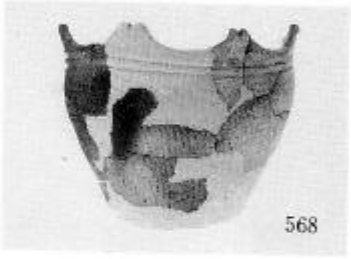

512

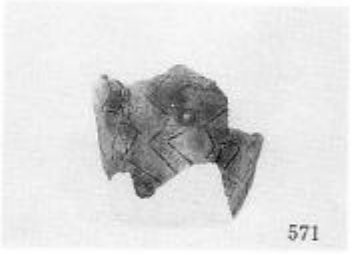

515

530

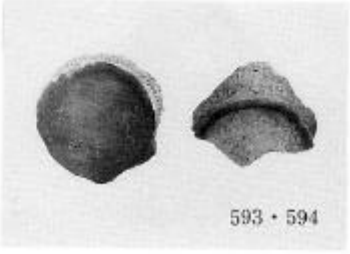
567

MA53
SI34
531


568


571

573


593・594

出土遺物(7)　遺構外出土土器

図版28

595

637

657

603

638

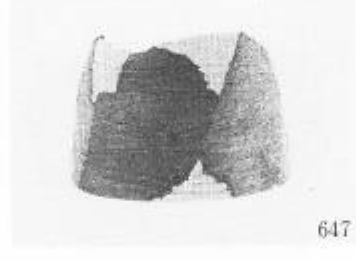
658

604

639

662

605


647

664

606

653

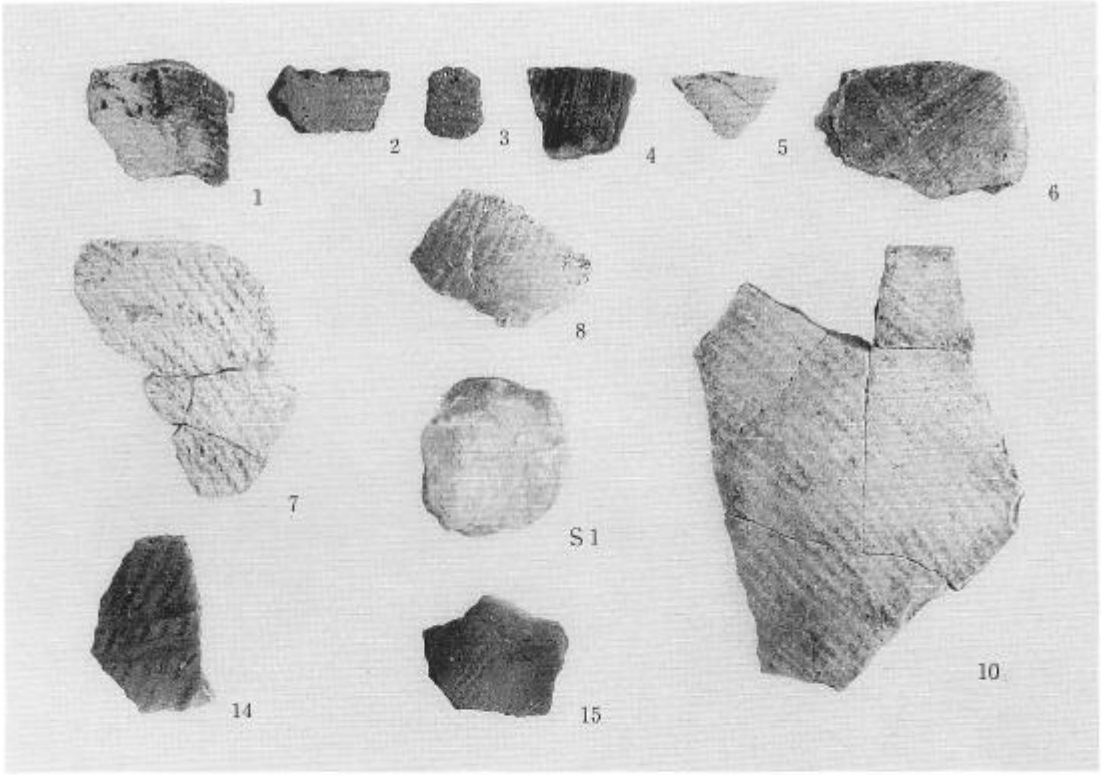
665

627

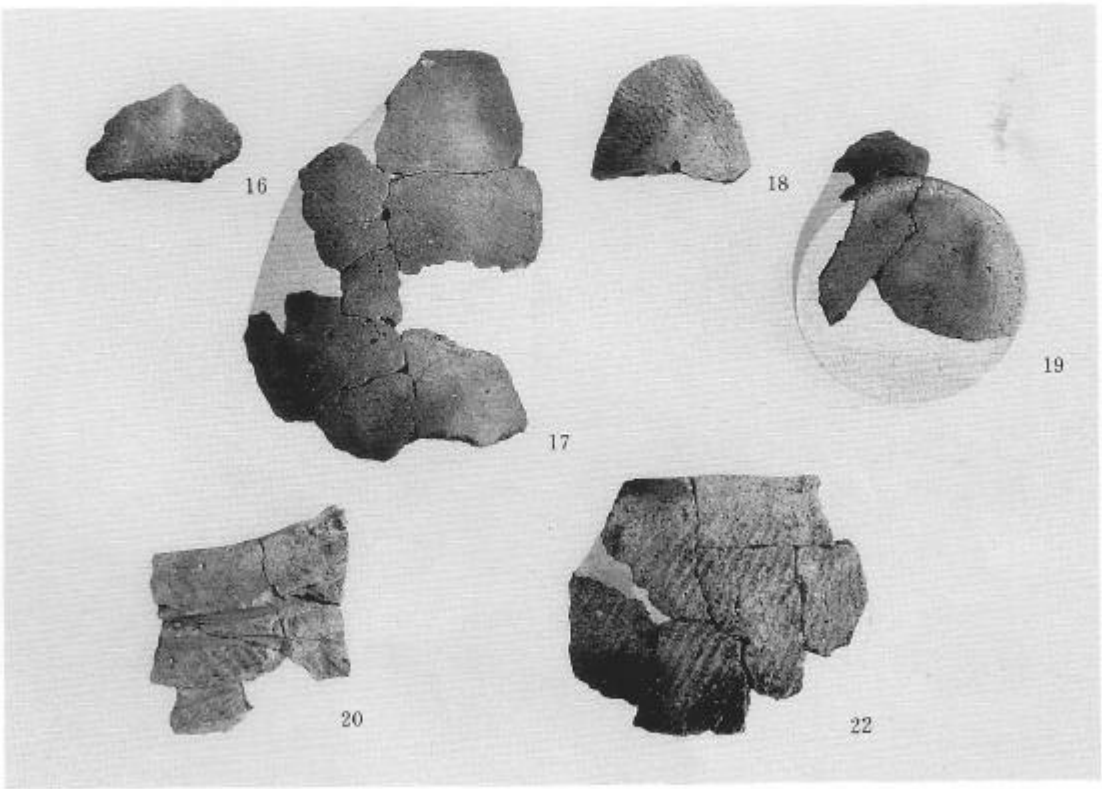
656

666

出土遺物(8)　遺構外出土土器

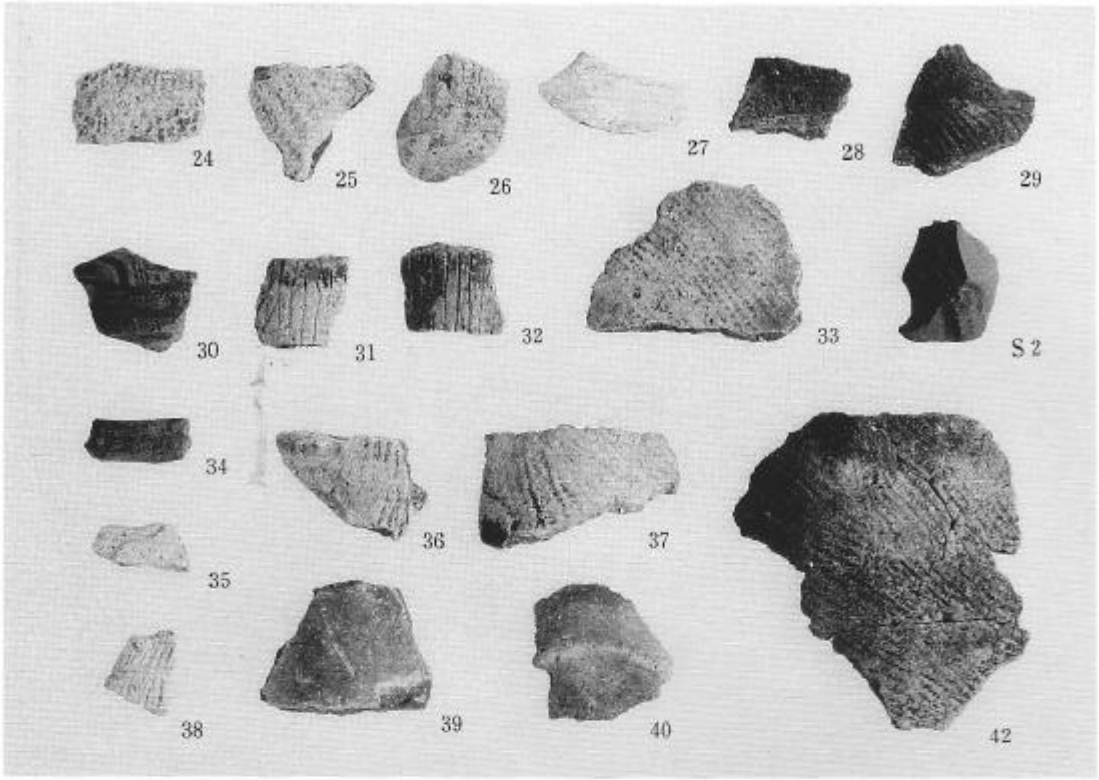


1　遺構内出土遺物(1)　S I 68・76　S Z 19・41・48・53　S N06

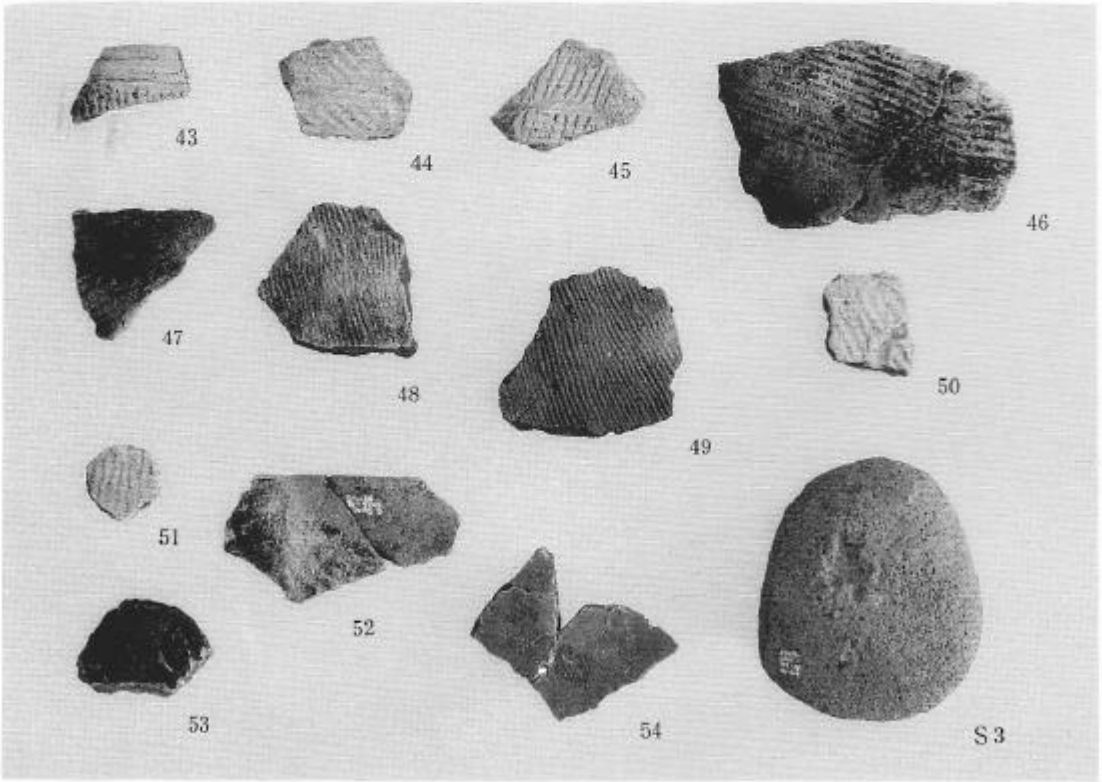


2　遺構内出土遺物(2)　SZ53　SN59　SKF42

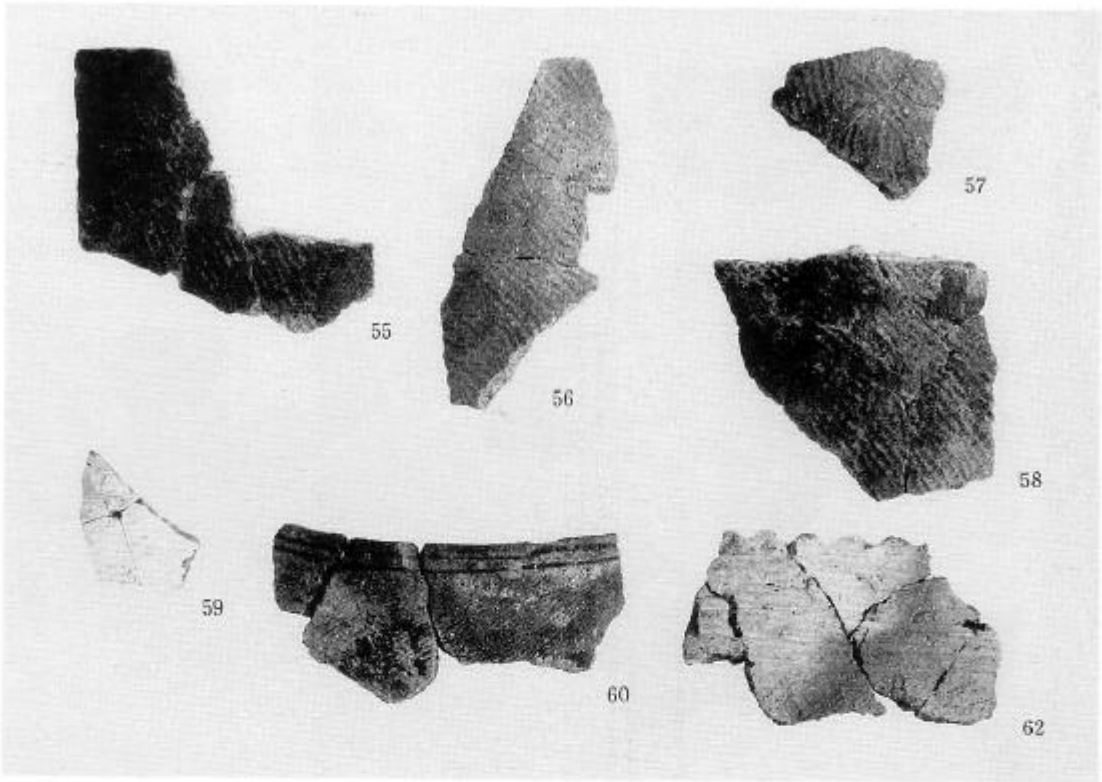
図版30



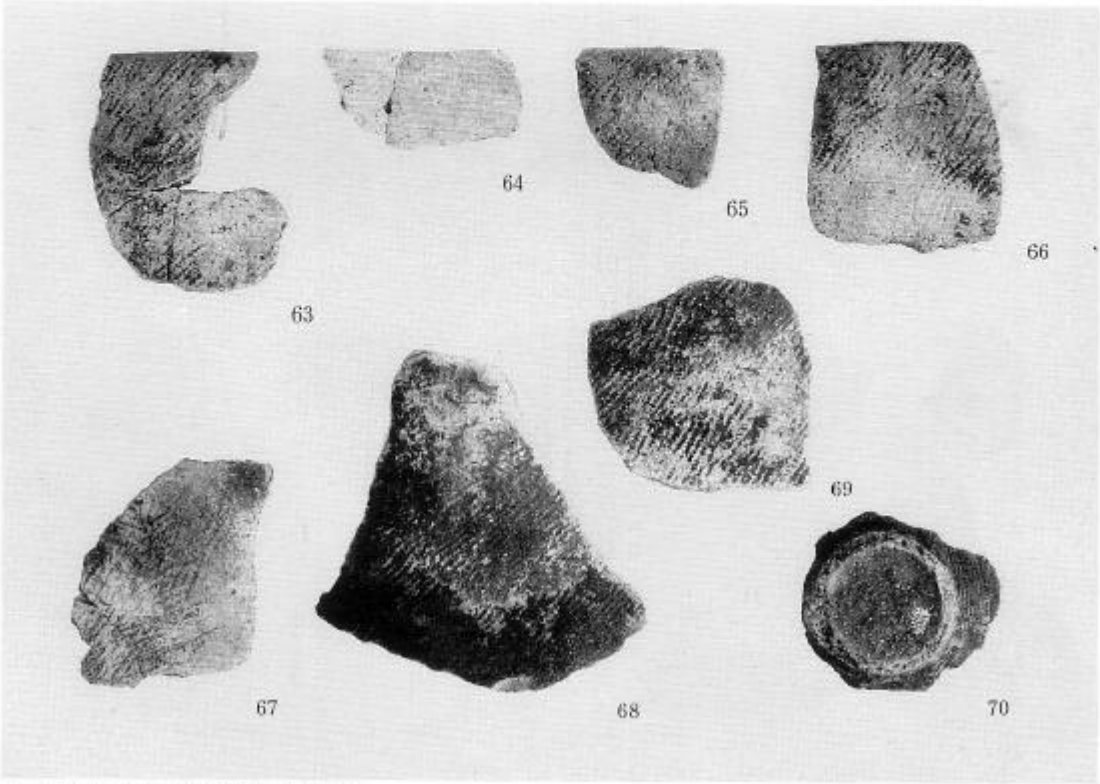
1　遺構内出土遺物(3)　SKF42　SK04



2　遺構内出土遺物(4)　SK04・12・13・14

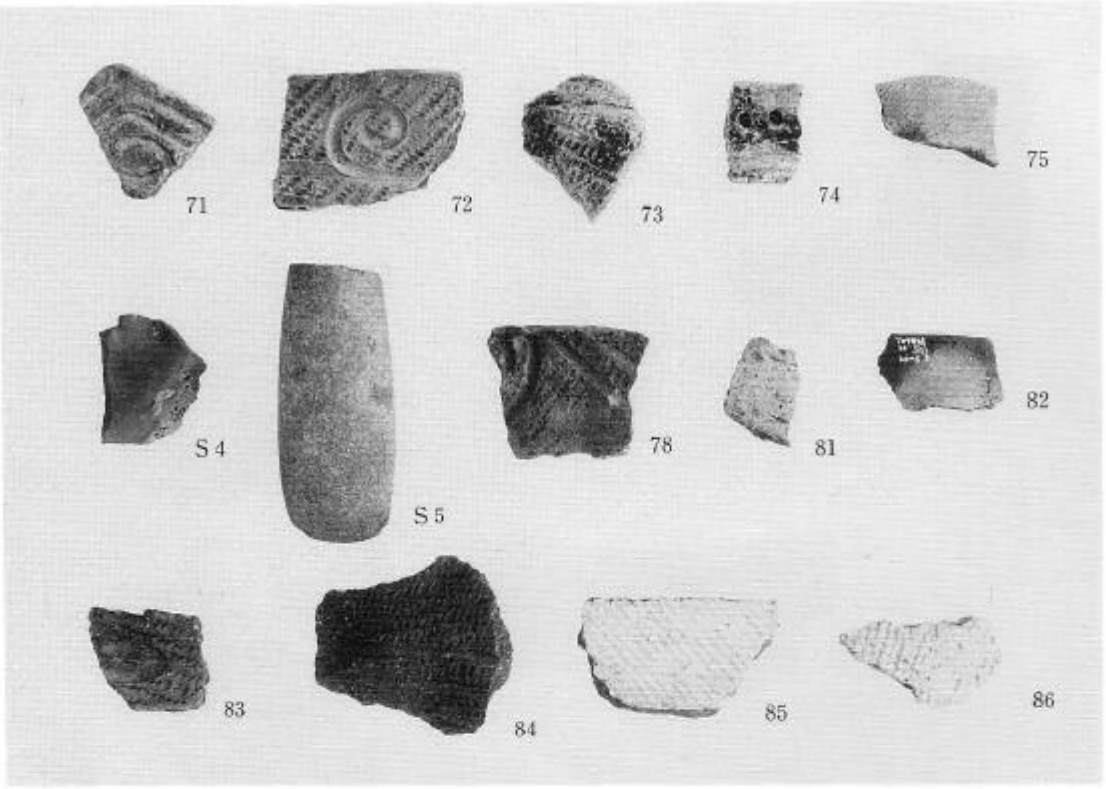


1　遺構内出土遺物(5)　SK20・21・23

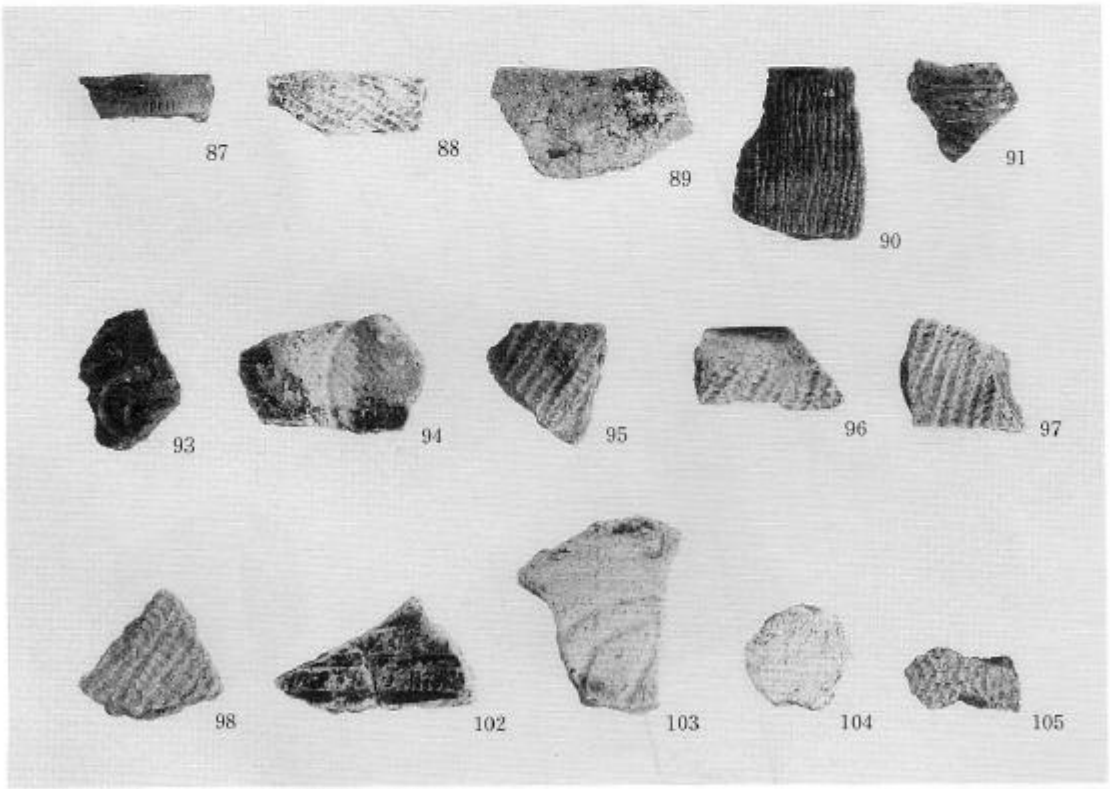


2　遺構内出土遺物(6)　SK23

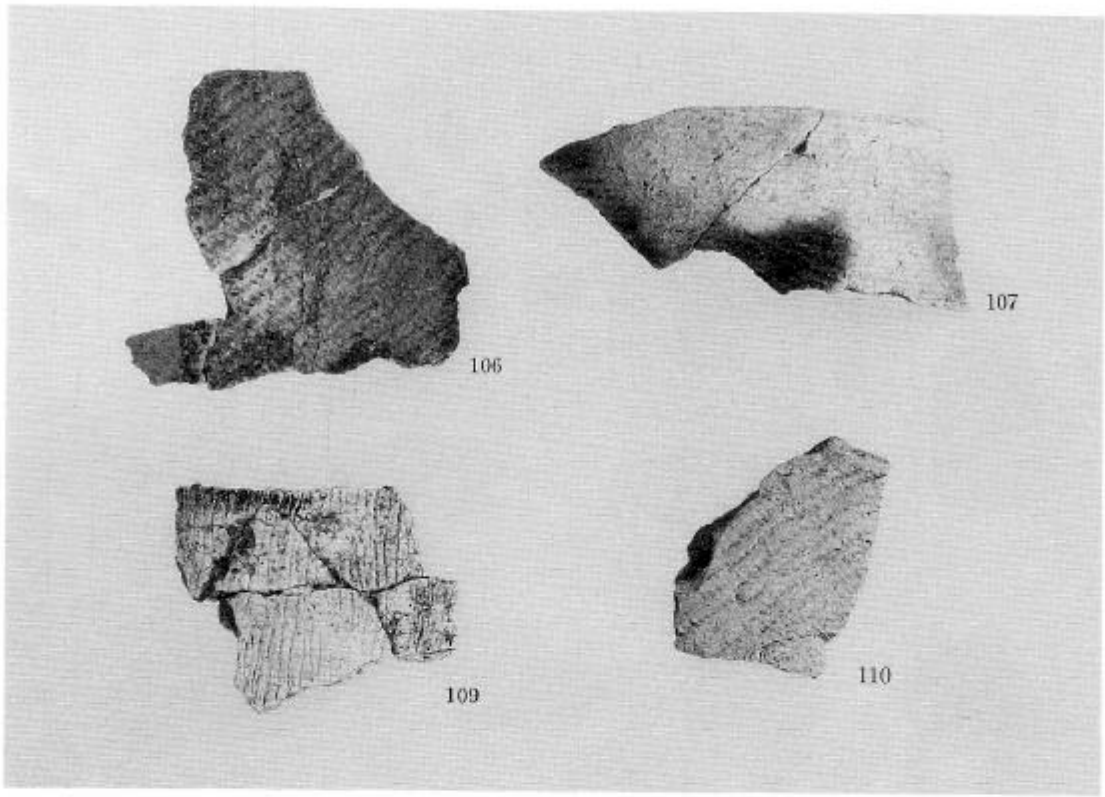
図版32



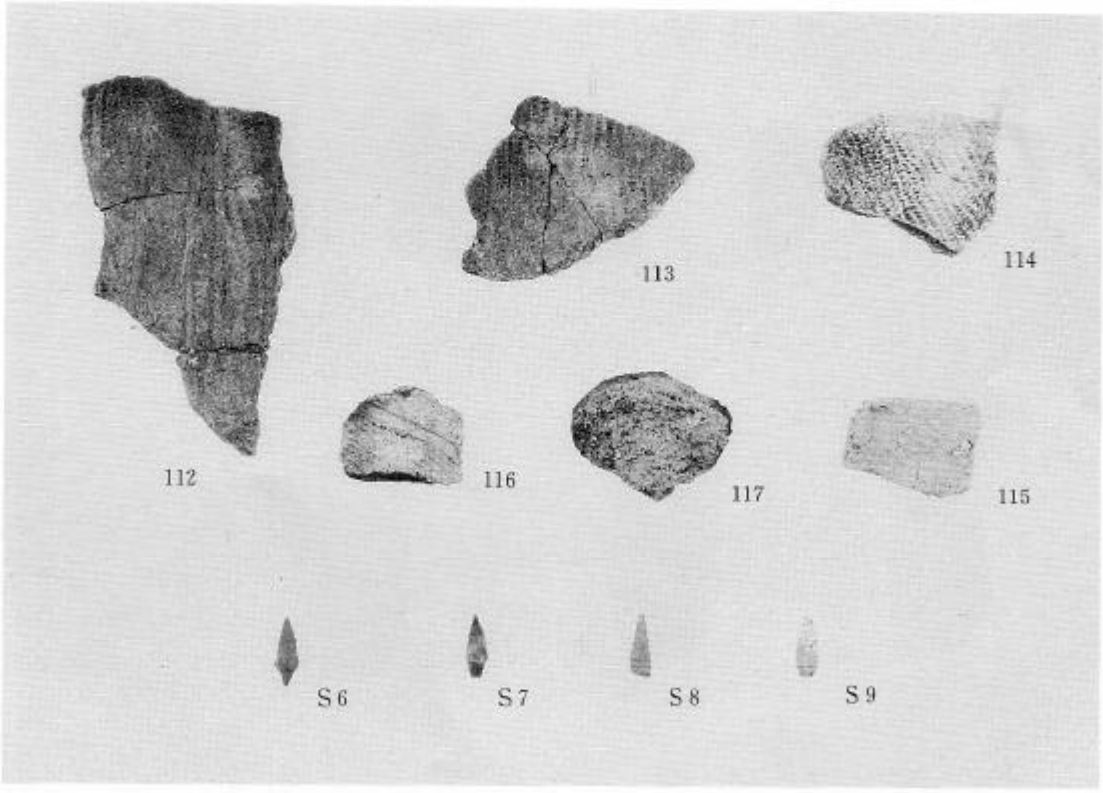
1　遺構内出土遺物(7)　SK23・25・30



2　遺構内出土遺物(8)　SK36・38・40

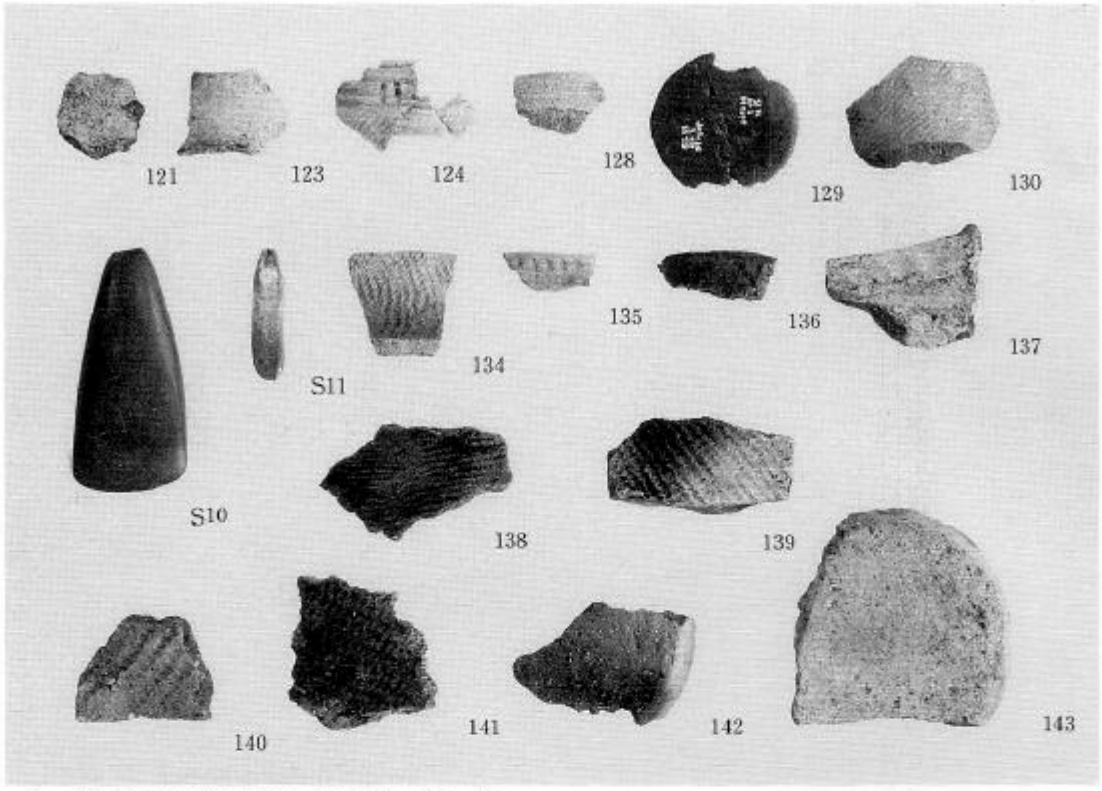


1　遺構内出土遺物(9)　SK69

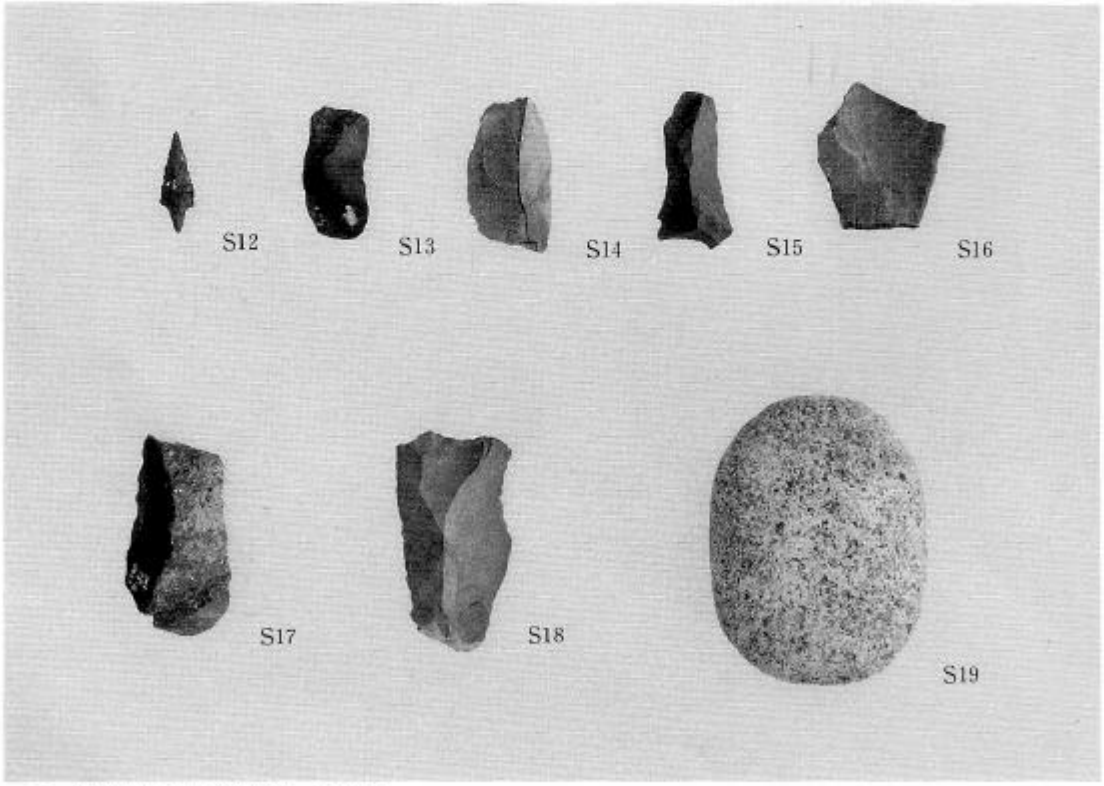


2　遺構内出土遺物(10)　SK70・79

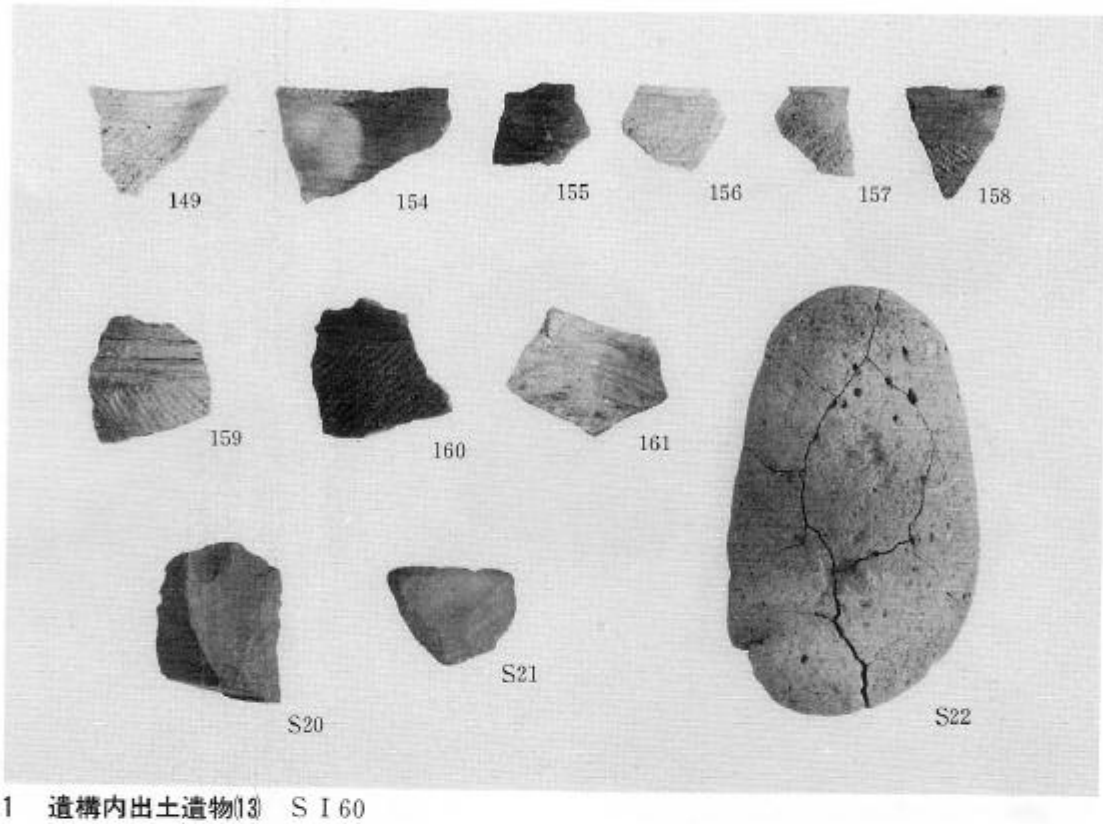
図版34



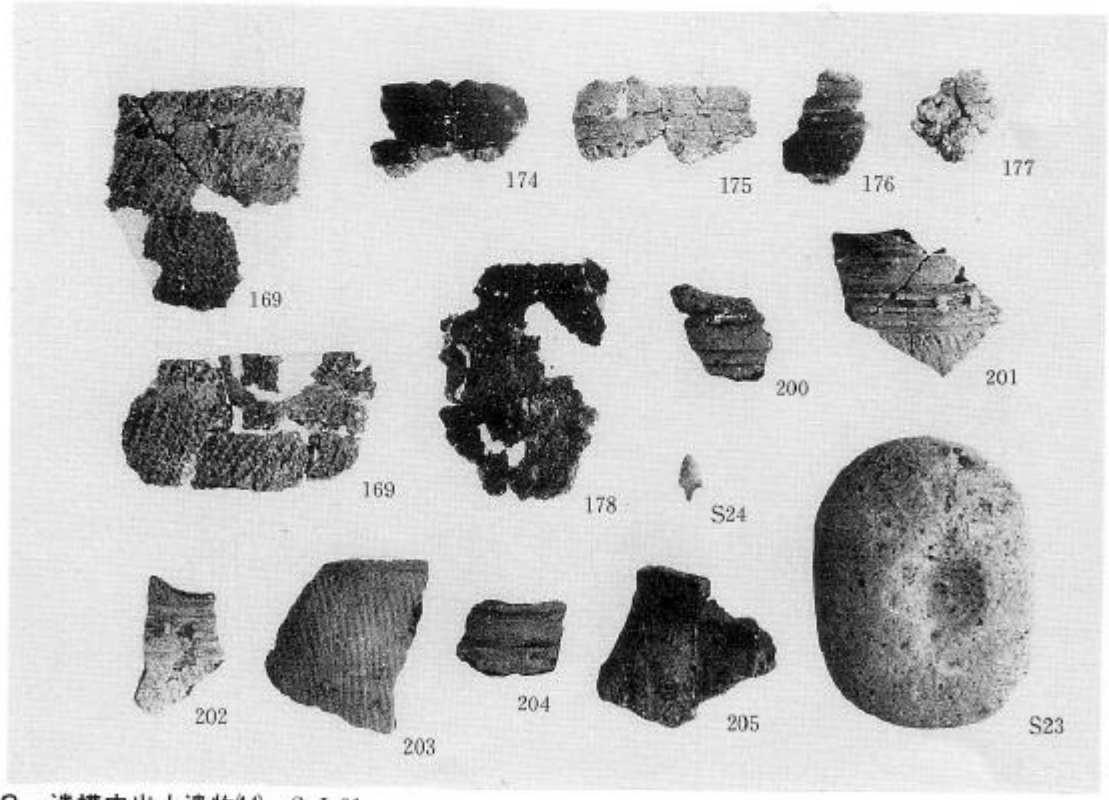
1　遺構内出土遺物(11)　S I 28・33・34



2　遺構内出土遺物(12)　S I 34

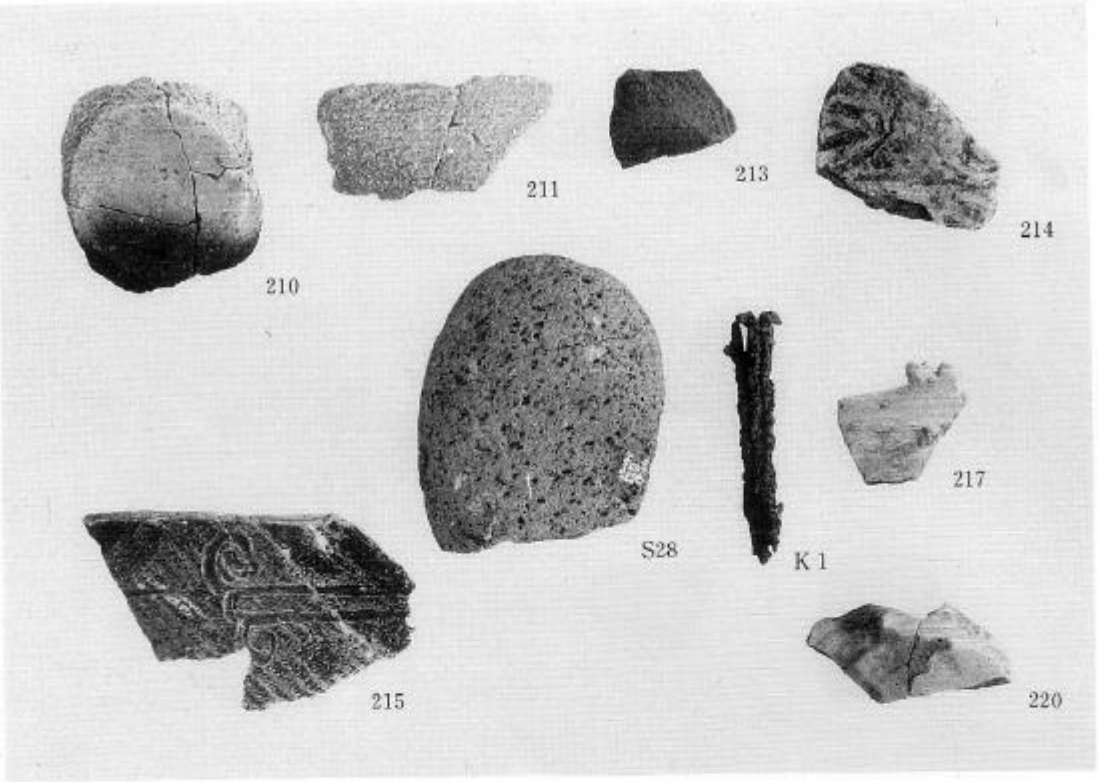


1　遺構内出土遺物(13)　ＳＩ60

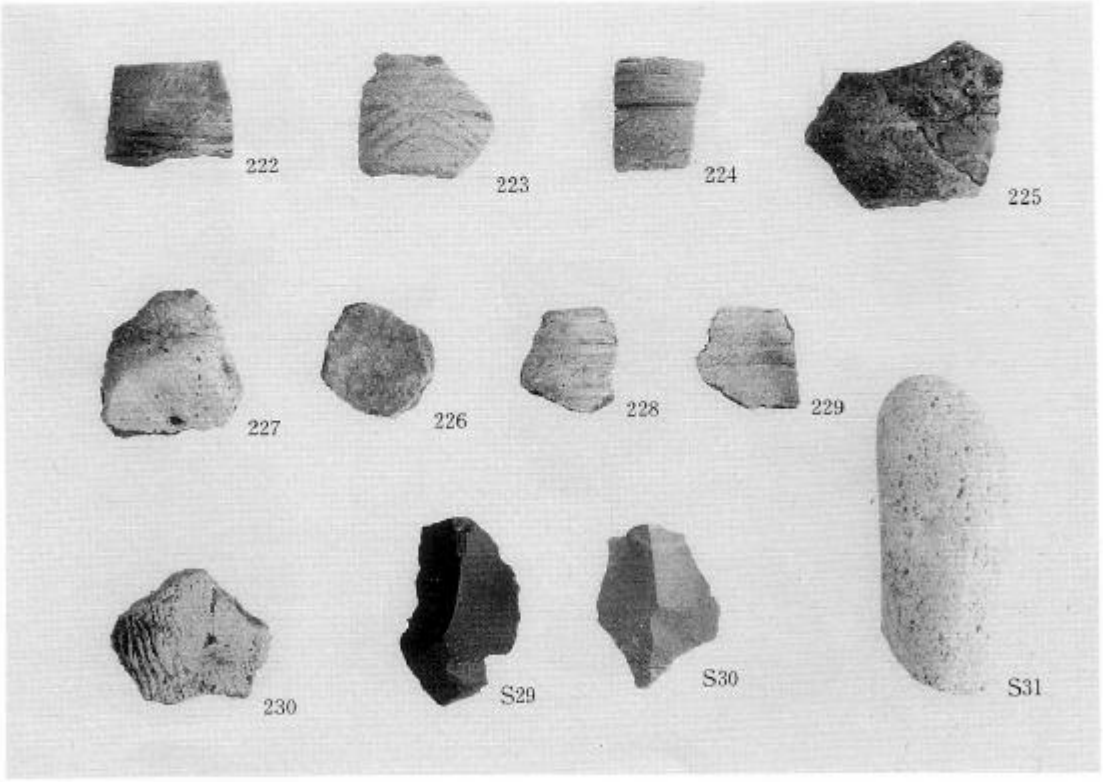


2　遺構内出土遺物(14)　ＳＩ61

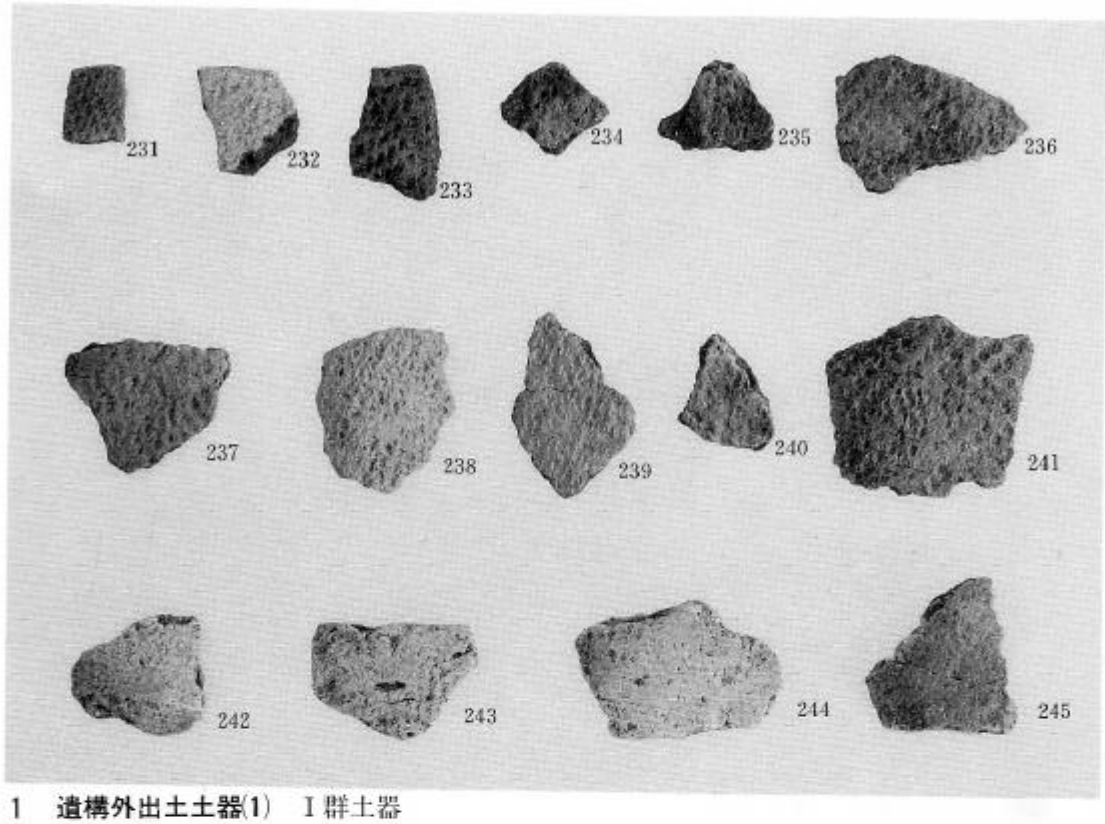
図版36



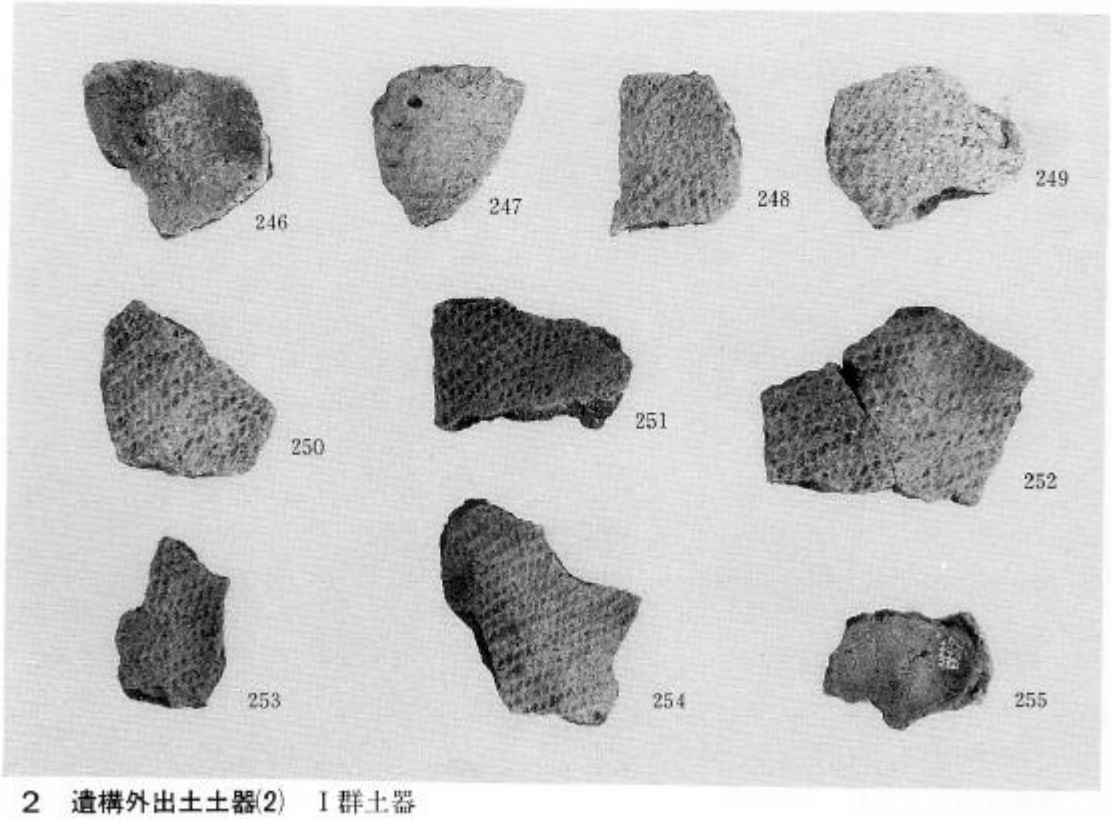
1　遺構内出土遺物(15)　SN52・56　SQ49・50　SI18・32



2　遺構内出土遺物(16)　SI32　SX51

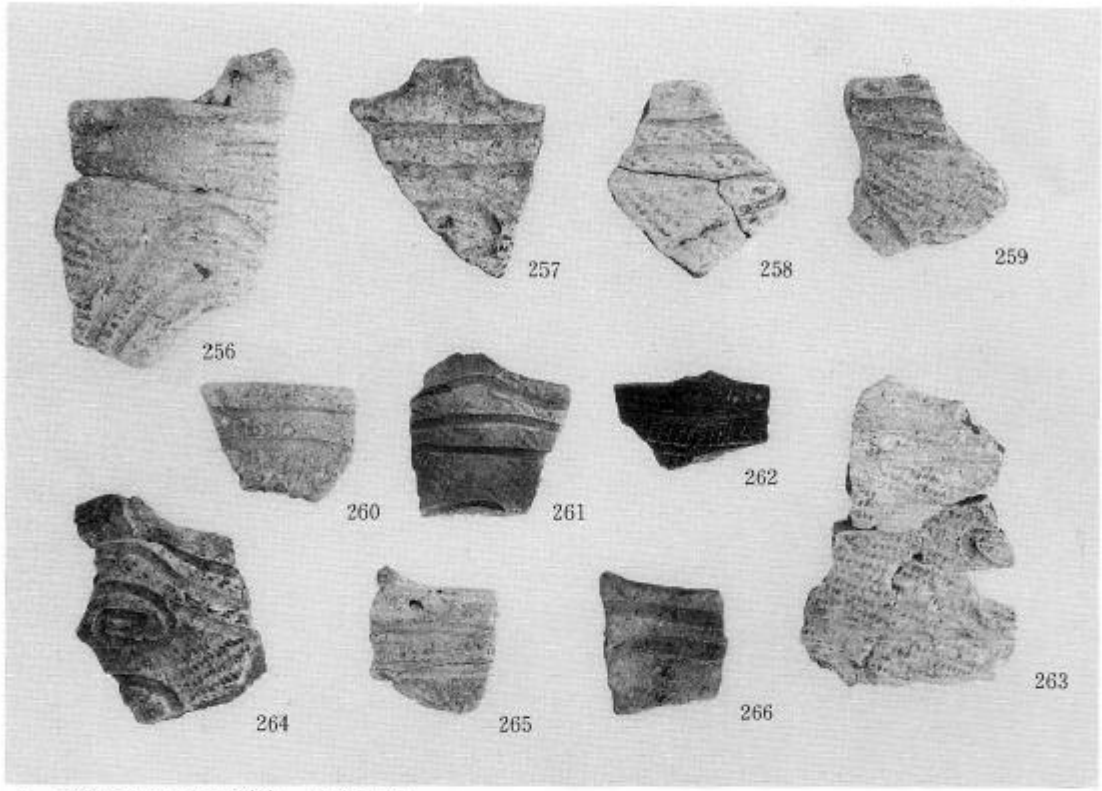


1　遺構外出土土器(1)　Ⅰ群土器

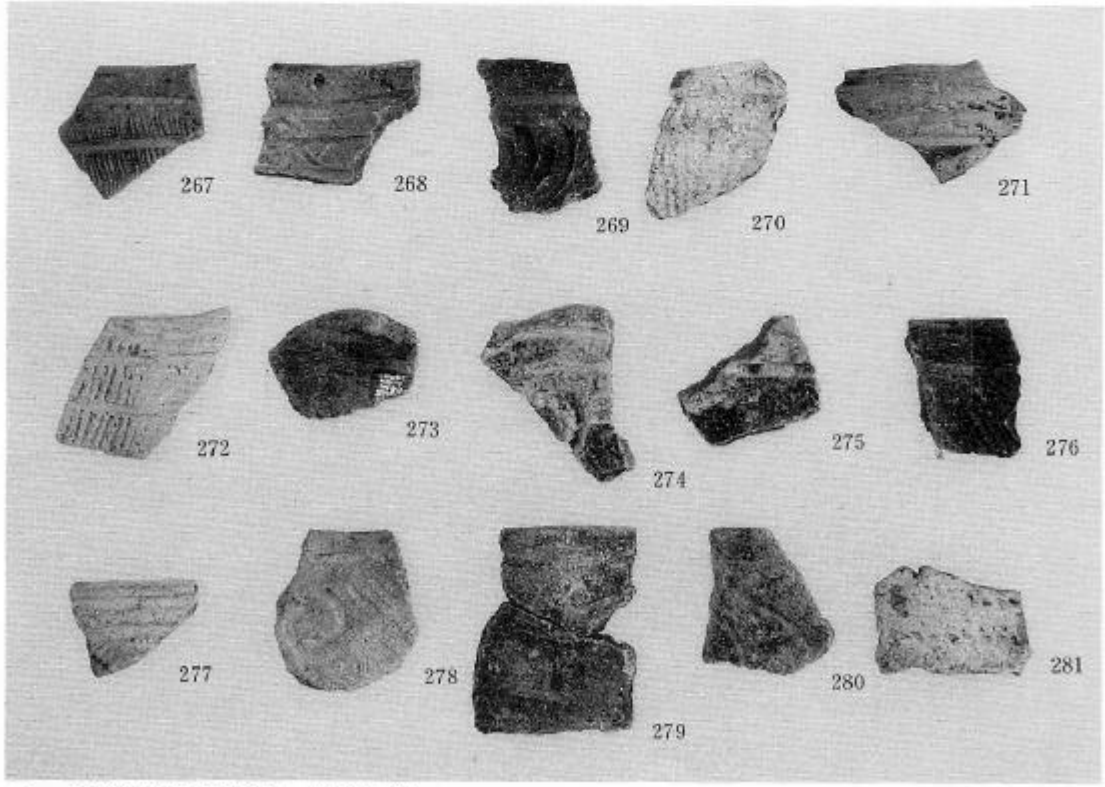


2　遺構外出土土器(2)　Ⅰ群土器

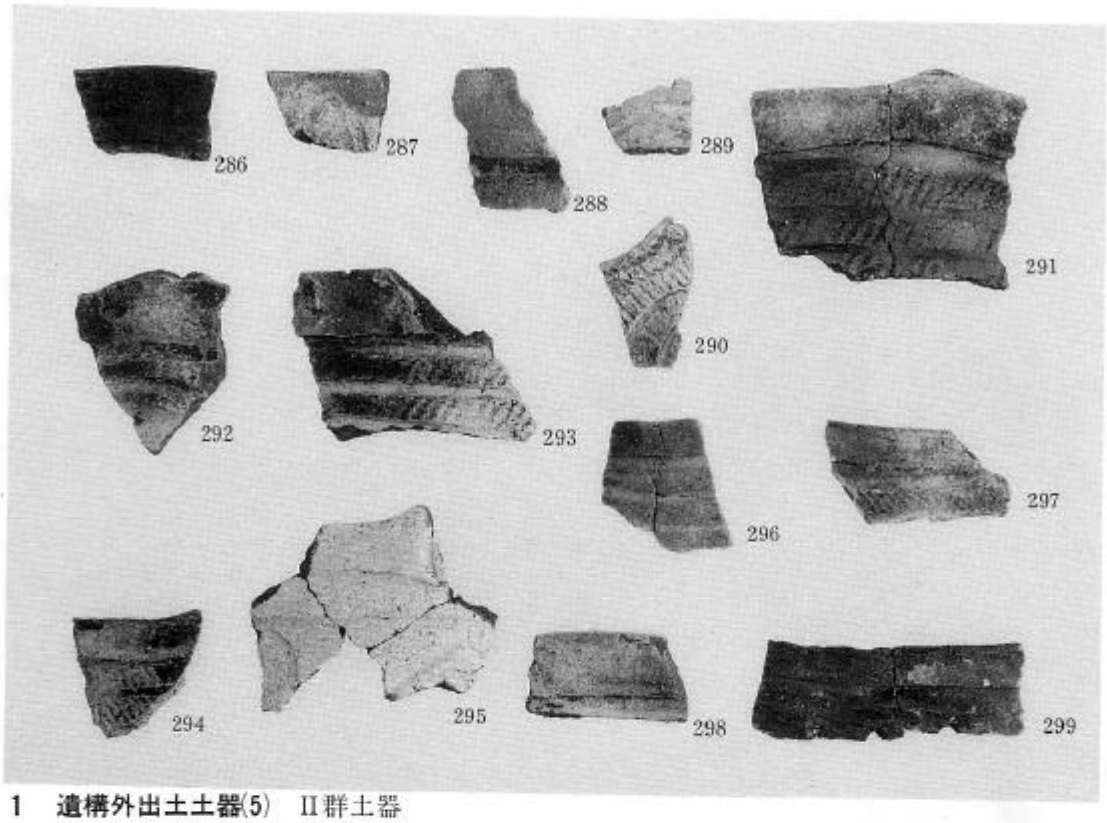
図版38



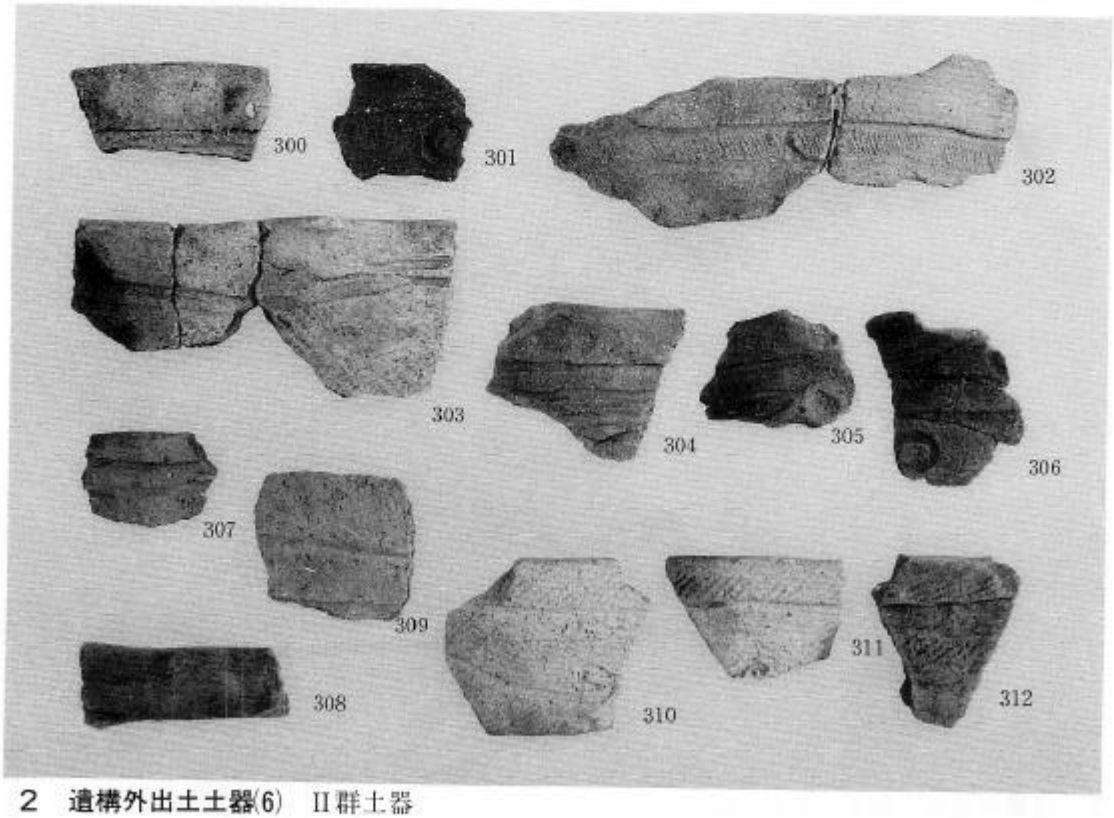
1　遺構外出土土器(3)　II群土器



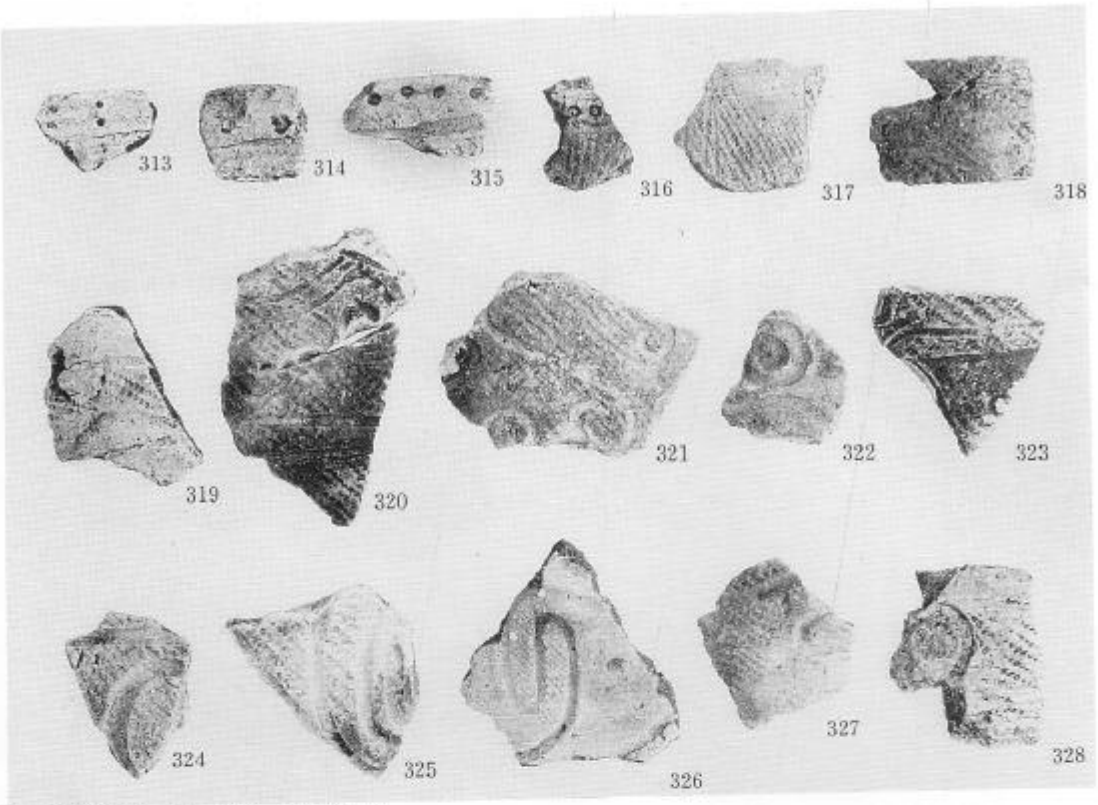
2　遺構外出土土器(4)　II群土器



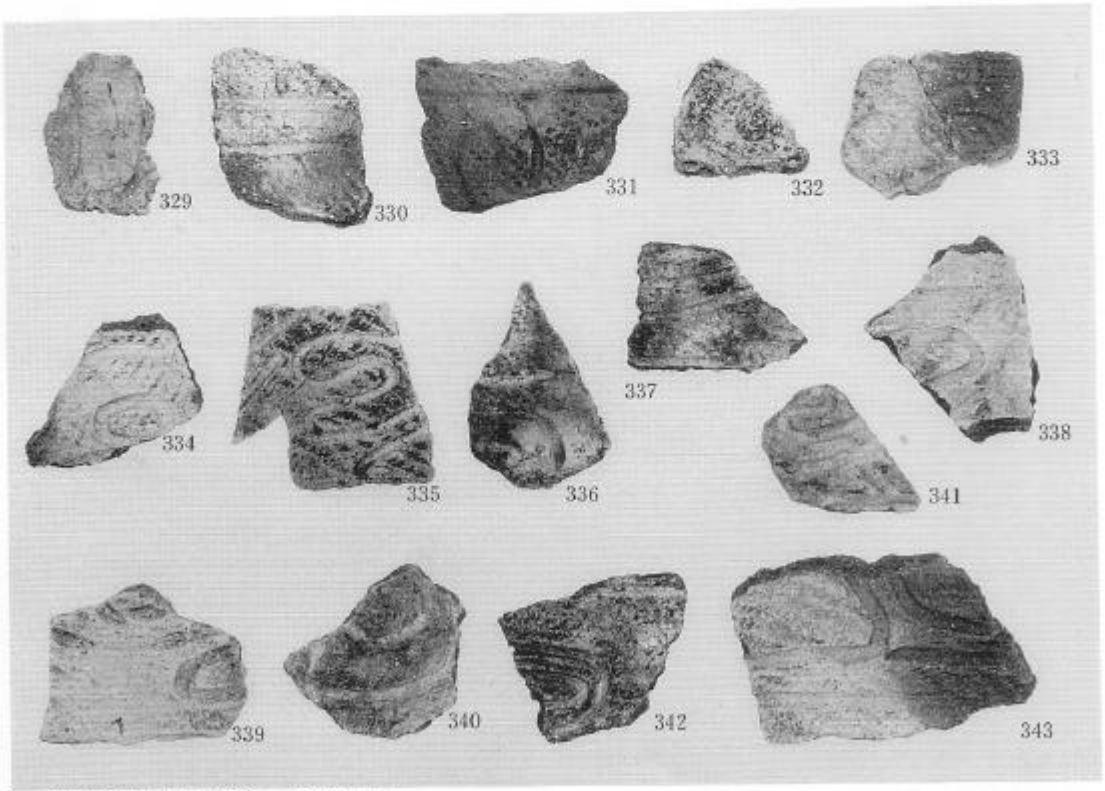
1　遺構外出土土器(5)　II群土器



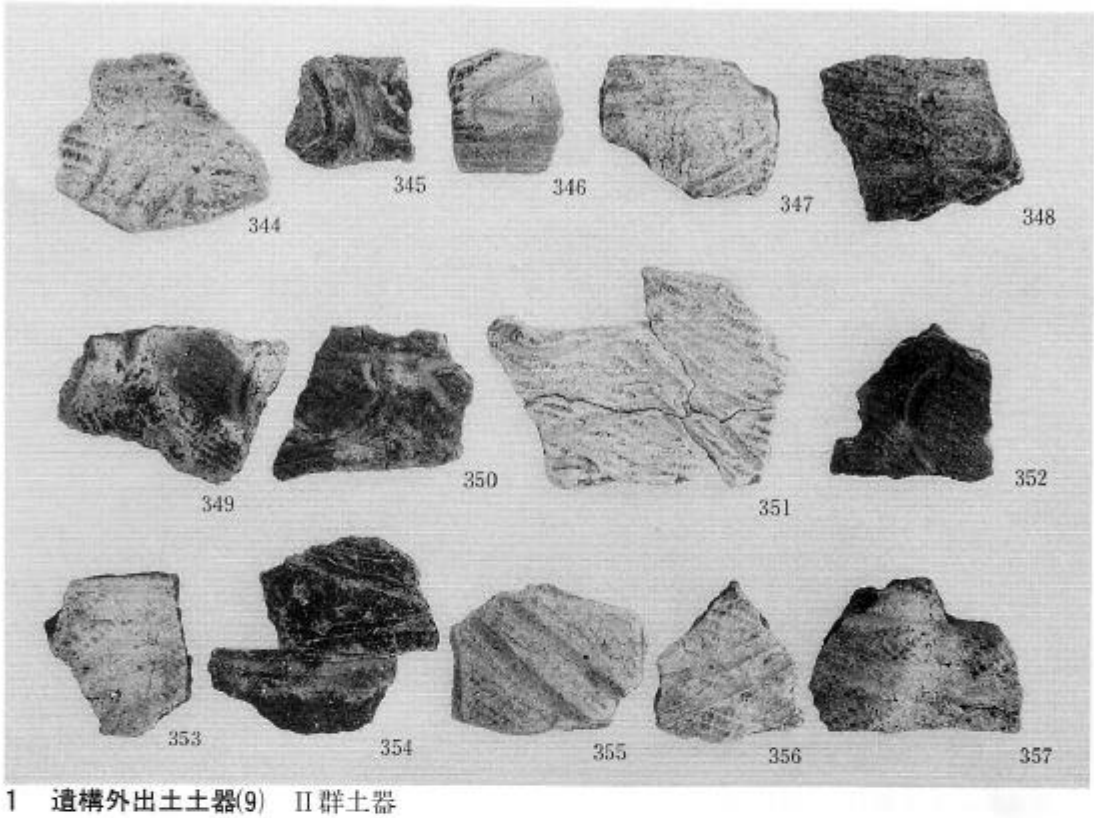
2　遺構外出土土器(6)　II群土器



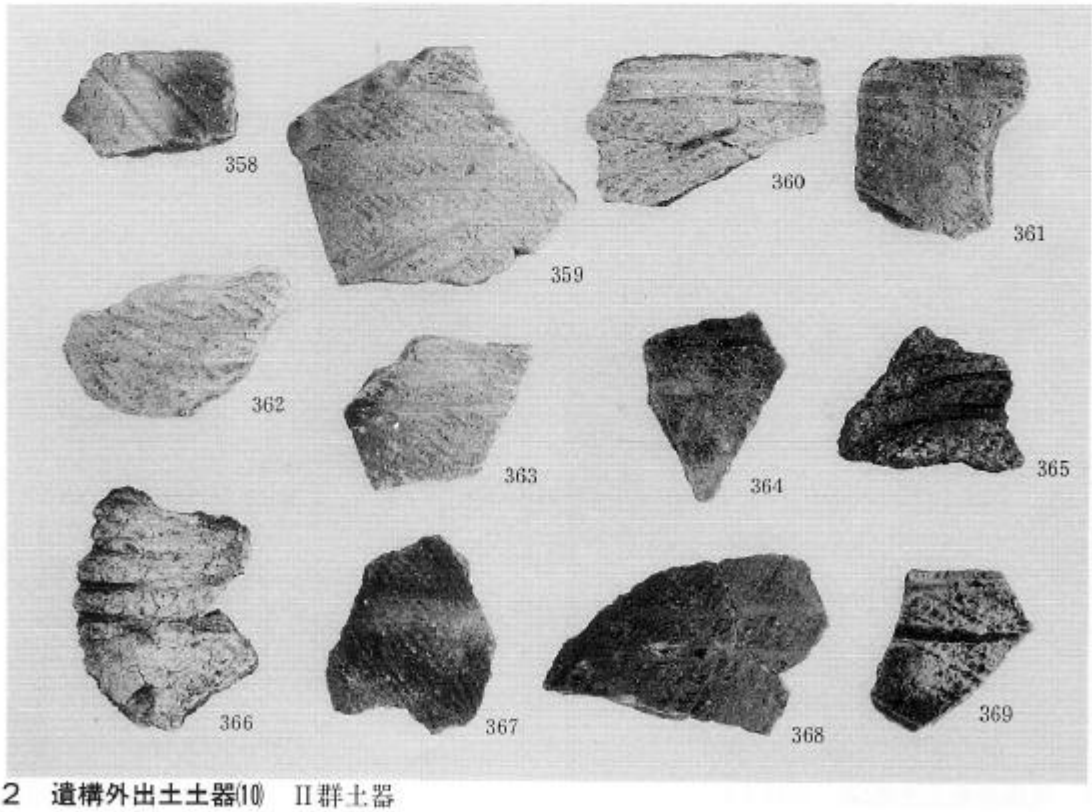
1　遺構外出土土器(7)　II群土器



2　遺構外出土土器(8)　II群土器

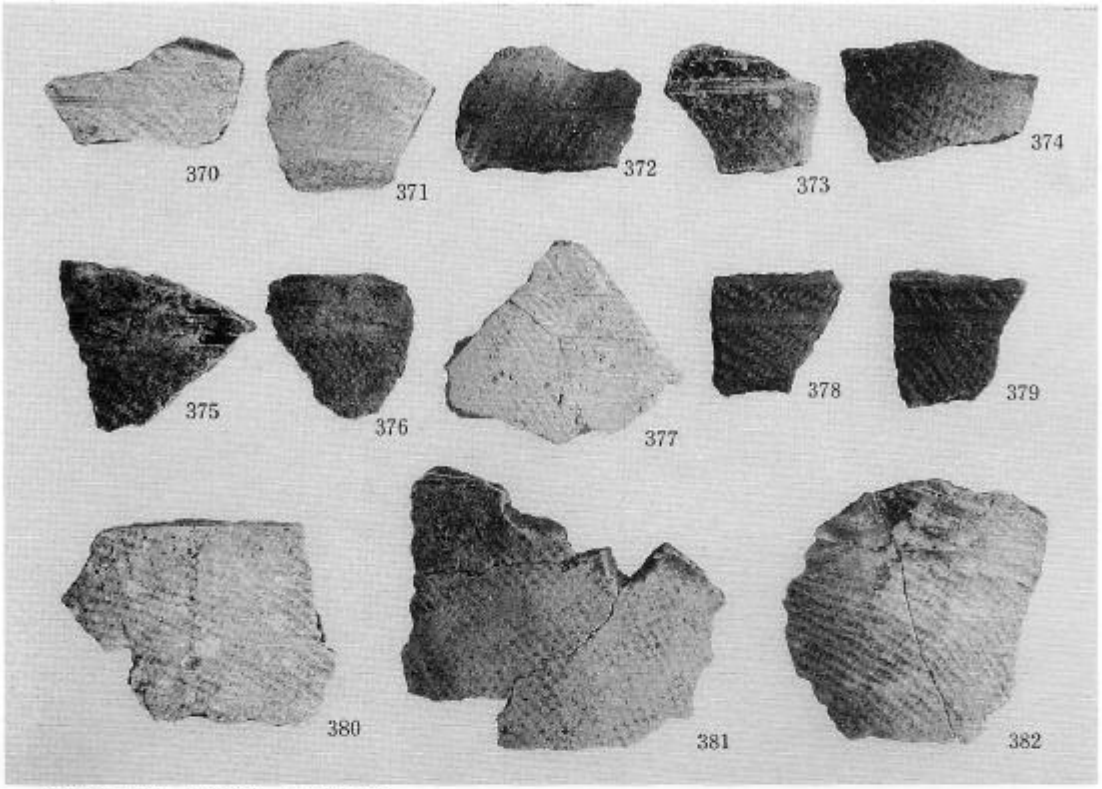


1　遺構外出土土器(9)　II群土器

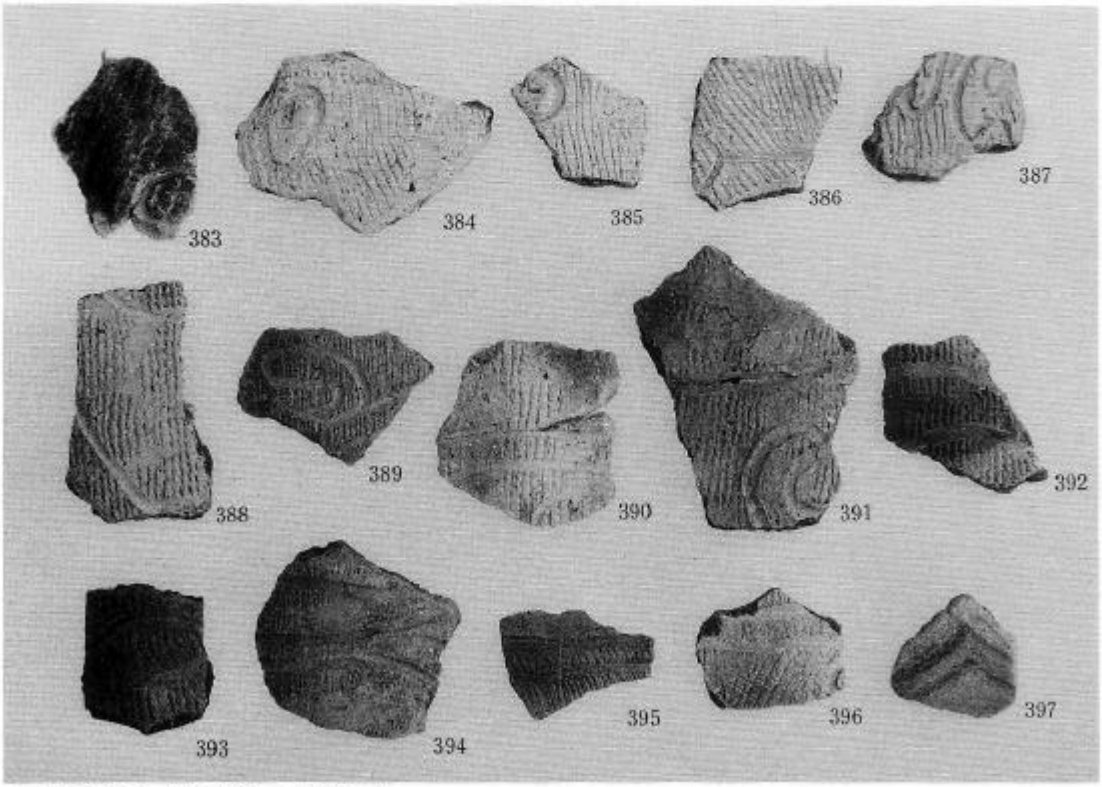


2　遺構外出土土器(10)　II群土器

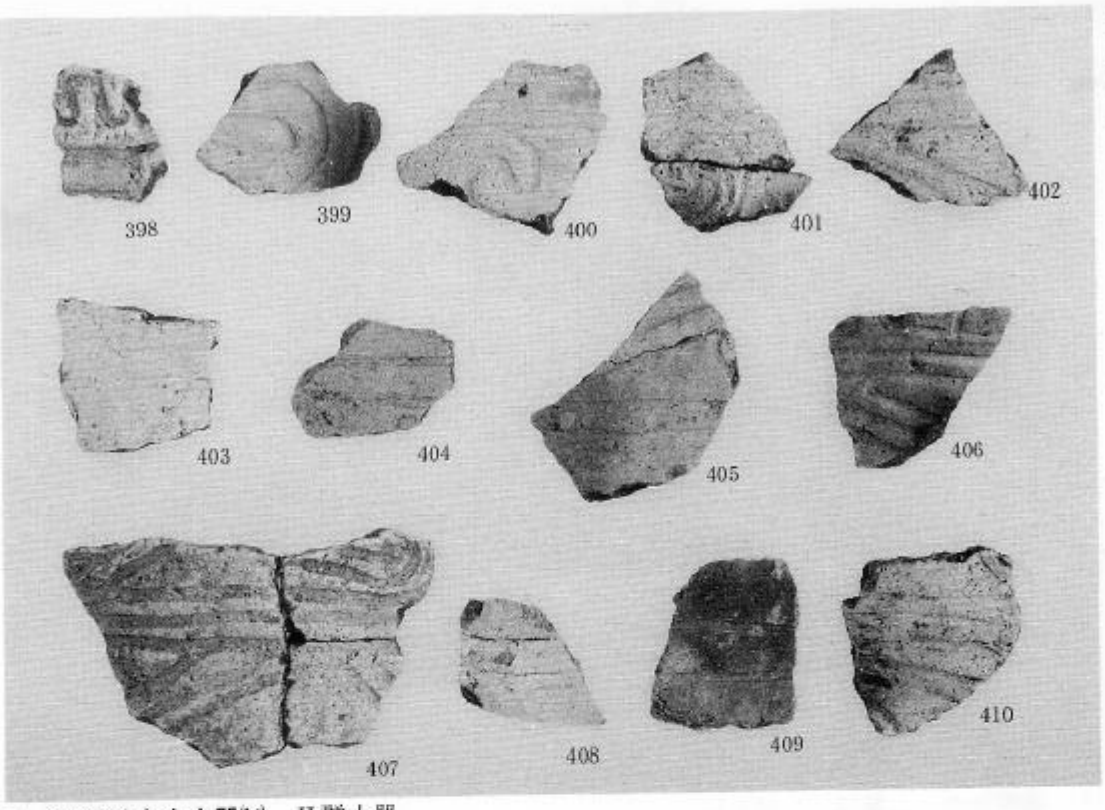
図版42



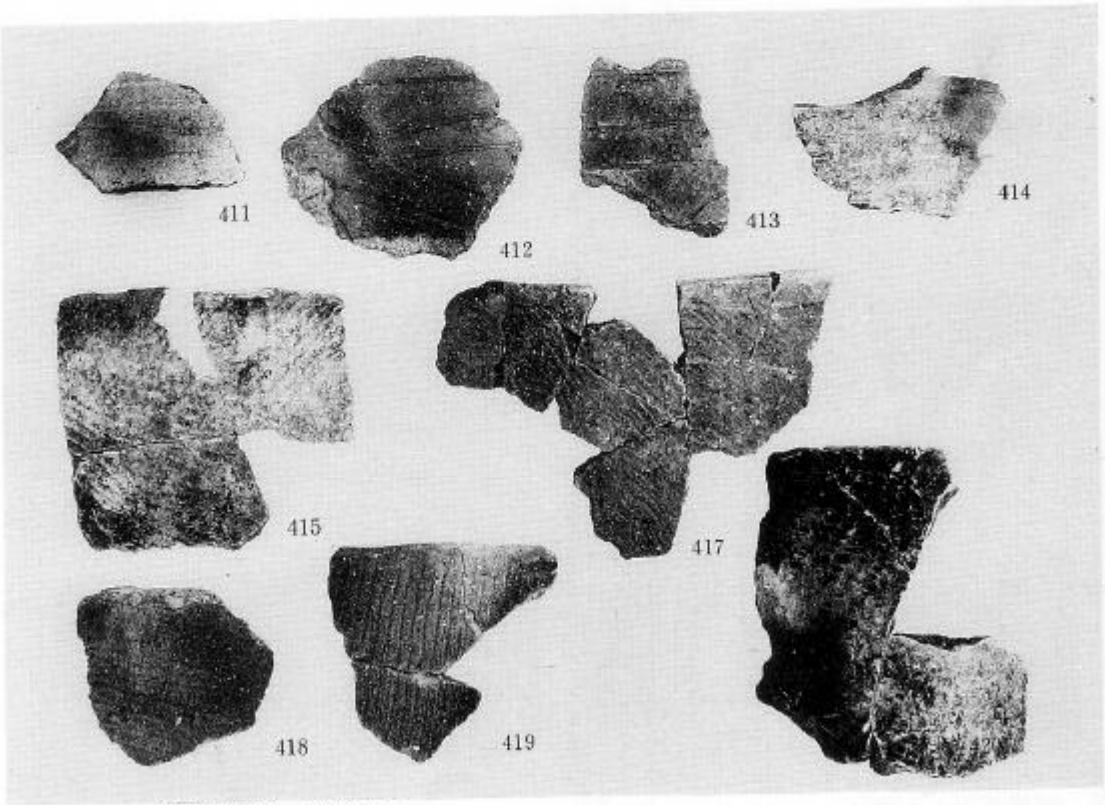
1　遺構外出土土器(1)　II群土器



2　遺構外出土土器(2)　II群土器

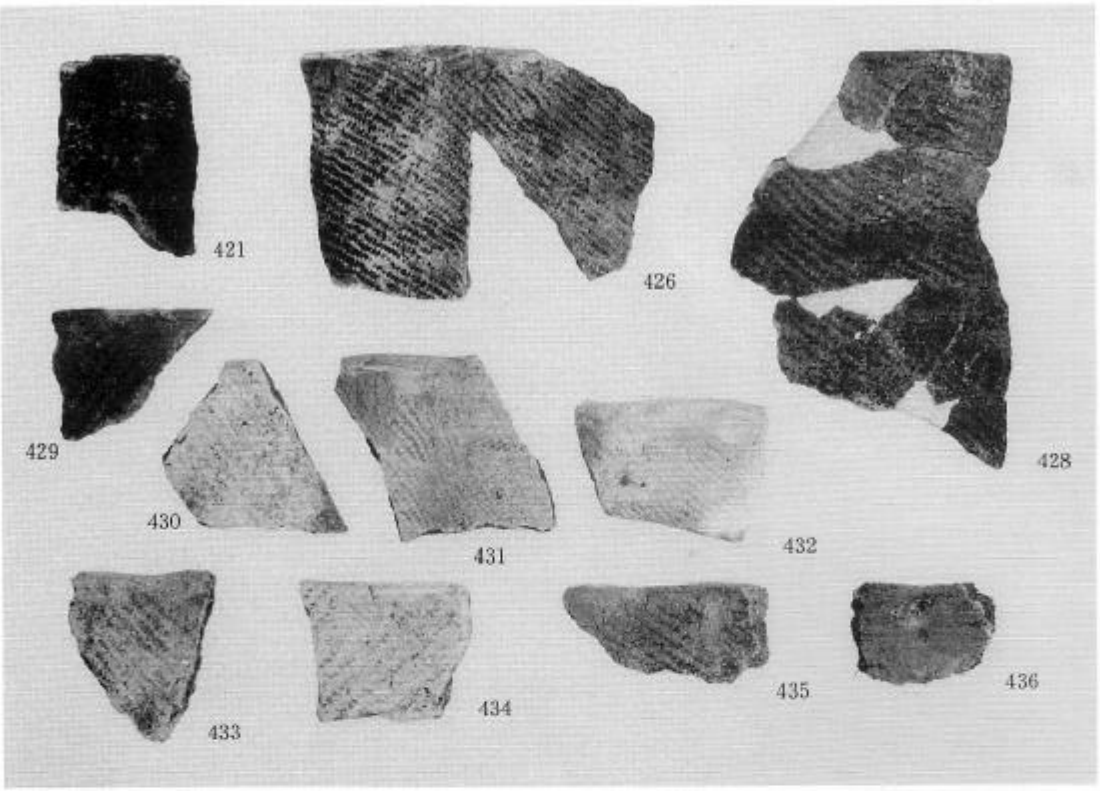


1　遺構外出土土器(13)　II群土器

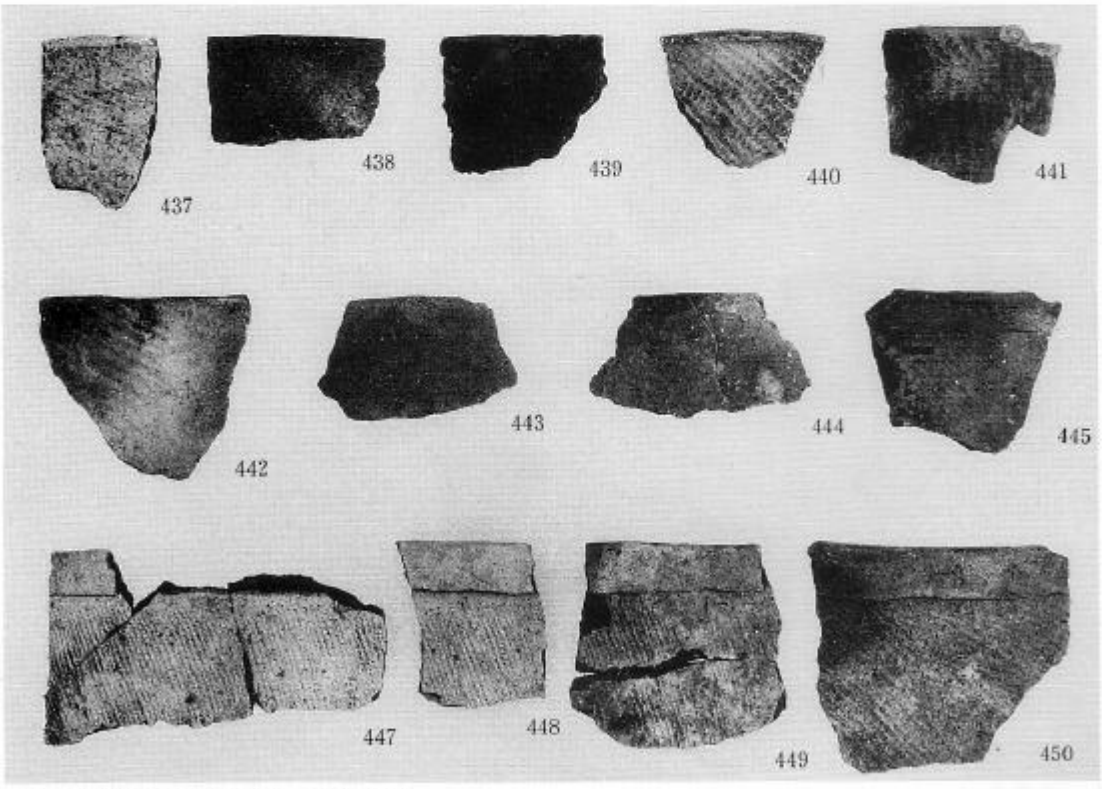


2　遺構外出土土器(14)　II群土器

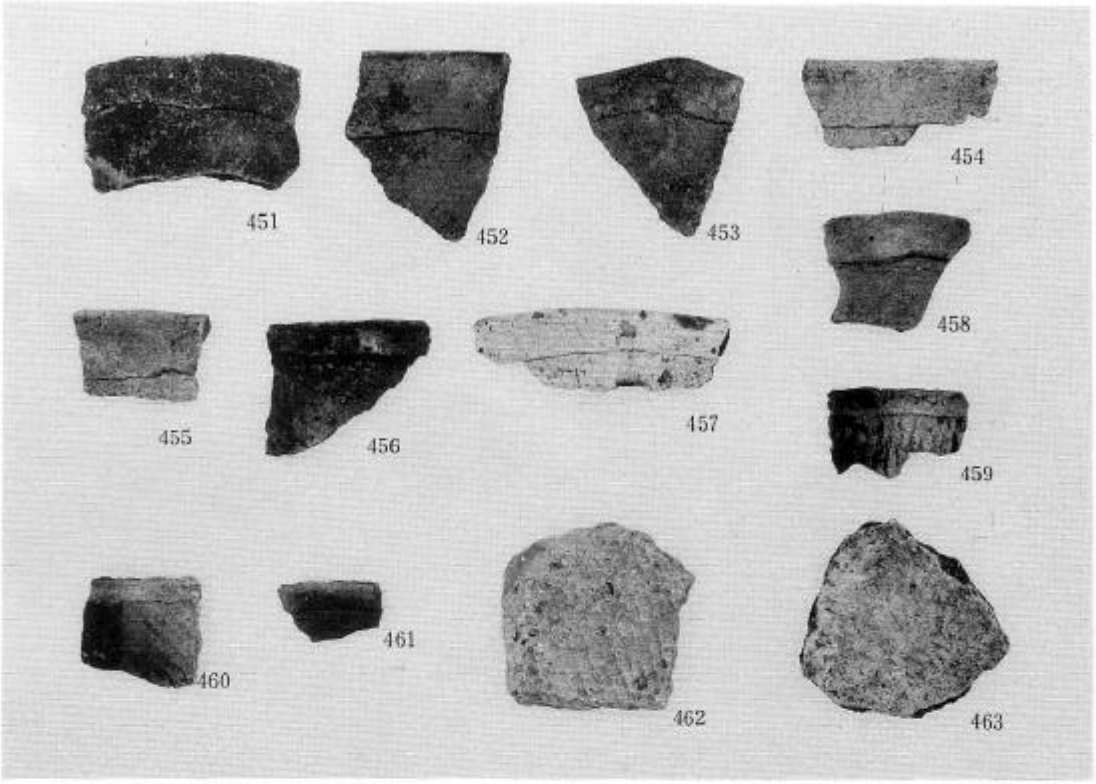
図版44



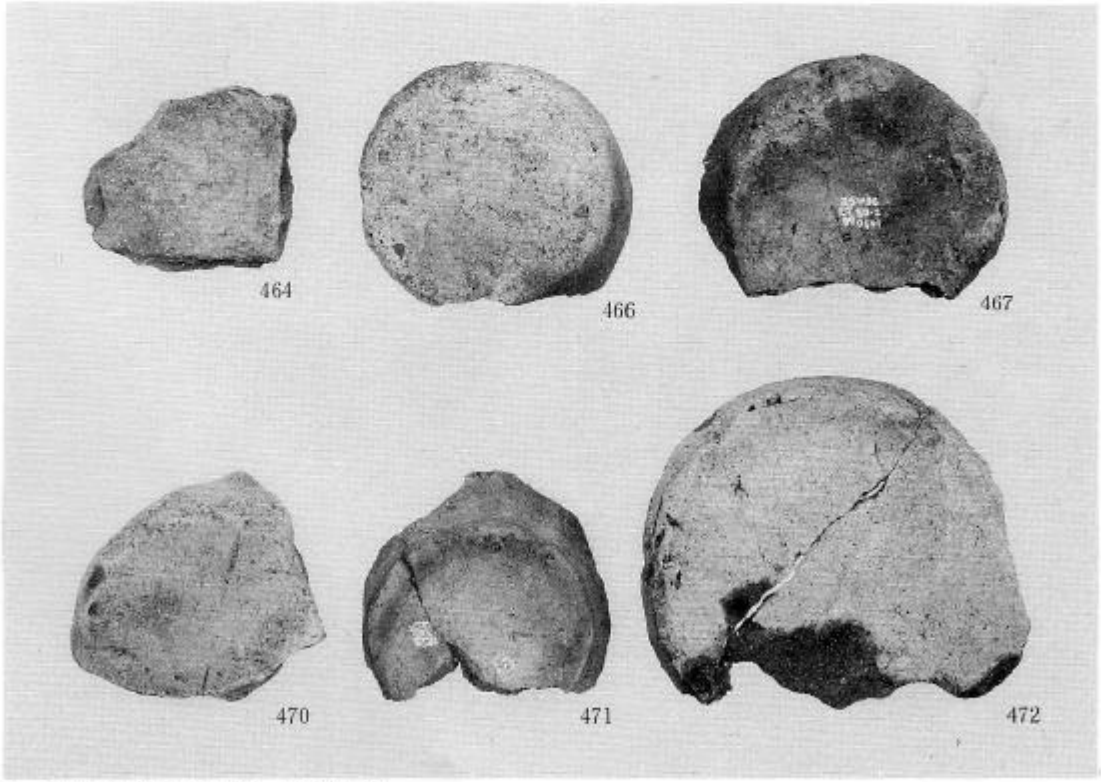
1　遺構外出土土器(15)　II群土器



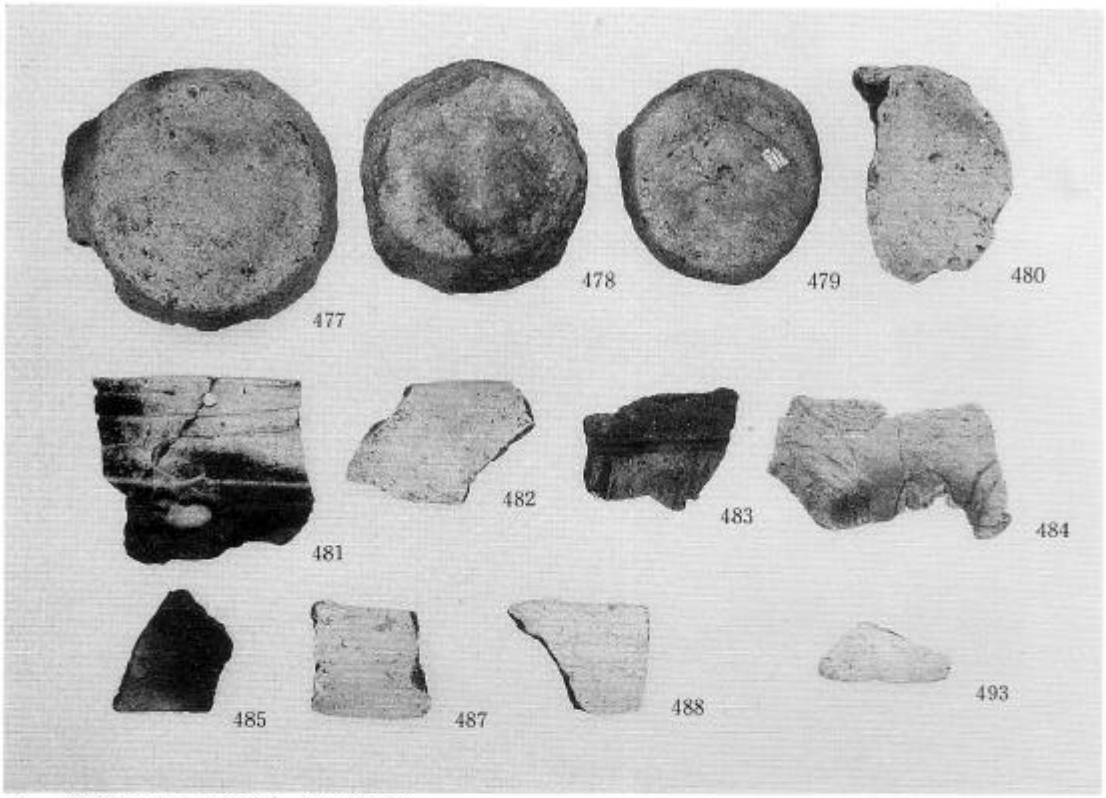
2　遺構外出土土器(16)　II群土器



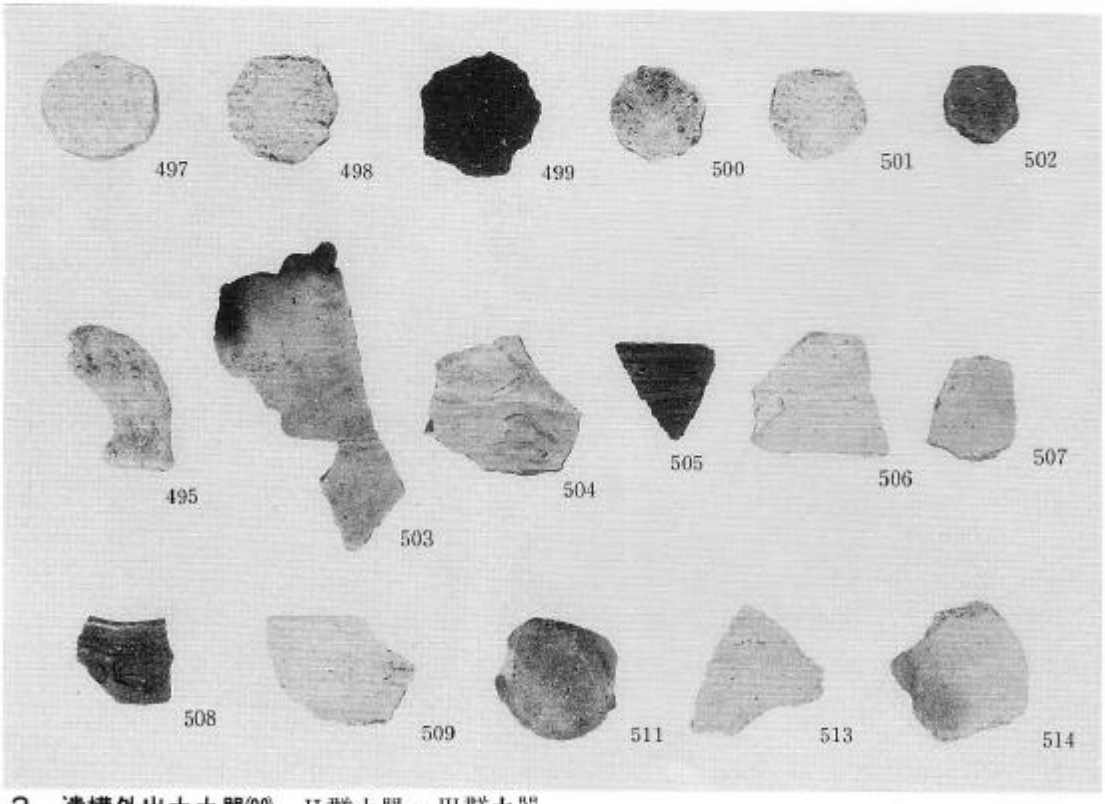
1　遺構外出土土器(17)　II群土器



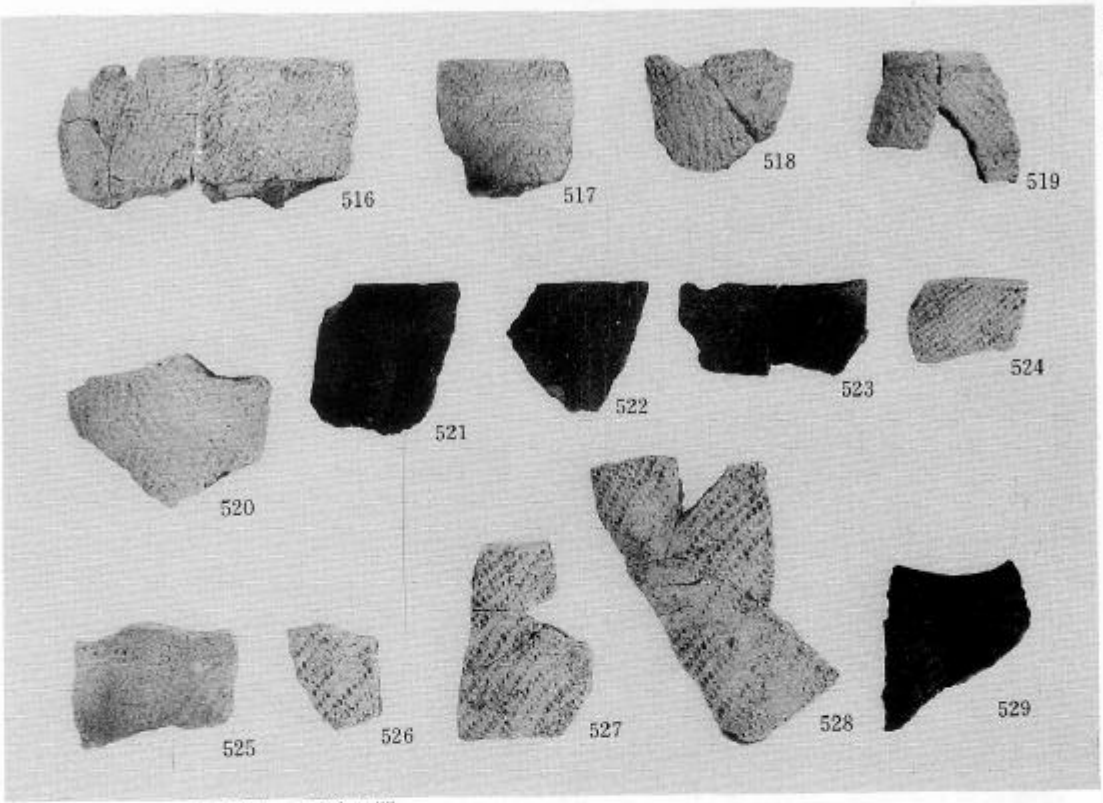
2　遺構外出土土器(18)　II群土器



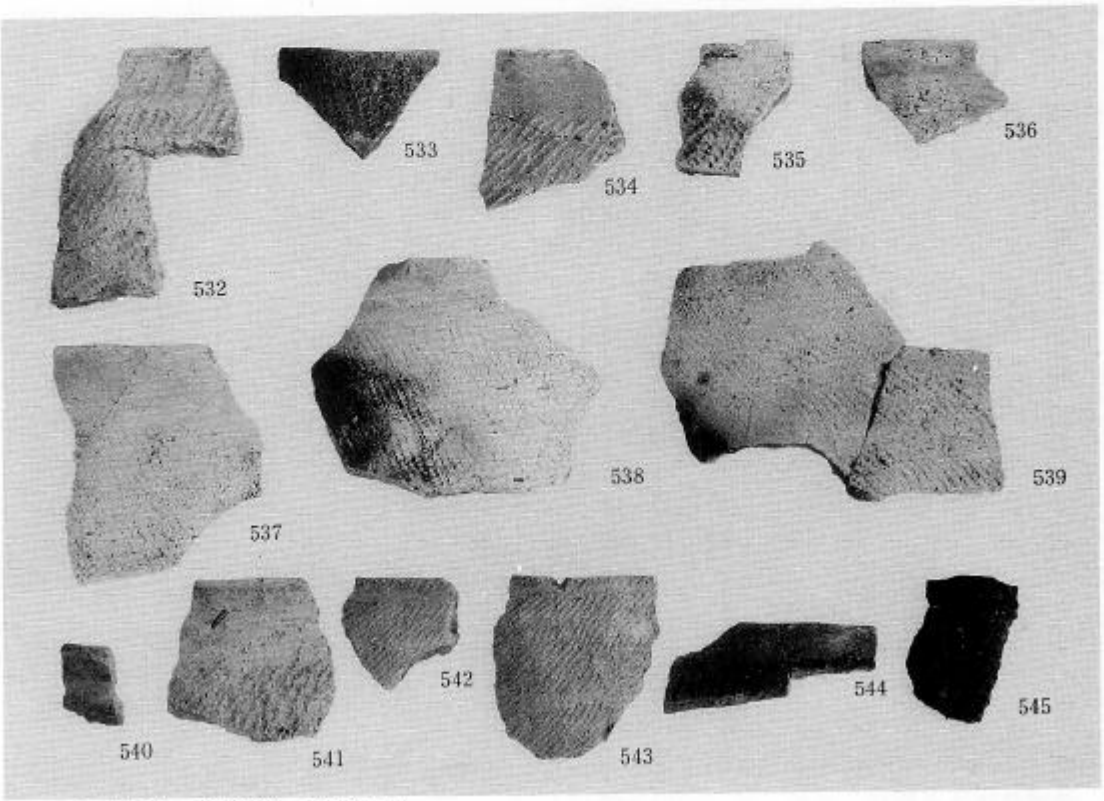
1　遺構外出土土器(19)　II群土器



2　遺構外出土土器(20)　II群土器・III群土器

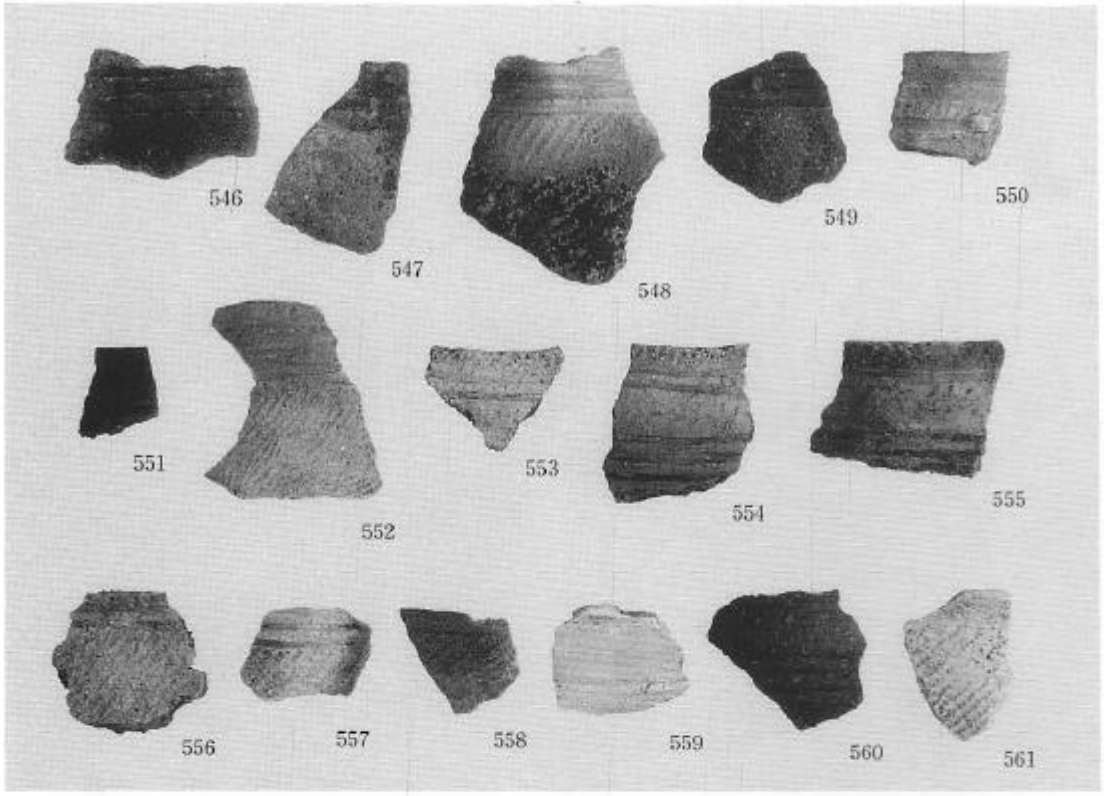


1　遺構外出土土器(21)　Ⅳ群土器

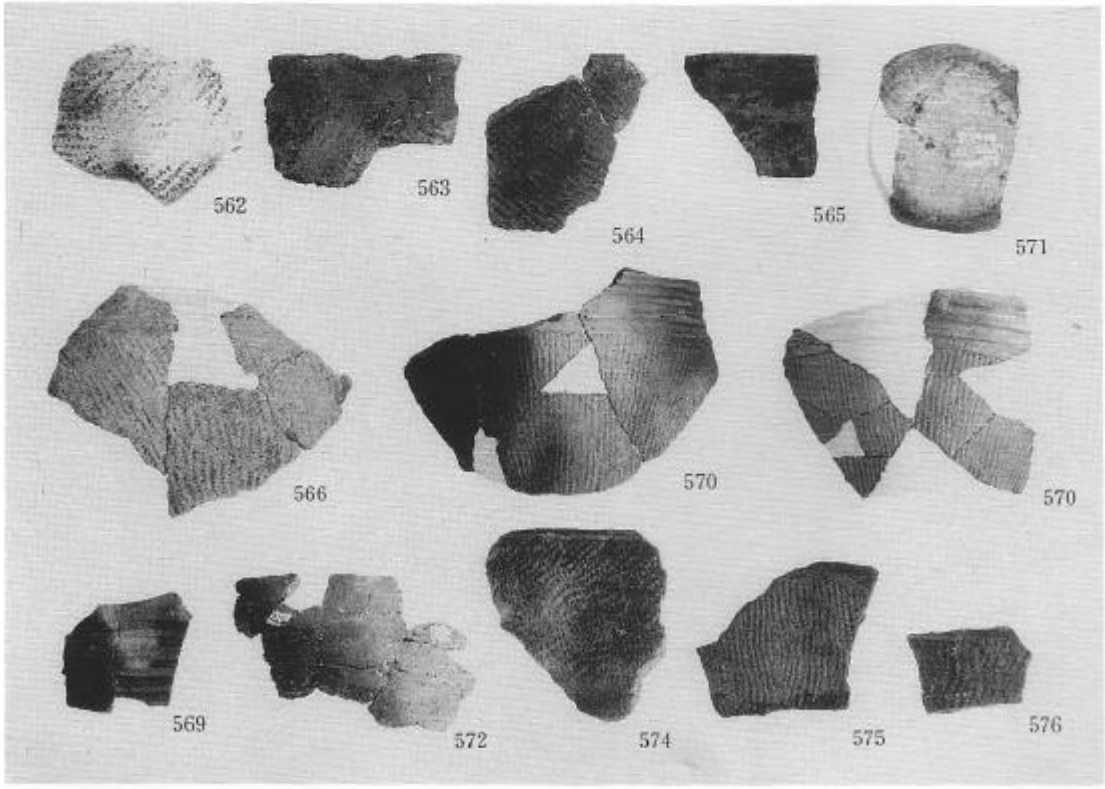


2　遺構外出土土器(22)　Ⅳ群土器

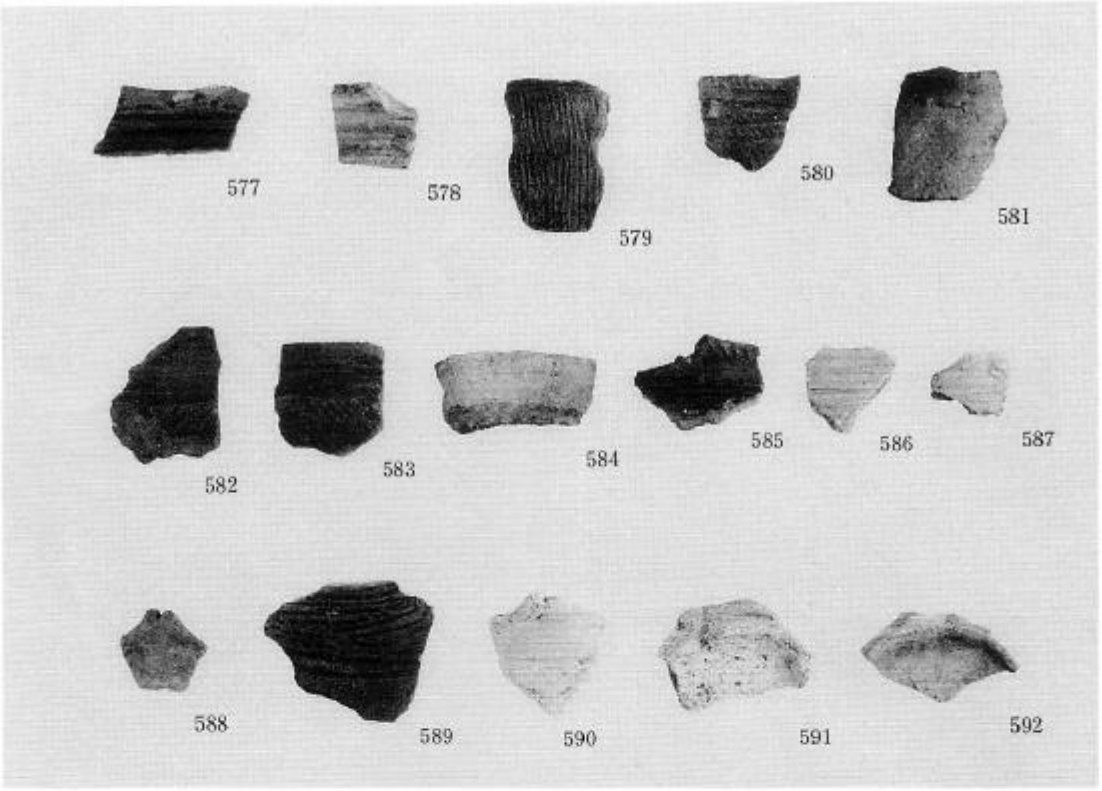
図版48



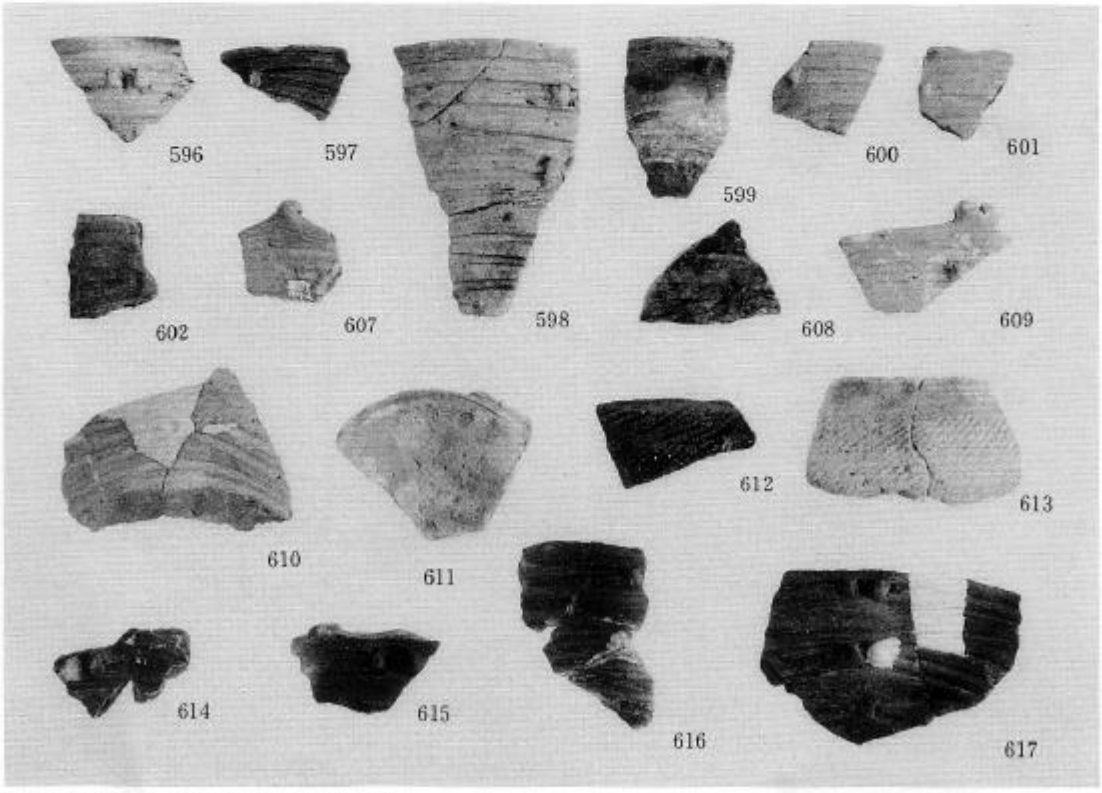
1　遺構外出土土器(23)　Ⅳ群土器



2　遺構外出土土器(24)　Ⅳ群土器

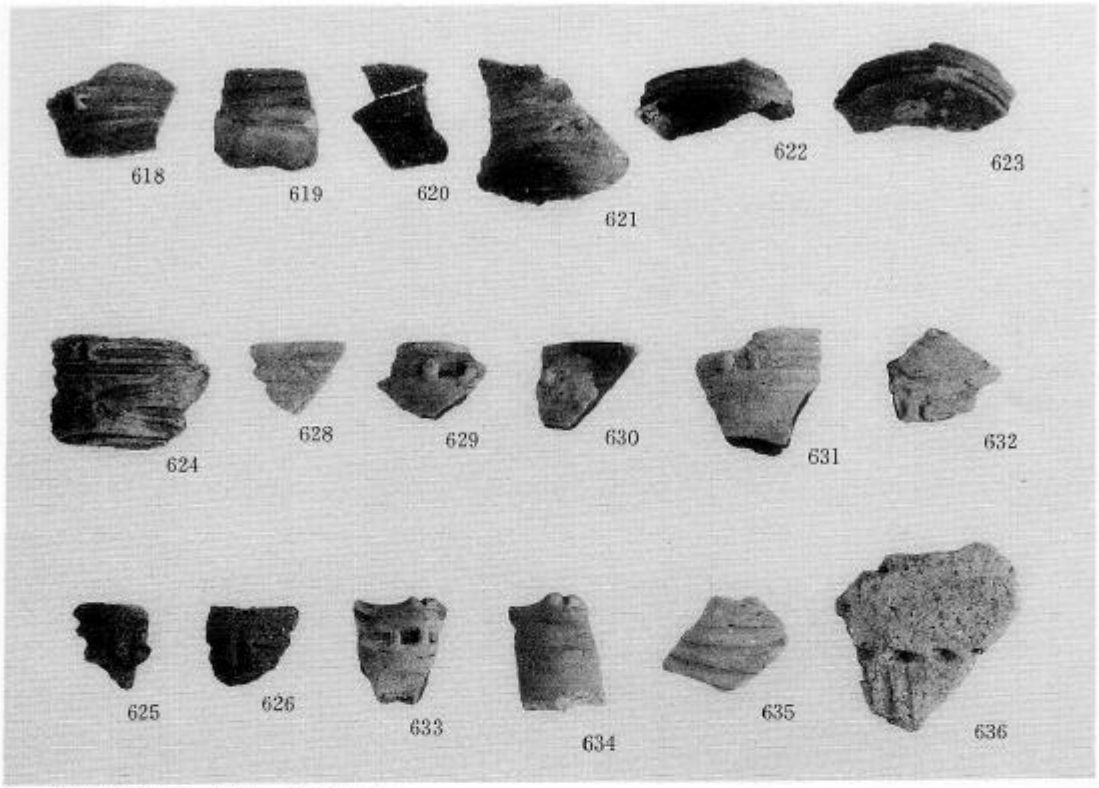


1　遺構外出土土器(25)　Ⅳ群土器

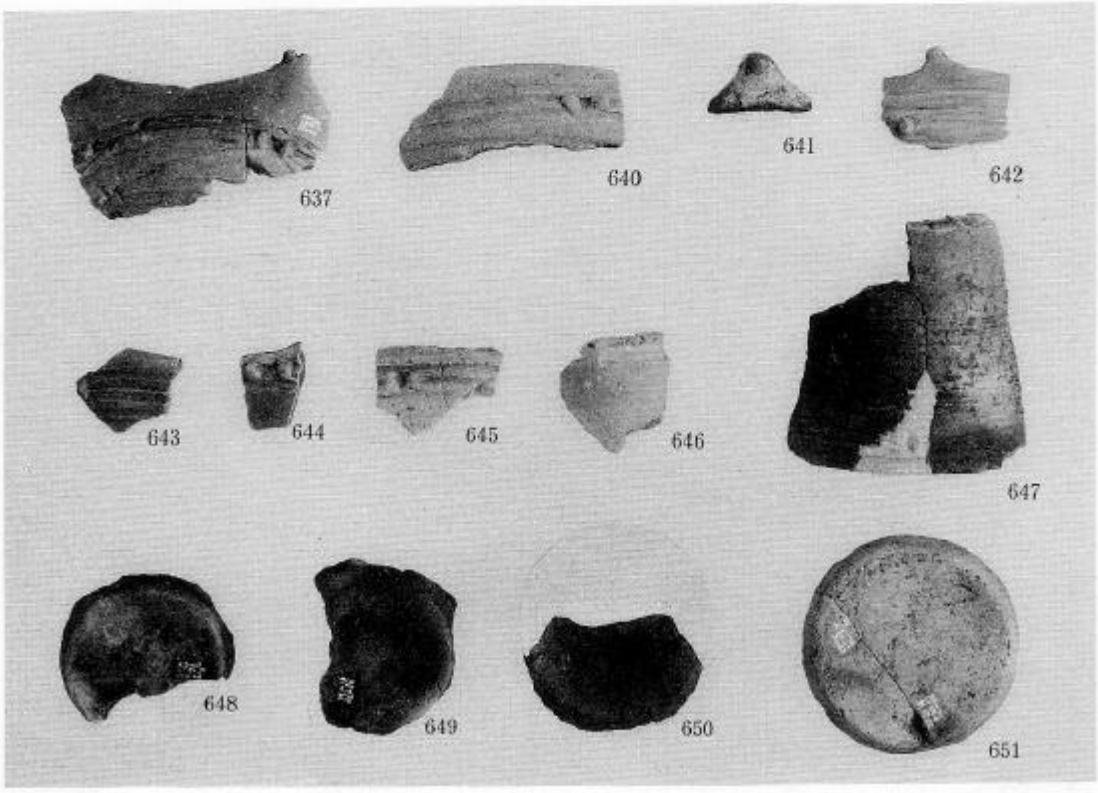


2　遺構外出土土器(26)　Ⅳ群土器

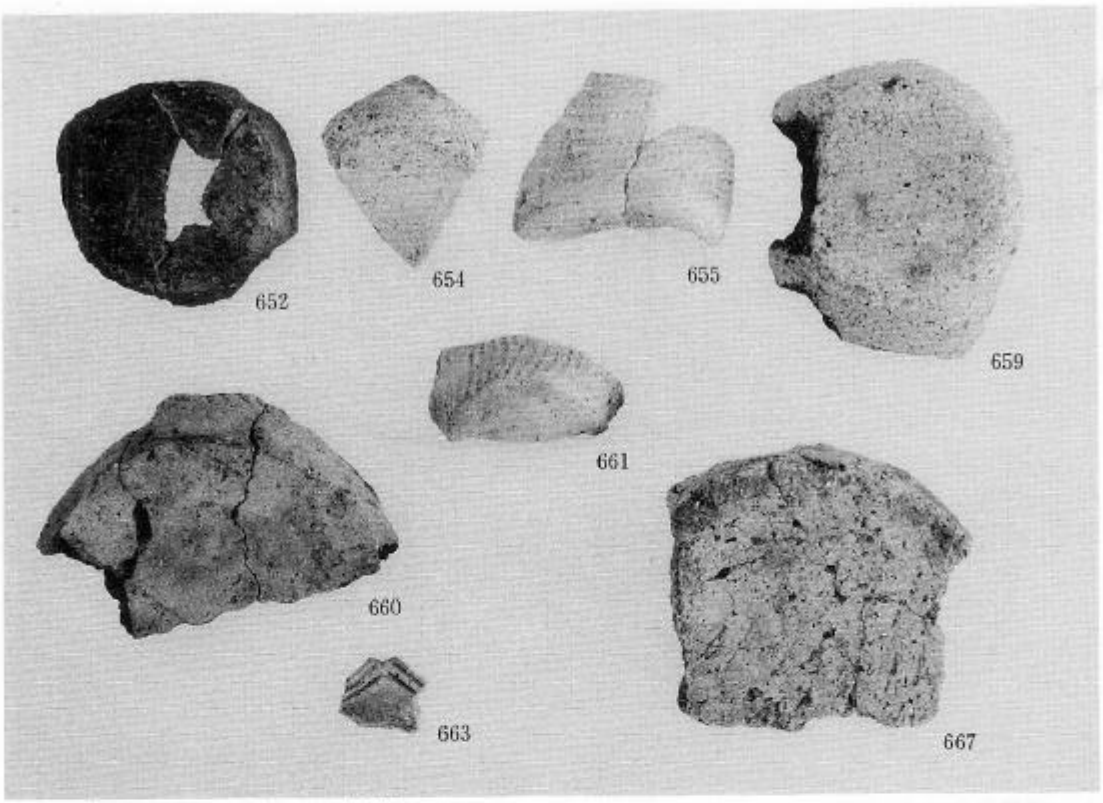
図版50



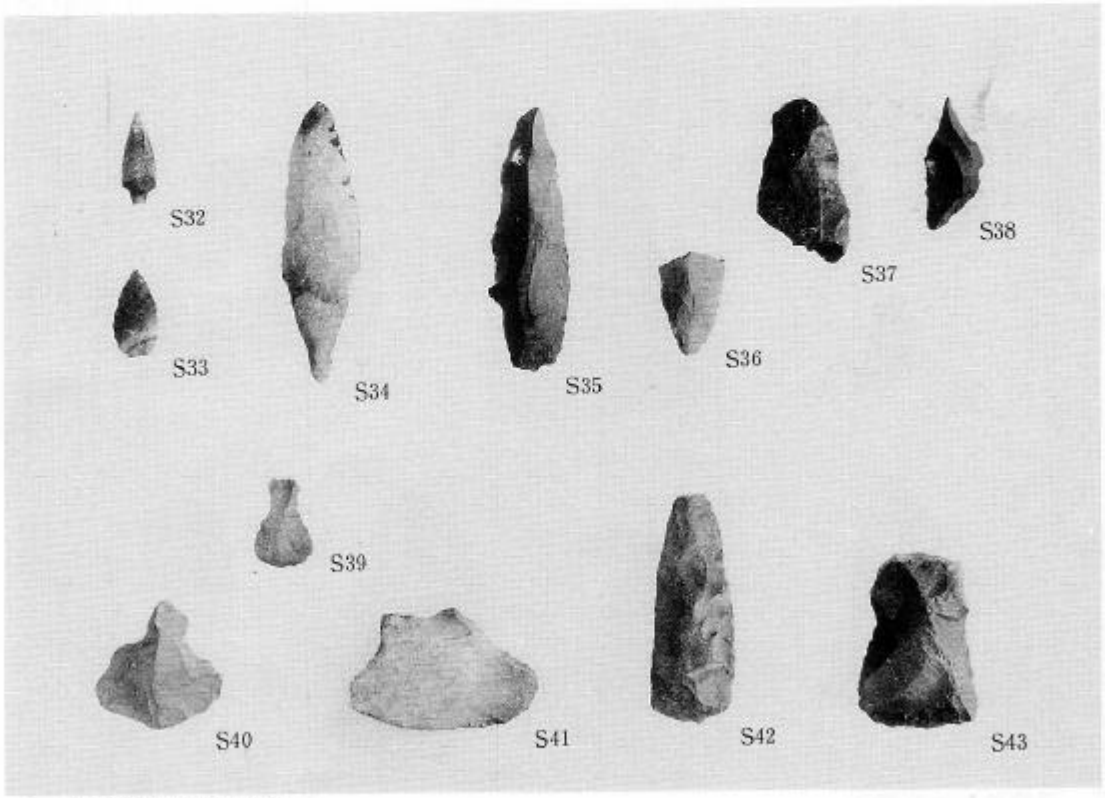
1　遺構外出土土器(27)　Ⅳ群土器



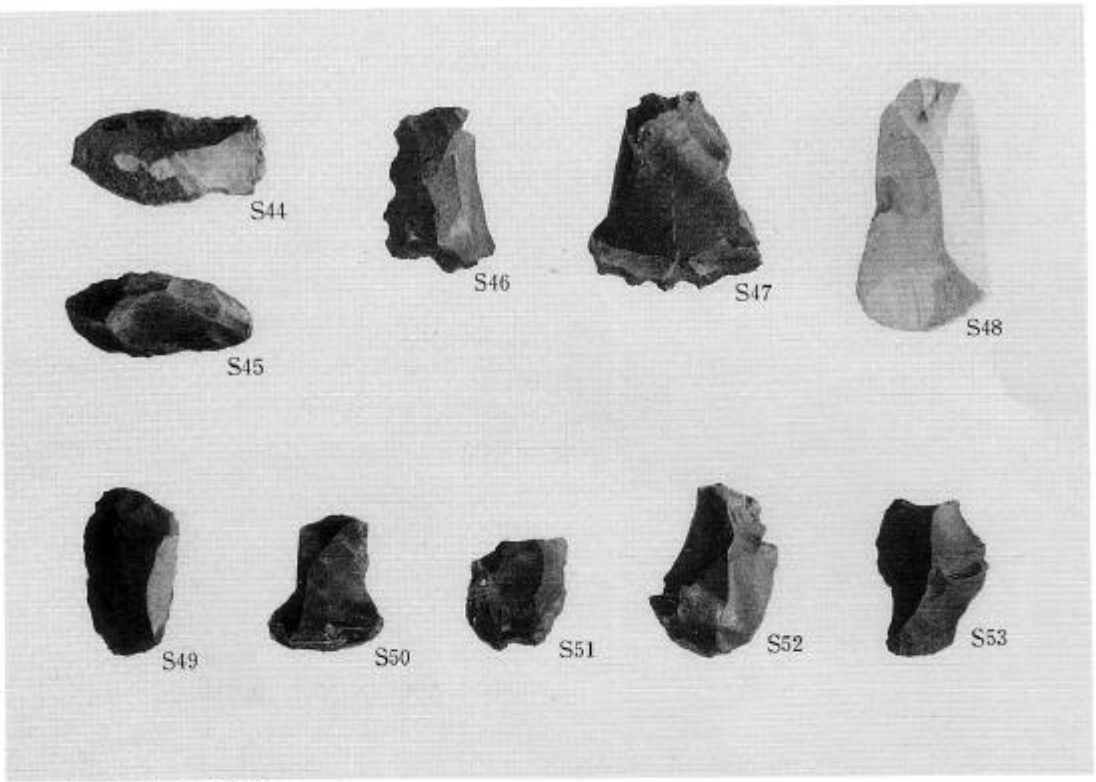
2　遺構外出土土器(28)　Ⅳ群土器



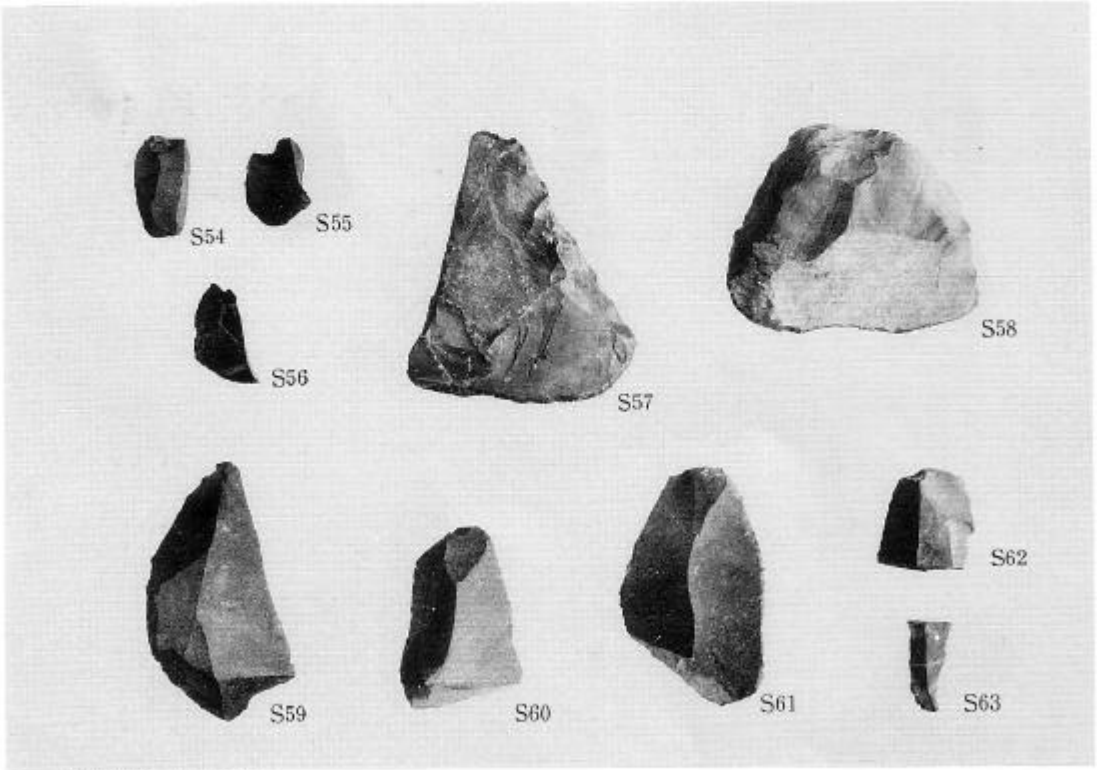
1　遺構外出土土器(29)　Ⅳ群土器



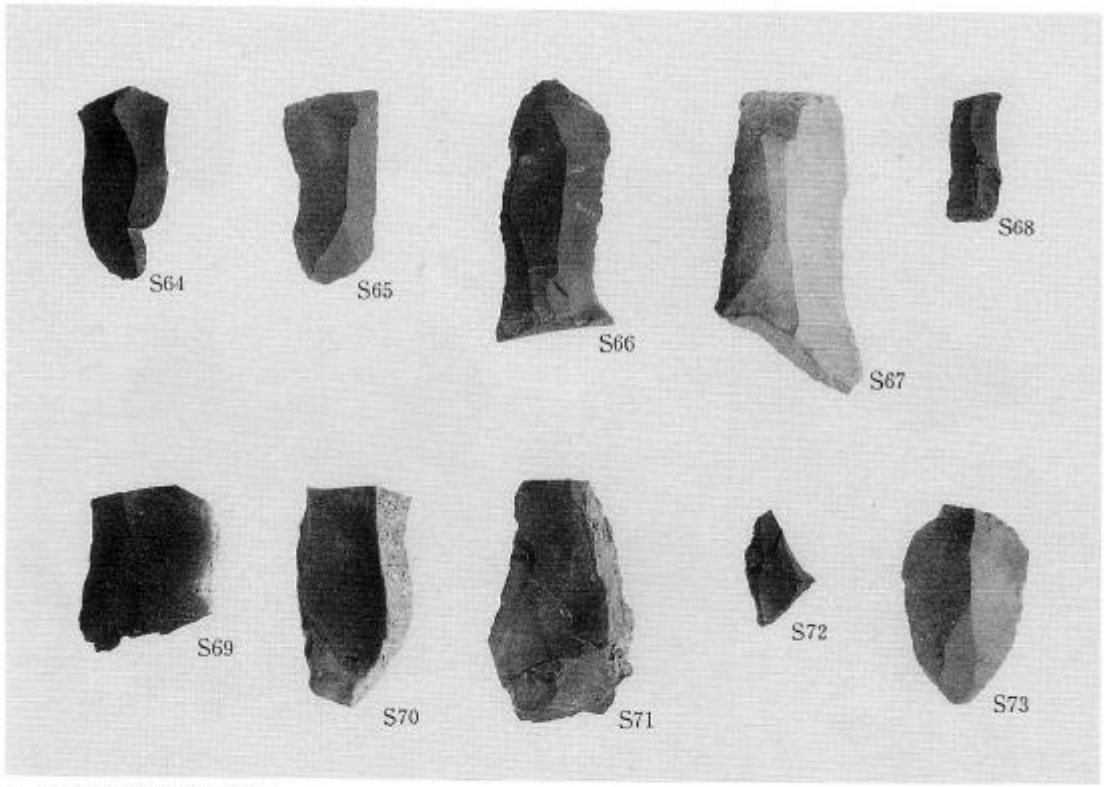
2　遺構外出土石器(1)



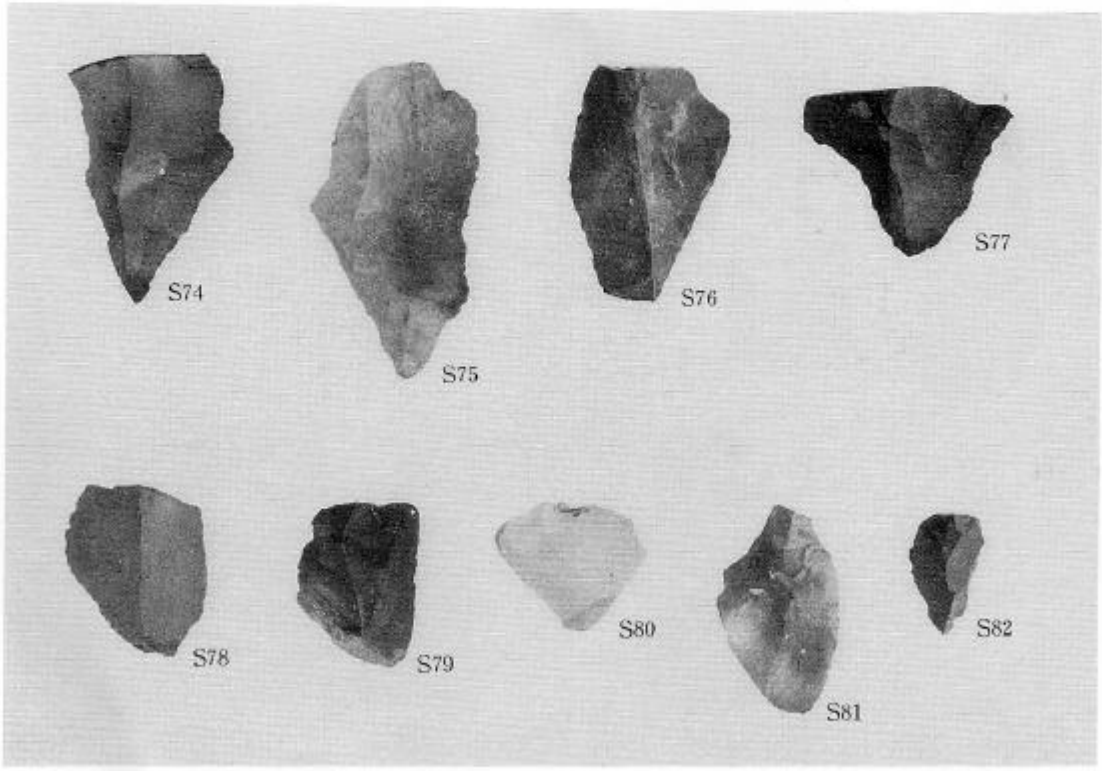
1　遺構外出土石器(2)



2　遺構外出土石器(3)

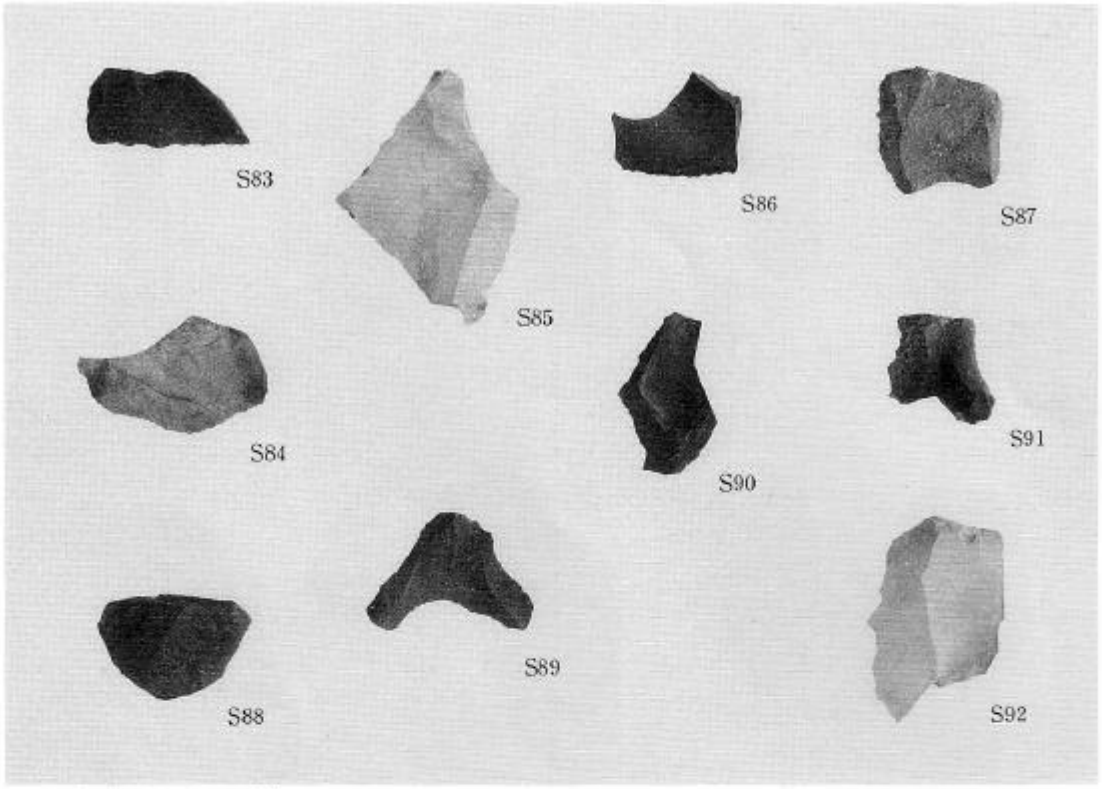


1　遺構外出土石器(4)

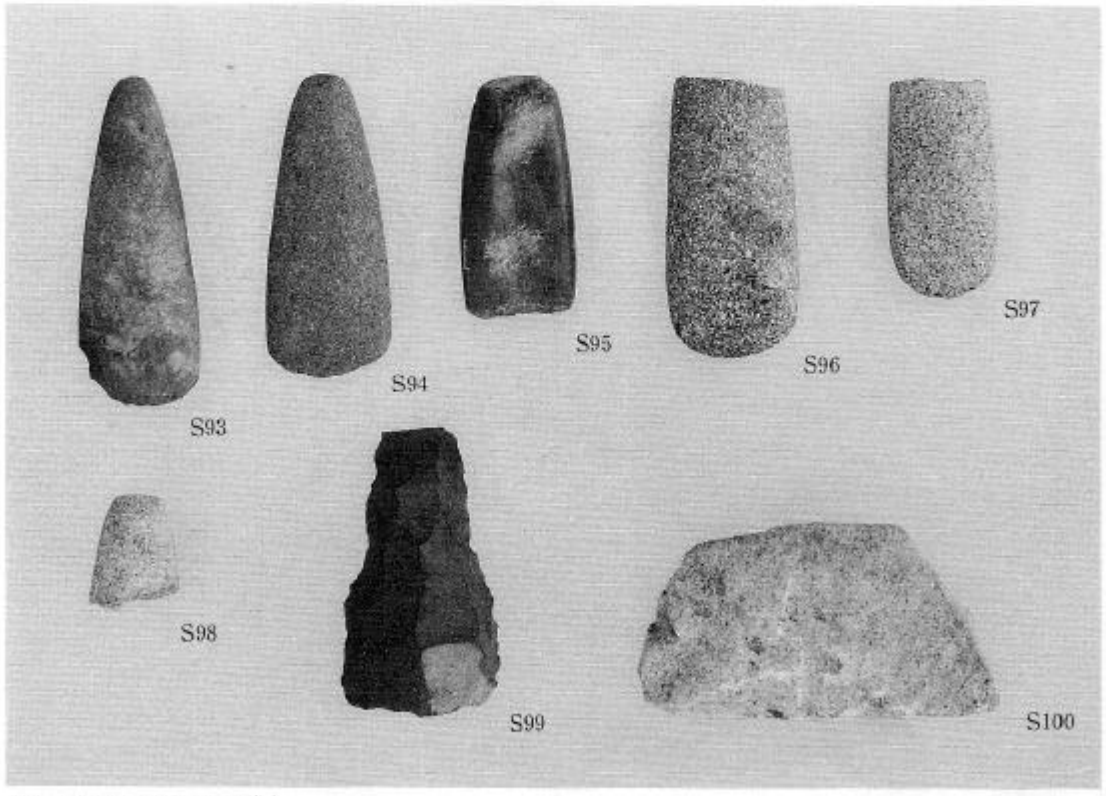


2　遺構外出土石器(5)

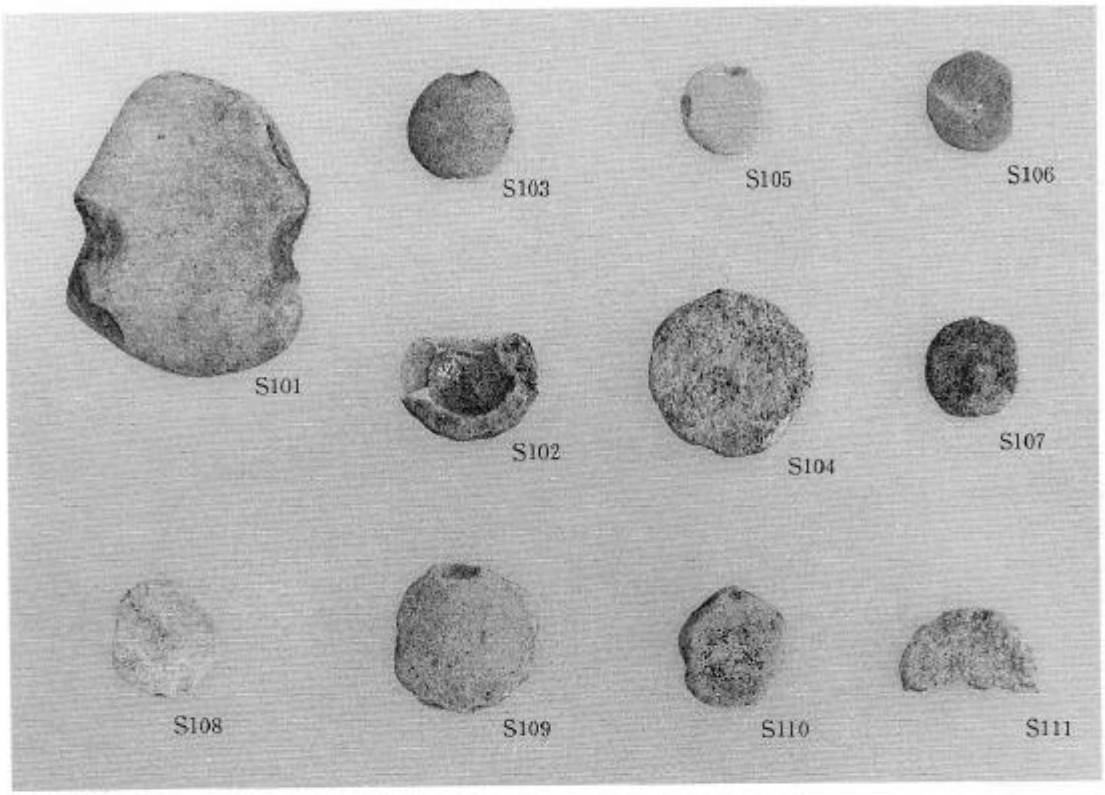
図版54



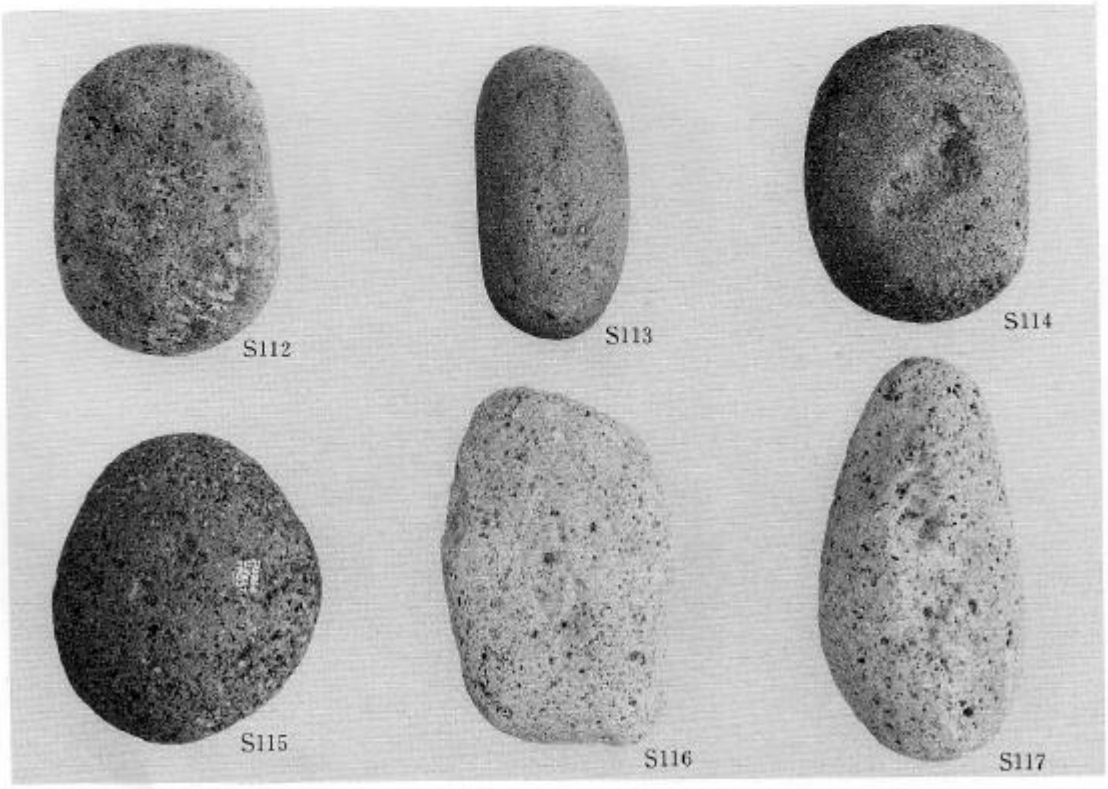
1　遺構外出土石器(6)



2　遺構外出土石器(7)

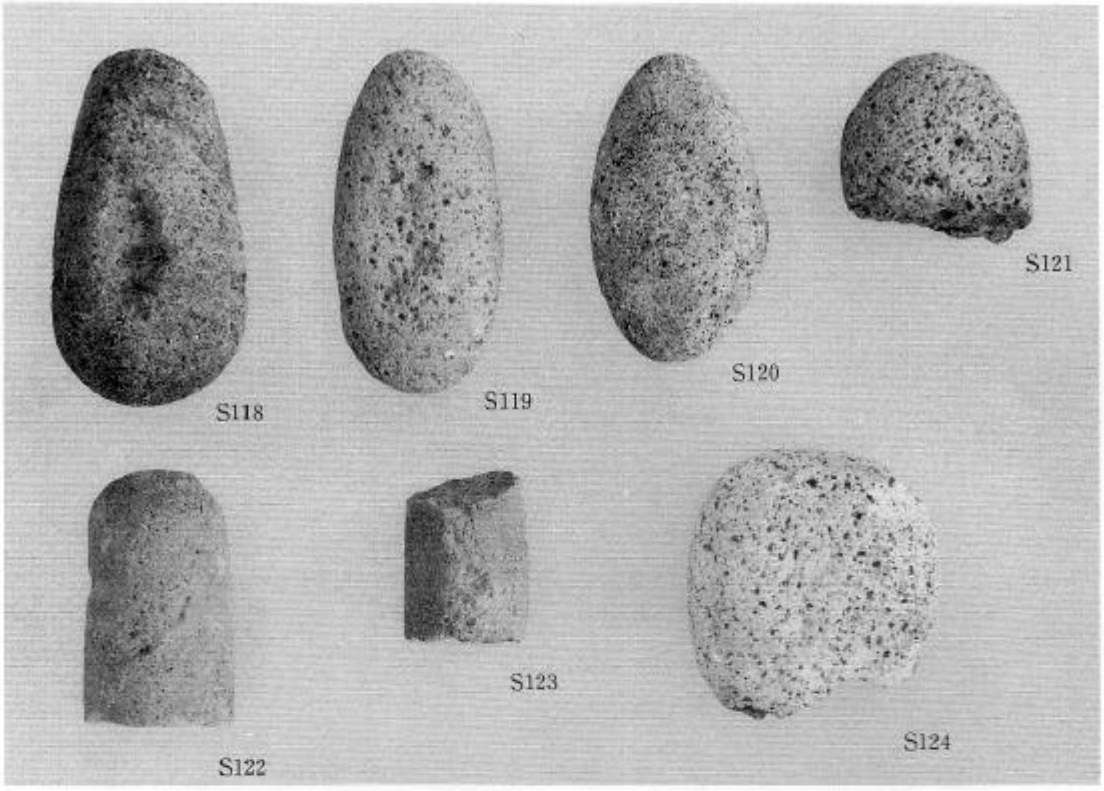


1　遺構外出土石器(8)

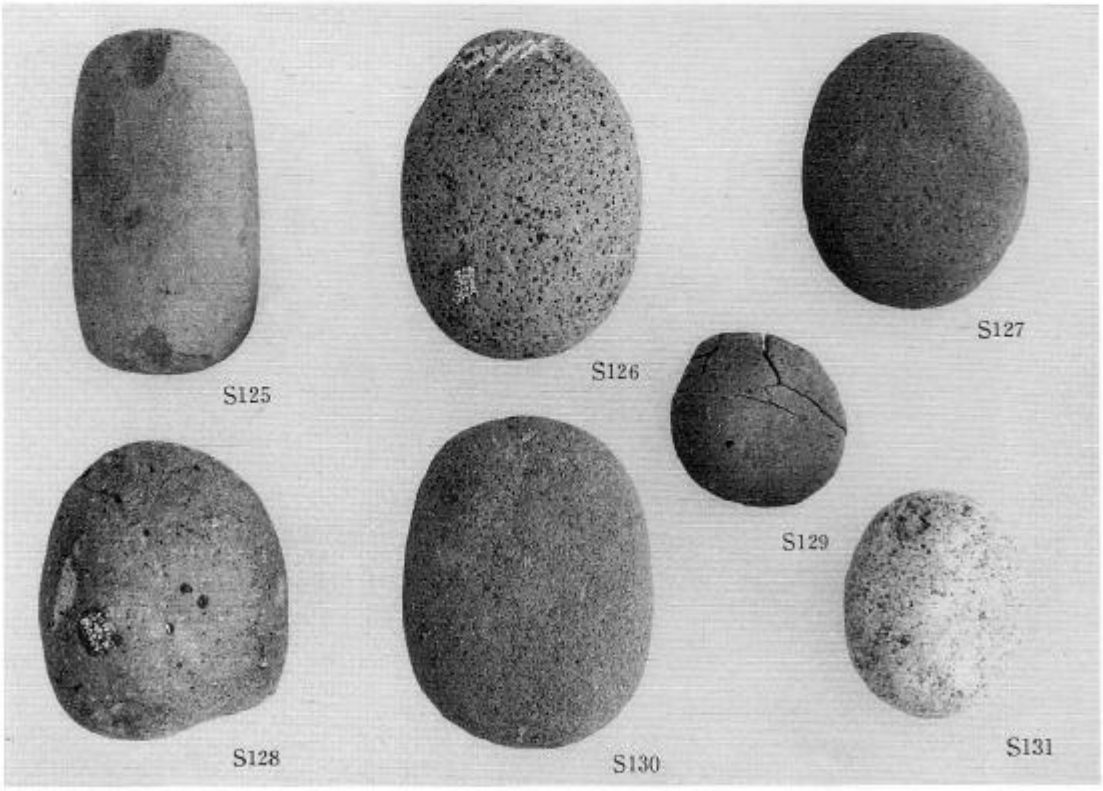


2　遺構外出土石器(9)

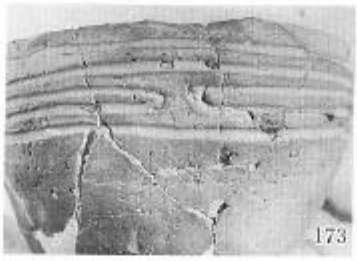
図版56



1　遺構外出土石器(10)



2　遺構外出土石器(11)

108

173

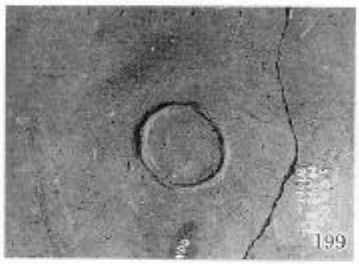
647

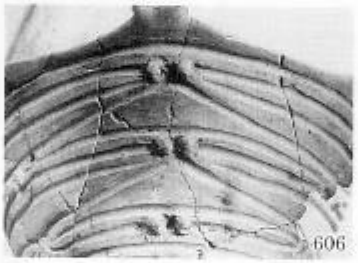
108

637

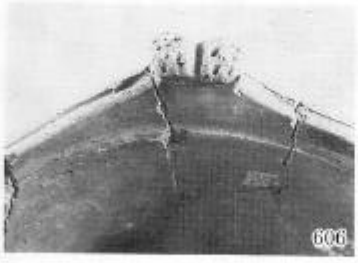
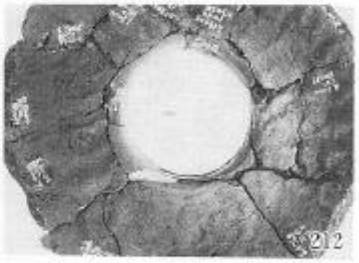
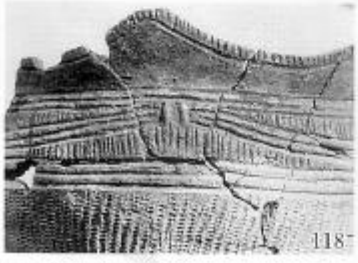
638

170

153

199

151

606

127

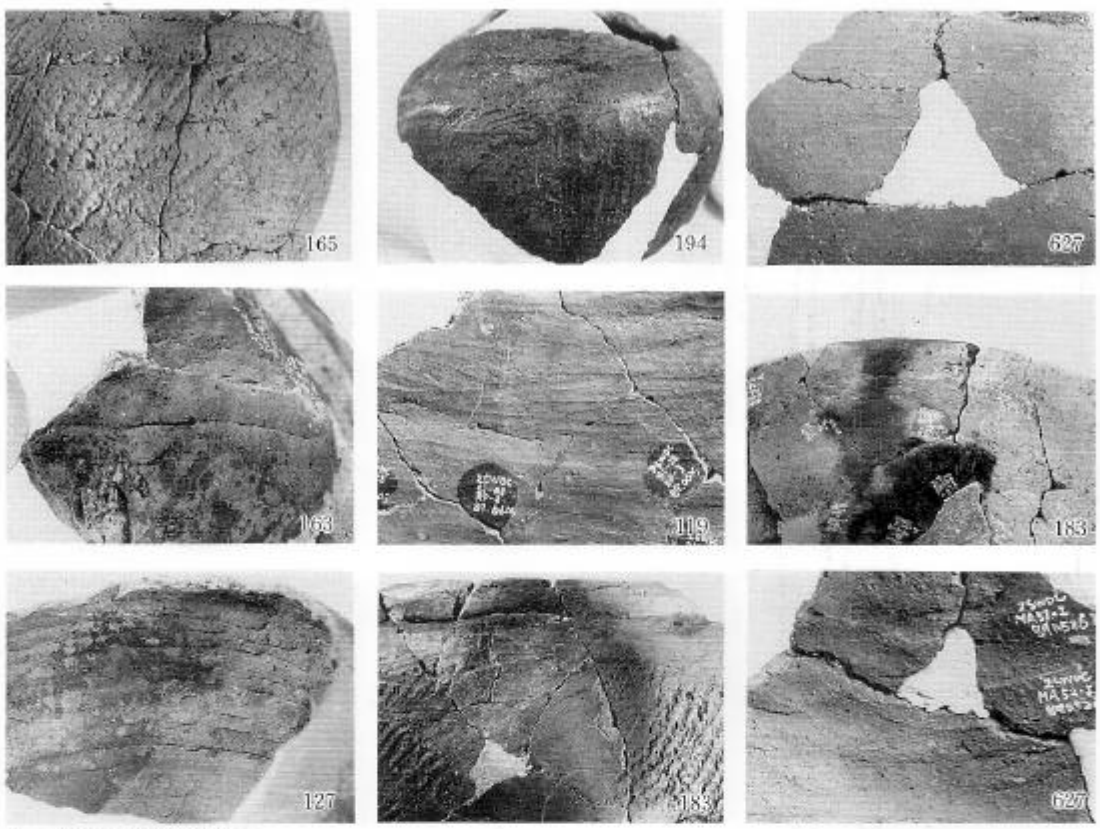
125

606

212

118

606

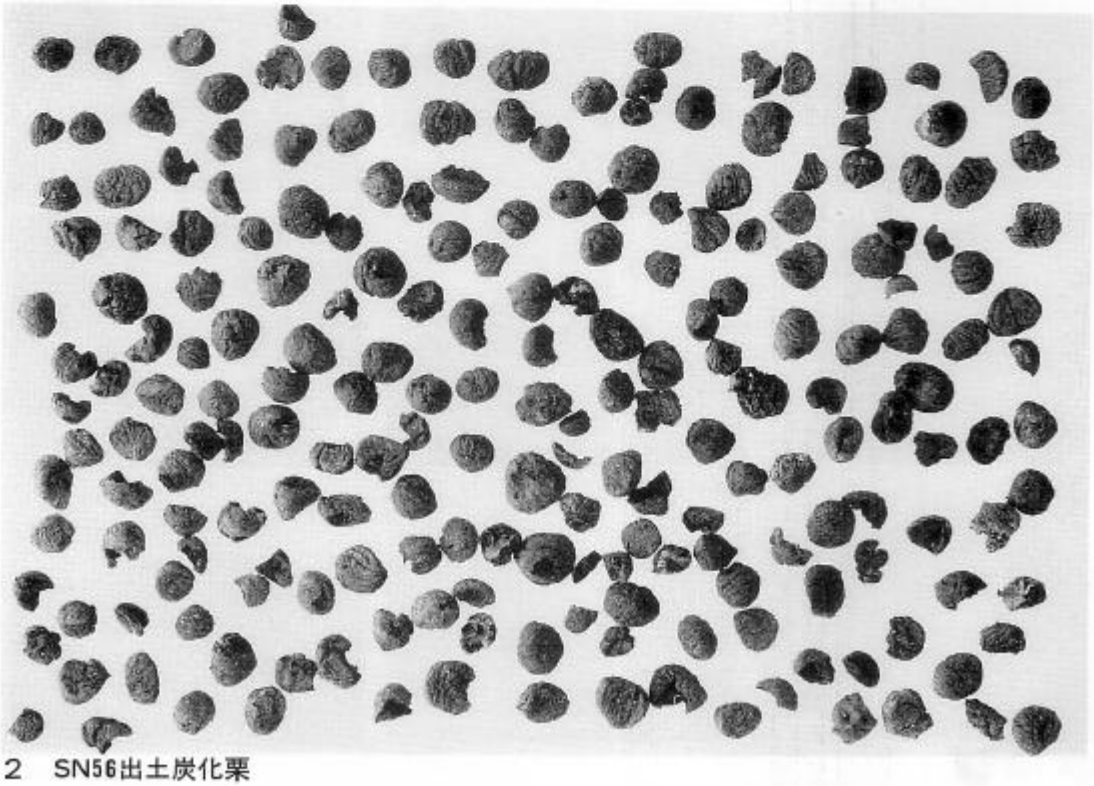
212

文様・調整技法

図版58



1　成形・調整技法



2　SN56出土炭化栗